

取組13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり



取組概要

核家族化、少子化の進行など子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、安心して子どもを生み育てることができる地域社会と、すべての子どもがその個性を尊重され健やかに成長できる環境づくりを目指します。

平成22年度の主な取組

- 子どもを安心して生み育てることができる職場環境づくりを促進するため、子育て支援策に積極的に取り組む企業を表彰しています。
- 保護者の疾病や災害等により緊急・一時的に保育が必要になった場合や、保護者が断続的な就労等により家庭で保育ができない場合に、保育所等で子どもを預かっています。
- 心の問題を持つ子どもの治療やデイケア、親に対する専門的なケアをしています。また、不登校、引きこもりなどの子どもやその家族の相談を受けたり、指導をしています。
- 児童虐待をはじめとする各種相談に応じ、児童や家庭に対する支援を行っています。緊急の虐待通告に対応するため、休日・夜間の相談受付体制を敷いています。
- 小児科医の不足を補完するとともに、子育て家庭の育児不安を解消するため、「こども夜間安心コール事業」や「小児救急医療研修事業」を実施しています。
- 安全に安心して出産できる周産期医療体制の整備を進めるため、地域の医療機関が連携する仕組みづくりや新生児医療を担う医師の養成、助産師確保に取り組んでいます。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は63.6%、「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は36.4%である。

■性別

男性の『高認知群』は58.9%で、県全体より4.7ポイント低い。

女性の『高認知群』は67.9%で、県全体より4.3ポイント高い。

■年齢別

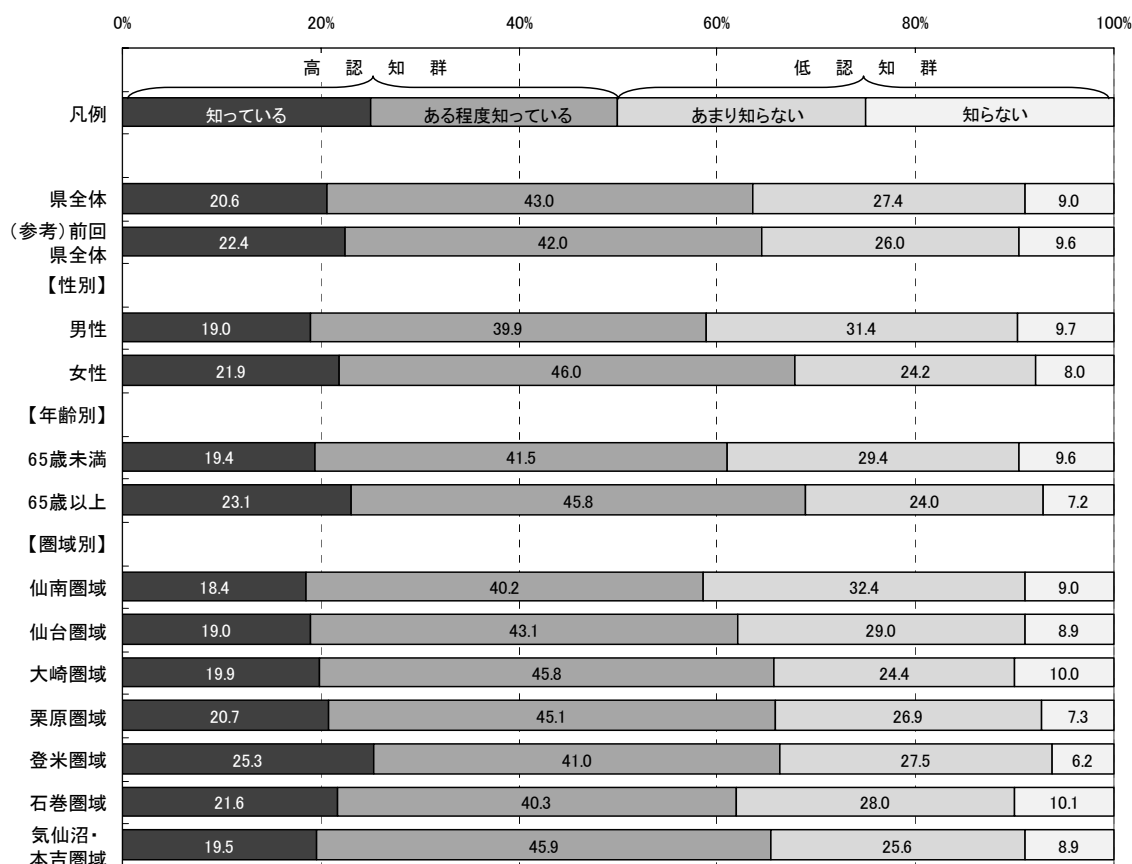
65歳未満の『高認知群』は60.9%で、県全体より2.7ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は68.9%で、県全体より5.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-1 取組13 認知度割合(属性別)



取組13 「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

表2-2-13-1 取組13 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	404	844	537	177	1,962	91	2,053
	パーセント	20.6	43.0	27.4	9.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	419	787	486	180	1,872	72	1,944
	パーセント	22.4	42.0	26.0	9.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	172	361	284	88	905	44	949
	パーセント	19.0	39.9	31.4	9.7	100.0		
女性	度数	217	456	240	79	992	39	1,031
	パーセント	21.9	46.0	24.2	8.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	245	523	371	121	1,260	37	1,297
	パーセント	19.4	41.5	29.4	9.6	100.0		
65歳以上	度数	145	288	151	45	629	44	673
	パーセント	23.1	45.8	24.0	7.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	45	98	79	22	244	6	250
	パーセント	18.4	40.2	32.4	9.0	100.0		
仙台圏域	度数	51	116	78	24	269	7	276
	パーセント	19.0	43.1	29.0	8.9	100.0		
大崎圏域	度数	54	124	66	27	271	16	287
	パーセント	19.9	45.8	24.4	10.0	100.0		
栗原圏域	度数	57	124	74	20	275	12	287
	パーセント	20.7	45.1	26.9	7.3	100.0		
登米圏域	度数	69	112	75	17	273	11	284
	パーセント	25.3	41.0	27.5	6.2	100.0		
石巻圏域	度数	58	108	75	27	268	11	279
	パーセント	21.6	40.3	28.0	10.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	48	113	63	22	246	10	256
	パーセント	19.5	45.9	25.6	8.9	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は88.2%、「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は11.8%である。

■性別

男性の『高関心群』は87.3%で、県全体より0.9ポイント低い。

女性の『高関心群』は89.2%で、県全体より1.0ポイント高い。

■年齢別

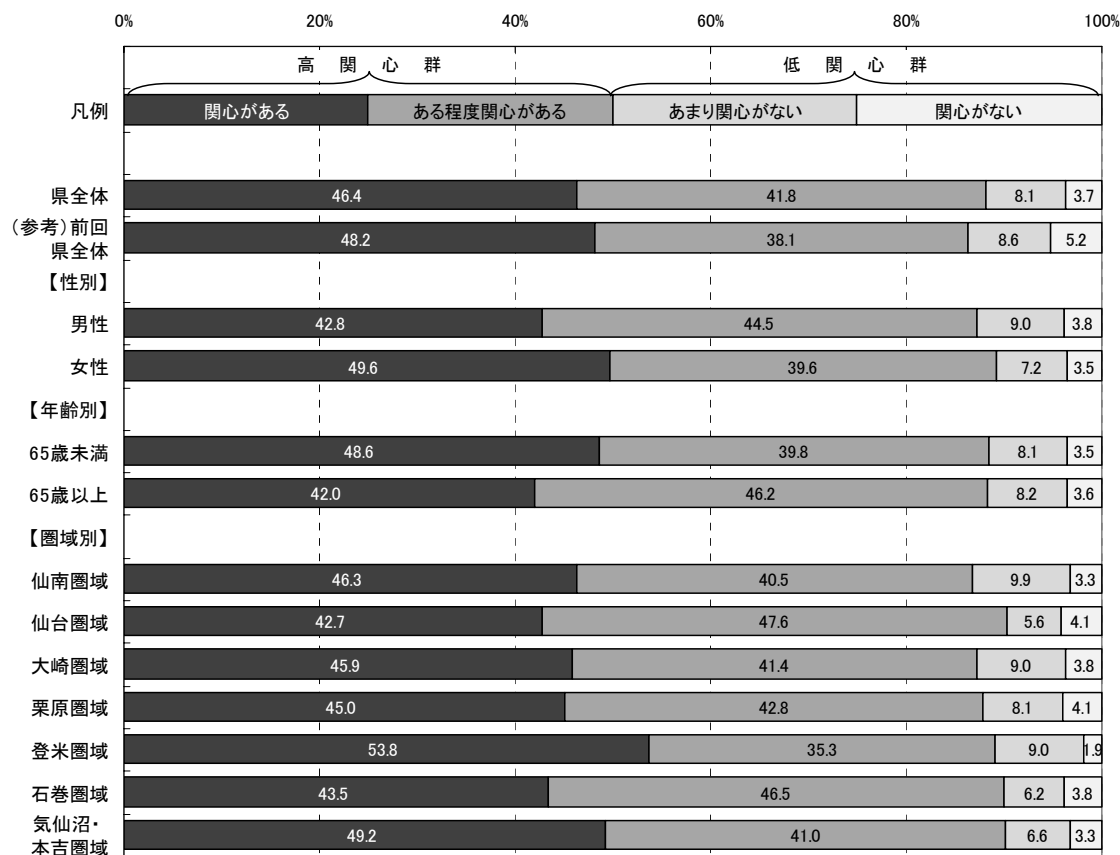
65歳未満の『高関心群』は88.4%で、県全体より0.2ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は88.2%で、県全体と同じポイント。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-2 取組13 関心度割合(属性別)



取組13 「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

表2-2-13-2 取組13 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	891	803	156	72	1,922	131	2,053
	パーセント	46.4	41.8	8.1	3.7	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	877	693	156	94	1,820	124	1,944
	パーセント	48.2	38.1	8.6	5.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	382	397	80	34	893	56	949
	パーセント	42.8	44.5	9.0	3.8	100.0		
女性	度数	481	384	70	34	969	62	1,031
	パーセント	49.6	39.6	7.2	3.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	604	494	100	44	1,242	55	1,297
	パーセント	48.6	39.8	8.1	3.5	100.0		
65歳以上	度数	257	283	50	22	612	61	673
	パーセント	42.0	46.2	8.2	3.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	112	98	24	8	242	8	250
	パーセント	46.3	40.5	9.9	3.3	100.0		
仙台圏域	度数	114	127	15	11	267	9	276
	パーセント	42.7	47.6	5.6	4.1	100.0		
大崎圏域	度数	122	110	24	10	266	21	287
	パーセント	45.9	41.4	9.0	3.8	100.0		
栗原圏域	度数	122	116	22	11	271	16	287
	パーセント	45.0	42.8	8.1	4.1	100.0		
登米圏域	度数	143	94	24	5	266	18	284
	パーセント	53.8	35.3	9.0	1.9	100.0		
石巻圏域	度数	113	121	16	10	260	19	279
	パーセント	43.5	46.5	6.2	3.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	120	100	16	8	244	12	256
	パーセント	49.2	41.0	6.6	3.3	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は88.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は4.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が94.7%、『低重視群』は5.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は87.3%で、県全体より0.8ポイント低い。

女性の『高重視群』は89.5%で、県全体より1.4ポイント高い。

■年齢別

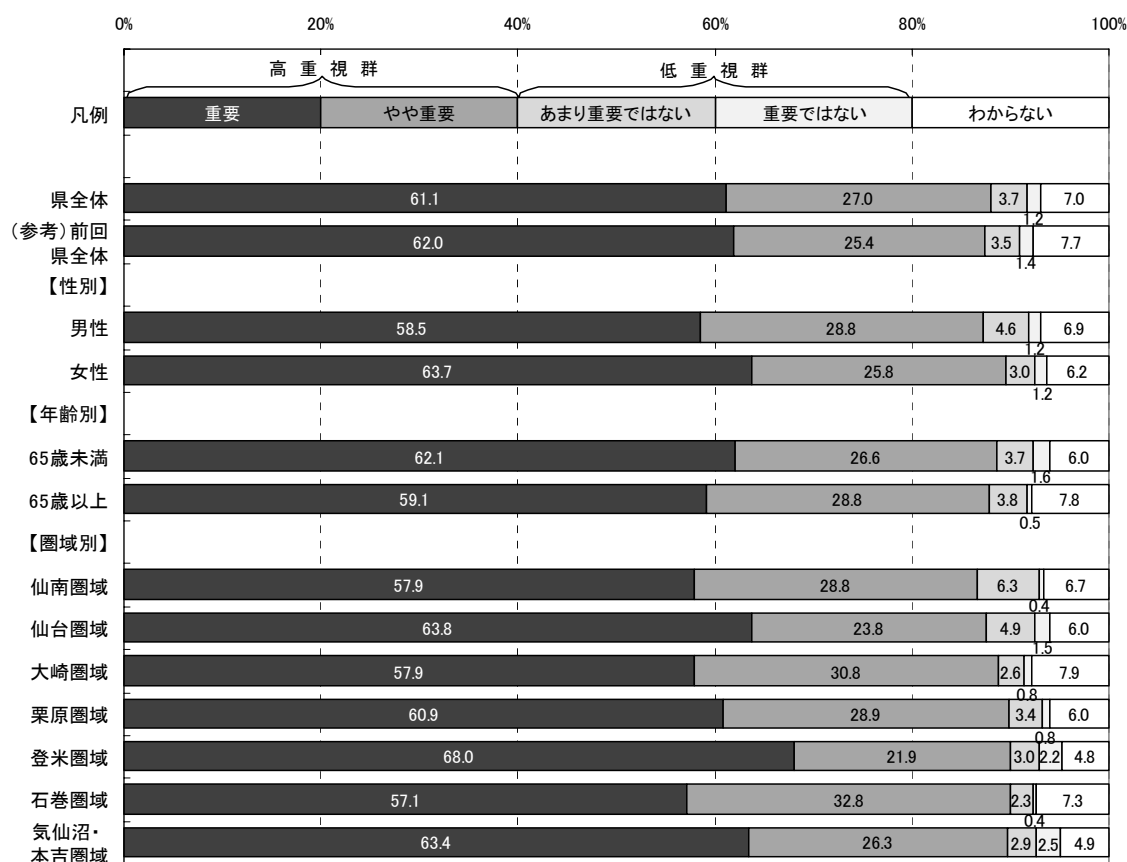
65歳未満の『高重視群』は88.7%で、県全体より0.6ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は87.9%で、県全体より0.2ポイント低い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-3 取組13 重視度割合(属性別)



取組13 「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

表2-2-13-3 取組13 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない			
県全体	度数	1,174	519	71	24	134	1,922	131	2,053
	パーセント	61.1	27.0	3.7	1.2	7.0	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	65.7	29.0	4.0	1.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,141	468	65	25	142	1,841	103	1,944
	パーセント	62.0	25.4	3.5	1.4	7.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	525	259	41	11	62	898	51	949
	パーセント	58.5	28.8	4.6	1.2	6.9	100.0		
女性	度数	612	248	29	12	60	961	70	1,031
	パーセント	63.7	25.8	3.0	1.2	6.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	775	332	46	20	75	1,248	49	1,297
	パーセント	62.1	26.6	3.7	1.6	6.0	100.0		
65歳以上	度数	357	174	23	3	47	604	69	673
	パーセント	59.1	28.8	3.8	0.5	7.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	139	69	15	1	16	240	10	250
	パーセント	57.9	28.8	6.3	0.4	6.7	100.0		
仙台圏域	度数	169	63	13	4	16	265	11	276
	パーセント	63.8	23.8	4.9	1.5	6.0	100.0		
大崎圏域	度数	154	82	7	2	21	266	21	287
	パーセント	57.9	30.8	2.6	0.8	7.9	100.0		
栗原圏域	度数	162	77	9	2	16	266	21	287
	パーセント	60.9	28.9	3.4	0.8	6.0	100.0		
登米圏域	度数	183	59	8	6	13	269	15	284
	パーセント	68.0	21.9	3.0	2.2	4.8	100.0		
石巻圏域	度数	148	85	6	1	19	259	20	279
	パーセント	57.1	32.8	2.3	0.4	7.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	154	64	7	6	12	243	13	256
	パーセント	63.4	26.3	2.9	2.5	4.9	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は43.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は39.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が52.4%、『不満群』は47.6%となる。

■性別

男性の『満足群』は42.6%で、県全体より0.4ポイント低い。

女性の『満足群』は43.7%で、県全体より0.7ポイント高い。

■年齢別

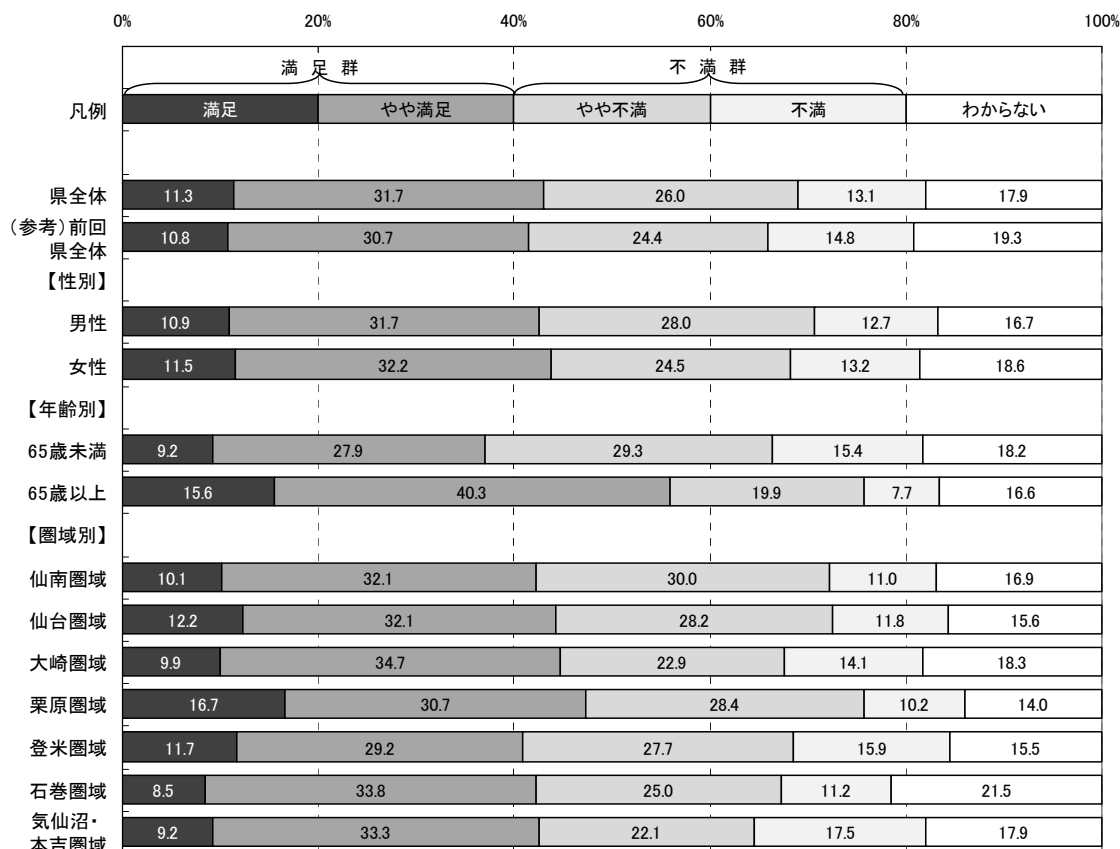
65歳未満の『満足群』は37.1%で、県全体より5.9ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は55.9%で、県全体より12.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-4 取組13 満足度割合(属性別)



取組13 「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

表2-2-13-4 取組13 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	215	602	494	248	340	1,899	154	2,053
	パーセント	11.3	31.7	26.0	13.1	17.9	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.8	38.6	31.7	15.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	195	557	443	268	349	1,812	132	1,944
	パーセント	10.8	30.7	24.4	14.8	19.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	97	283	250	113	149	892	57	949
	パーセント	10.9	31.7	28.0	12.7	16.7	100.0		
女性	度数	109	305	232	125	176	947	84	1,031
	パーセント	11.5	32.2	24.5	13.2	18.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	114	344	362	190	225	1,235	62	1,297
	パーセント	9.2	27.9	29.3	15.4	18.2	100.0		
65歳以上	度数	93	241	119	46	99	598	75	673
	パーセント	15.6	40.3	19.9	7.7	16.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	24	76	71	26	40	237	13	250
	パーセント	10.1	32.1	30.0	11.0	16.9	100.0		
仙台圏域	度数	32	84	74	31	41	262	14	276
	パーセント	12.2	32.1	28.2	11.8	15.6	100.0		
大崎圏域	度数	26	91	60	37	48	262	25	287
	パーセント	9.9	34.7	22.9	14.1	18.3	100.0		
栗原圏域	度数	44	81	75	27	37	264	23	287
	パーセント	16.7	30.7	28.4	10.2	14.0	100.0		
登米圏域	度数	31	77	73	42	41	264	20	284
	パーセント	11.7	29.2	27.7	15.9	15.5	100.0		
石巻圏域	度数	22	88	65	29	56	260	19	279
	パーセント	8.5	33.8	25.0	11.2	21.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	22	80	53	42	43	240	16	256
	パーセント	9.2	33.3	22.1	17.5	17.9	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組13に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 市町村・企業・NPOなどと連携・協働して行う総合的な少子化対策
- イ 育児休業取得の促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、企業等における仕事と子育ての両立支援
- ウ 入所待機児童解消に向けた保育所整備等の促進と延長保育などの各種保育サービスや放課後児童クラブの充実に向けた取組支援
- エ 不登校や引きこもりなど悩みを抱える子どもや、子育てに不安・問題を抱える親や家族に対する相談・指導の充実
- オ 関係機関が連携した虐待防止体制づくりや、発生予防・早期発見・保護児童等に対する援助など、素早かつ確実な対応
- カ 周産期・小児救急医療体制の充実と不妊治療を行う夫婦に対する支援

(参考:目標とする宮城の姿)

- 出産や子育てへの不安が減り、少子化の状況が改善されています。
- 仕事と生活の調和が図られ、夫婦がお互いに協力しながら子育てを行っています。
- 子育てで家庭のさまざまな求めに応じた保育サービスが生まれています。
- 地域全体が連携・協力しながら子育てを行う環境が整っています。
- 産科や小児科などの医療体制が充実し、身近な地域で安心して出産や子育てができるようになっています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別		
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	
第2位:	ウ	ウ	ウ	ウ	エ	
第3位:	エ	エ	エ	エ	ウ	

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	イ	ウ	イ	イ	イ	イ
第2位:	イ	ウ	イ	エ	ウ	ウ	ウ
第3位:	エ	エ	エ	ウ	エ	エ	エ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

取組13 「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

図2-2-13-5 取組13 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

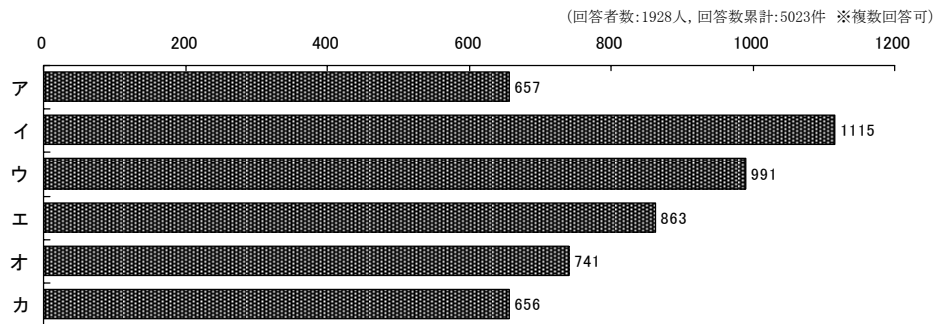
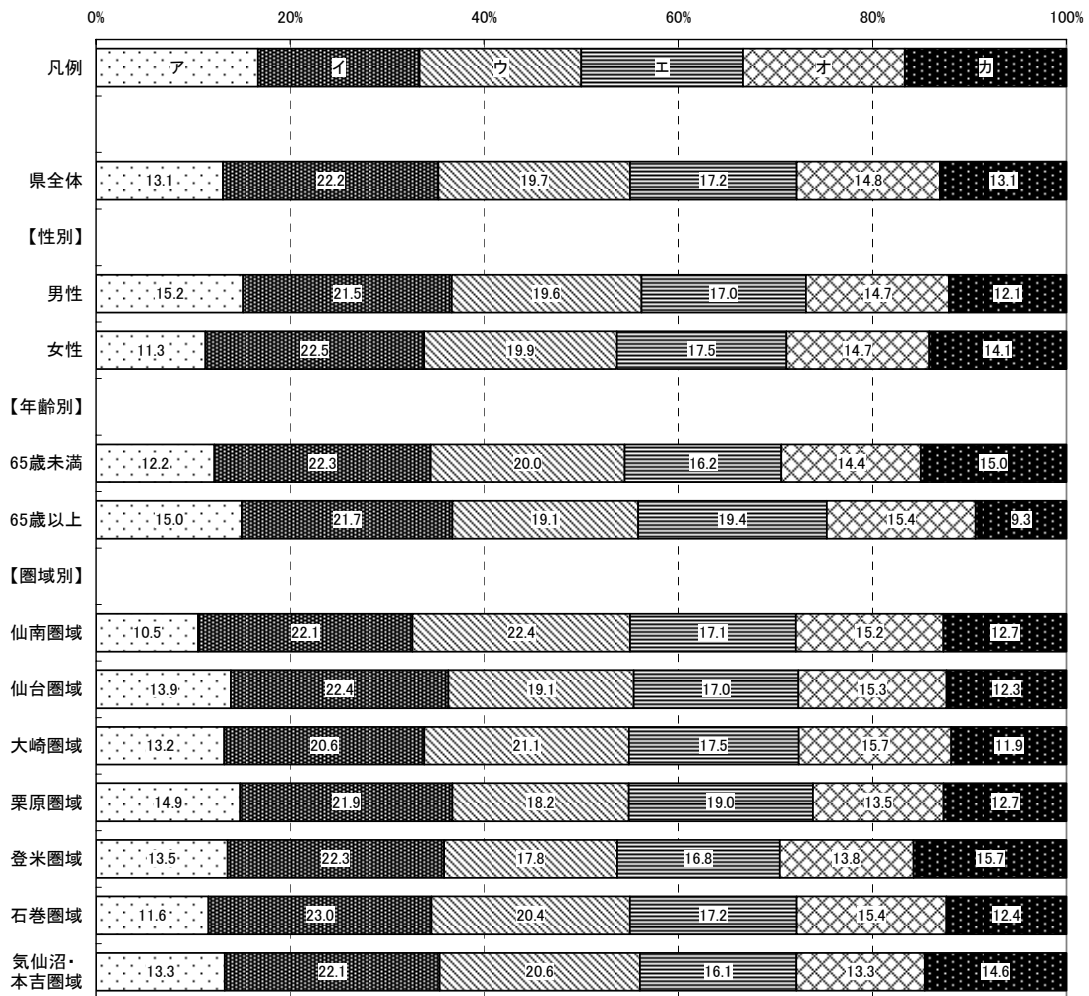


図2-2-13-6 取組13 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 1 3 「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

取組 1 4 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成



取組概要

家庭、地域と学校の協働により、子どもの基本的な生活習慣の定着へ向けた運動を展開するとともに、教育に対する地域全体での支え合いを推進する組織体制の確立、子どもの多様な学習・体験機会の創出を目指します。

平成22年度の主な取組

- 「はやね・はやおき・あさごはん」といった子どもの基本的な生活習慣の定着に向けて、各学校、教育関連団体や行政機関に加え、趣旨に賛同する企業等により「みやぎっ子ルルブル推進会議」を組織し、地域社会全体で取り組む体制整備を行うとともに、科学的知見によるパンフレットを作成して、広く県民や家庭に呼びかけています。
- 児童生徒の主体的に学ぶ意欲と勤労観や社会性・人間性を育むために、社会奉仕体験や自然体験、職場体験等児童生徒や地域の実態に応じた様々な体験活動に取り組んでいます。
- 子どもたちを地域全体で育むために、地域と学校をつなぐ仕組みをつくり、学校からの依頼を受け派遣される地域ボランティアが、その特技や技術を生かして学習支援するなど、地域と学校とが協働した教育活動を展開しています。
- 家庭教育への支援として、子育てサポーター及びサポーターリーダーを養成したほか、家庭教育支援チームの設置と派遣、父親の家庭教育参画への支援、家庭教育に関するさまざまな学習機会及び情報提供を行っています。
[成果等] 子育てサポーター養成数 282 人(うちサポーターリーダー90 人)、家庭教育支援チーム 10 チーム
- 学校の余裕教室を活用し、放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々との交流を通し、子どもたちが様々な学習・体験活動ができるよう支援しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は51.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は49.0%である。

■性別

男性の『高認知群』は42.9%で、県全体より8.1ポイント低い。

女性の『高認知群』は58.4%で、県全体より7.4ポイント高い。

■年齢別

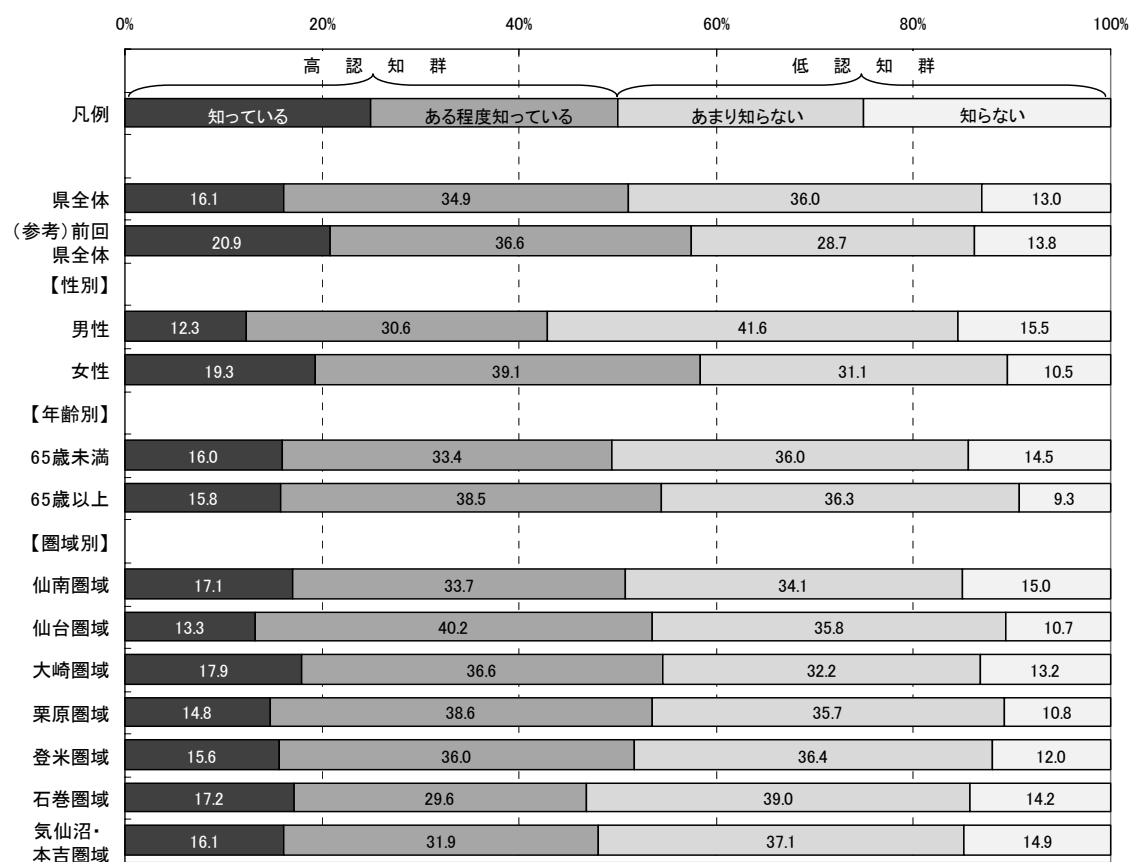
65歳未満の『高認知群』は49.4%で、県全体より1.6ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は54.3%で、県全体より3.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-1 取組14 認知度割合(属性別)



取組14 「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-1 取組14 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	317	689	710	257	1,973	80	2,053
	パーセント	16.1	34.9	36.0	13.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	391	686	539	259	1,875	69	1,944
	パーセント	20.9	36.6	28.7	13.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	112	280	380	142	914	35	949
	パーセント	12.3	30.6	41.6	15.5	100.0		
女性	度数	192	389	310	105	996	35	1,031
	パーセント	19.3	39.1	31.1	10.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	203	424	457	184	1,268	29	1,297
	パーセント	16.0	33.4	36.0	14.5	100.0		
65歳以上	度数	100	244	230	59	633	40	673
	パーセント	15.8	38.5	36.3	9.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	42	83	84	37	246	4	250
	パーセント	17.1	33.7	34.1	15.0	100.0		
仙台圏域	度数	36	109	97	29	271	5	276
	パーセント	13.3	40.2	35.8	10.7	100.0		
大崎圏域	度数	49	100	88	36	273	14	287
	パーセント	17.9	36.6	32.2	13.2	100.0		
栗原圏域	度数	41	107	99	30	277	10	287
	パーセント	14.8	38.6	35.7	10.8	100.0		
登米圏域	度数	43	99	100	33	275	9	284
	パーセント	15.6	36.0	36.4	12.0	100.0		
石巻圏域	度数	46	79	104	38	267	12	279
	パーセント	17.2	29.6	39.0	14.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	40	79	92	37	248	8	256
	パーセント	16.1	31.9	37.1	14.9	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は79.4%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は20.6%である。

■性別

男性の『高関心群』は74.9%で、県全体より4.5ポイント低い。

女性の『高関心群』は83.8%で、県全体より4.4ポイント高い。

■年齢別

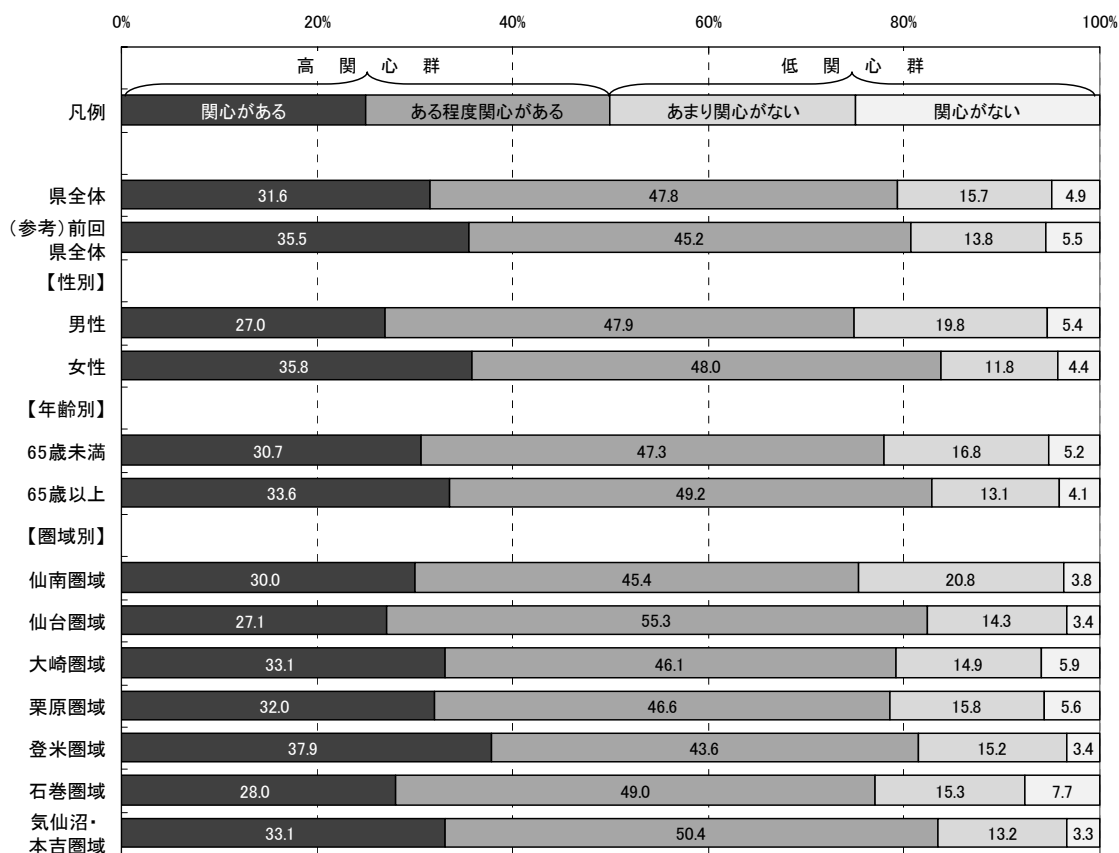
65歳未満の『高関心群』は78.0%で、県全体より1.4ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は82.8%で、県全体より3.4ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-2 取組14 関心度割合(属性別)



取組14 「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-2 取組14 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	604	915	301	94	1,914	139	2,053
	パーセント	31.6	47.8	15.7	4.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	652	830	254	102	1,838	106	1,944
	パーセント	35.5	45.2	13.8	5.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	240	426	176	48	890	59	949
	パーセント	27.0	47.9	19.8	5.4	100.0		
女性	度数	345	463	114	42	964	67	1,031
	パーセント	35.8	48.0	11.8	4.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	381	587	209	65	1,242	55	1,297
	パーセント	30.7	47.3	16.8	5.2	100.0		
65歳以上	度数	203	297	79	25	604	69	673
	パーセント	33.6	49.2	13.1	4.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	72	109	50	9	240	10	250
	パーセント	30.0	45.4	20.8	3.8	100.0		
仙台圏域	度数	72	147	38	9	266	10	276
	パーセント	27.1	55.3	14.3	3.4	100.0		
大崎圏域	度数	89	124	40	16	269	18	287
	パーセント	33.1	46.1	14.9	5.9	100.0		
栗原圏域	度数	85	124	42	15	266	21	287
	パーセント	32.0	46.6	15.8	5.6	100.0		
登米圏域	度数	100	115	40	9	264	20	284
	パーセント	37.9	43.6	15.2	3.4	100.0		
石巻圏域	度数	73	128	40	20	261	18	279
	パーセント	28.0	49.0	15.3	7.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	80	122	32	8	242	14	256
	パーセント	33.1	50.4	13.2	3.3	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は79.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は9.7%である。
なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が89.1%、『低重視群』は10.9%となる。

■性別

男性の『高重視群』は77.4%で、県全体より1.9ポイント低い。
女性の『高重視群』は81.5%で、県全体より2.2ポイント高い。

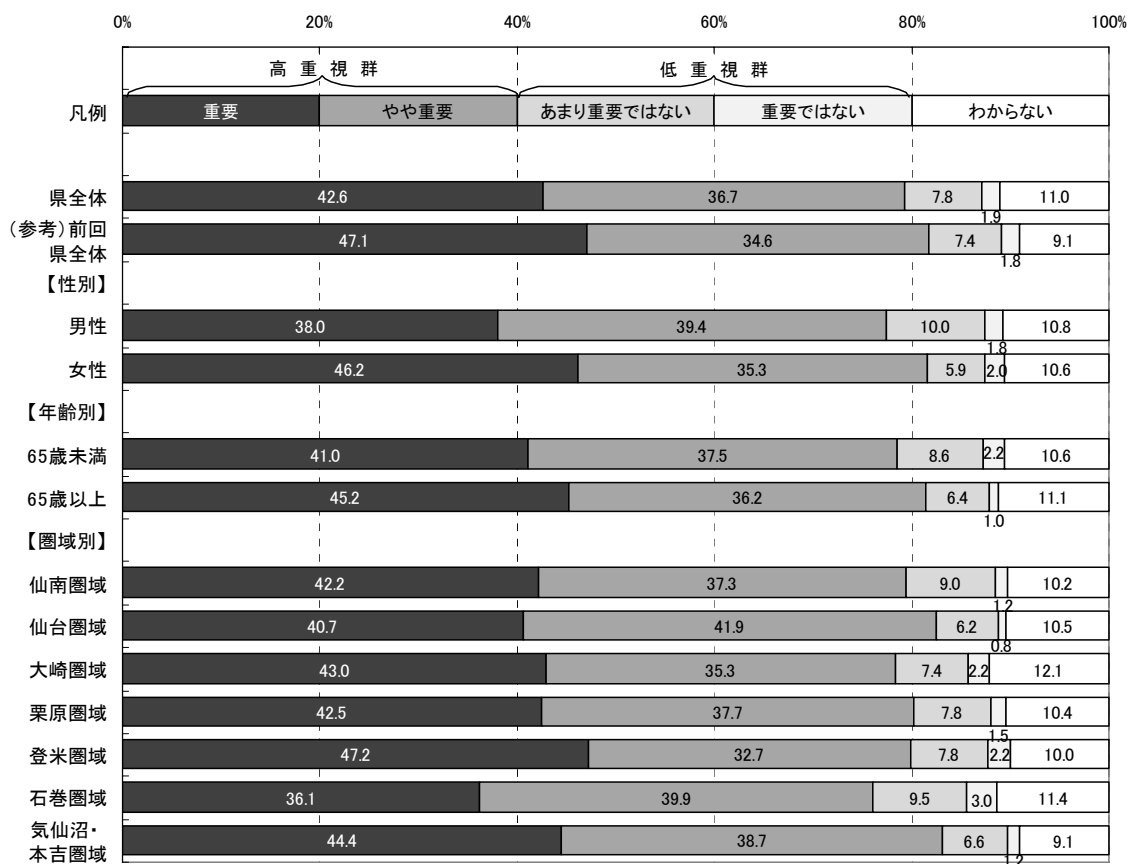
■年齢別

65歳未満の『高重視群』は78.5%で、県全体より0.8ポイント低い。
65歳以上の『高重視群』は81.4%で、県全体より2.1ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-3 取組14 重視度割合(属性別)



取組14 「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-3 取組14 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	823	710	151	36	213	1,933	120	2,053
	パーセント	42.6	36.7	7.8	1.9	11.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	47.8	41.3	8.8	2.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	869	639	136	34	168	1,846	98	1,944
	パーセント	47.1	34.6	7.4	1.8	9.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	342	355	90	16	97	900	49	949
	パーセント	38.0	39.4	10.0	1.8	10.8	100.0		
女性	度数	448	342	57	19	103	969	62	1,031
	パーセント	46.2	35.3	5.9	2.0	10.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	513	469	108	28	132	1,250	47	1,297
	パーセント	41.0	37.5	8.6	2.2	10.6	100.0		
65歳以上	度数	276	221	39	6	68	610	63	673
	パーセント	45.2	36.2	6.4	1.0	11.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	103	91	22	3	25	244	6	250
	パーセント	42.2	37.3	9.0	1.2	10.2	100.0		
仙台圏域	度数	105	108	16	2	27	258	18	276
	パーセント	40.7	41.9	6.2	0.8	10.5	100.0		
大崎圏域	度数	117	96	20	6	33	272	15	287
	パーセント	43.0	35.3	7.4	2.2	12.1	100.0		
栗原圏域	度数	114	101	21	4	28	268	19	287
	パーセント	42.5	37.7	7.8	1.5	10.4	100.0		
登米圏域	度数	127	88	21	6	27	269	15	284
	パーセント	47.2	32.7	7.8	2.2	10.0	100.0		
石巻圏域	度数	95	105	25	8	30	263	16	279
	パーセント	36.1	39.9	9.5	3.0	11.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	108	94	16	3	22	243	13	256
	パーセント	44.4	38.7	6.6	1.2	9.1	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は46.7%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は25.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が64.5%、『不満群』は35.5%となる。

■性別

男性の『満足群』は44.2%で、県全体より2.5ポイント低い。

女性の『満足群』は49.7%で、県全体より3.0ポイント高い。

■年齢別

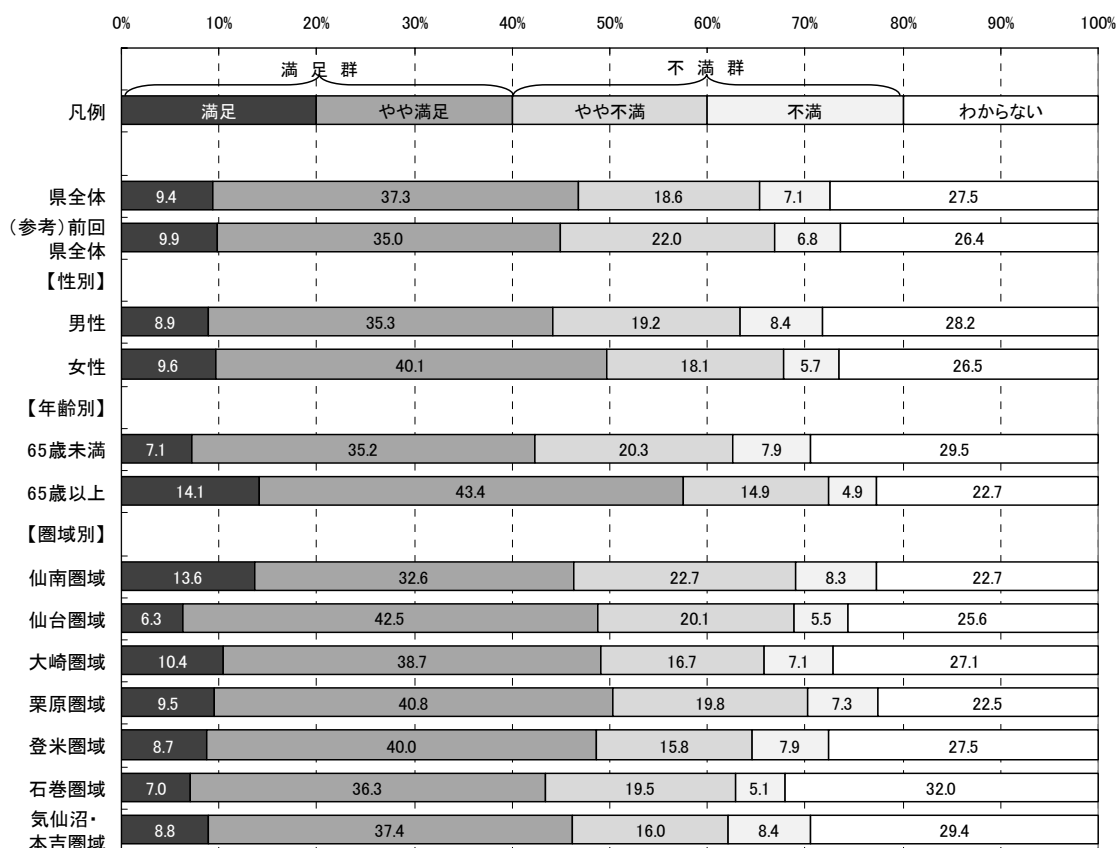
65歳未満の『満足群』は42.3%で、県全体より4.4ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は57.5%で、県全体より10.8ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-4 取組14 満足度割合(属性別)



取組14 「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-4 取組14 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	178	705	352	134	520	1,889	164	2,053
	パーセント	9.4	37.3	18.6	7.1	27.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	13.0	51.5	25.7	9.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	179	634	398	123	478	1,812	132	1,944
	パーセント	9.9	35.0	22.0	6.8	26.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	79	312	170	74	250	885	64	949
	パーセント	8.9	35.3	19.2	8.4	28.2	100.0		
女性	度数	91	380	171	54	251	947	84	1,031
	パーセント	9.6	40.1	18.1	5.7	26.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	88	434	250	97	364	1,233	64	1,297
	パーセント	7.1	35.2	20.3	7.9	29.5	100.0		
65歳以上	度数	83	256	88	29	134	590	83	673
	パーセント	14.1	43.4	14.9	4.9	22.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	33	79	55	20	55	242	8	250
	パーセント	13.6	32.6	22.7	8.3	22.7	100.0		
仙台圏域	度数	16	108	51	14	65	254	22	276
	パーセント	6.3	42.5	20.1	5.5	25.6	100.0		
大崎圏域	度数	28	104	45	19	73	269	18	287
	パーセント	10.4	38.7	16.7	7.1	27.1	100.0		
栗原圏域	度数	25	107	52	19	59	262	25	287
	パーセント	9.5	40.8	19.8	7.3	22.5	100.0		
登米圏域	度数	23	106	42	21	73	265	19	284
	パーセント	8.7	40.0	15.8	7.9	27.5	100.0		
石巻圏域	度数	18	93	50	13	82	256	23	279
	パーセント	7.0	36.3	19.5	5.1	32.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	21	89	38	20	70	238	18	256
	パーセント	8.8	37.4	16.0	8.4	29.4	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組14に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 家庭・地域・学校が協働して行う、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の定着に向けた運動
- イ 子どもの活動拠点作りや地域で子どもを教え育てる仕組みなど、家庭・地域・学校が協働して地域全体で子どもの教育を進めるための組織づくり
- ウ 地域・家庭・学校が協働し、多くの住民が進んで参画しながら生み出す、子どものさまざまな学習・体験機会の創出
- エ 学校・企業・NPOなど、地域における関係機関と連携した多様な教育活動等の促進

(参考:目標とする宮城の姿)

- 家庭・地域・学校がそれぞれの役割をきちんと果たし協力することで、子どもたちが基本的な生活習慣や社会の中でたくましく生きる力を身につけています。
- 地域で活動するさまざまな団体が、学校活動、子育て、公民館事業などに関わり、横のつながりを生かした子どもにやさしい地域づくりが進められています。
- 家庭・地域・学校が協力して行う教育活動などが活発になり、社会性・人間性に富んだ子どもが育つ環境が整っています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	ア	ア	イ
第2位:	イ	イ	イ	-	イ
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	ア	イ	ア	ア	イ
第2位:	ア	ア	イ	ア	イ	イ	ア
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

取組14 「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

図2-2-14-5 取組14 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

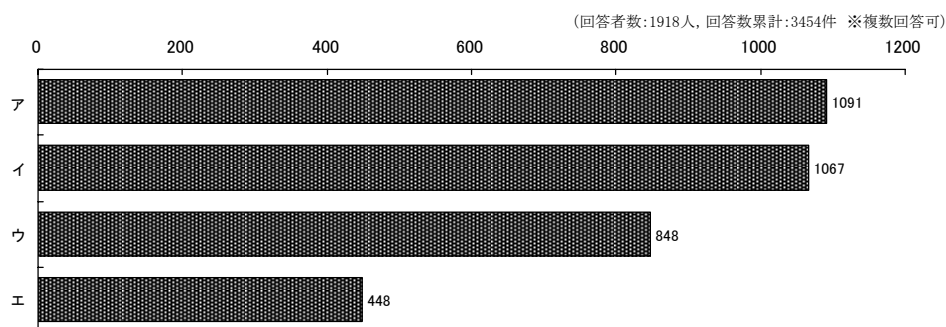
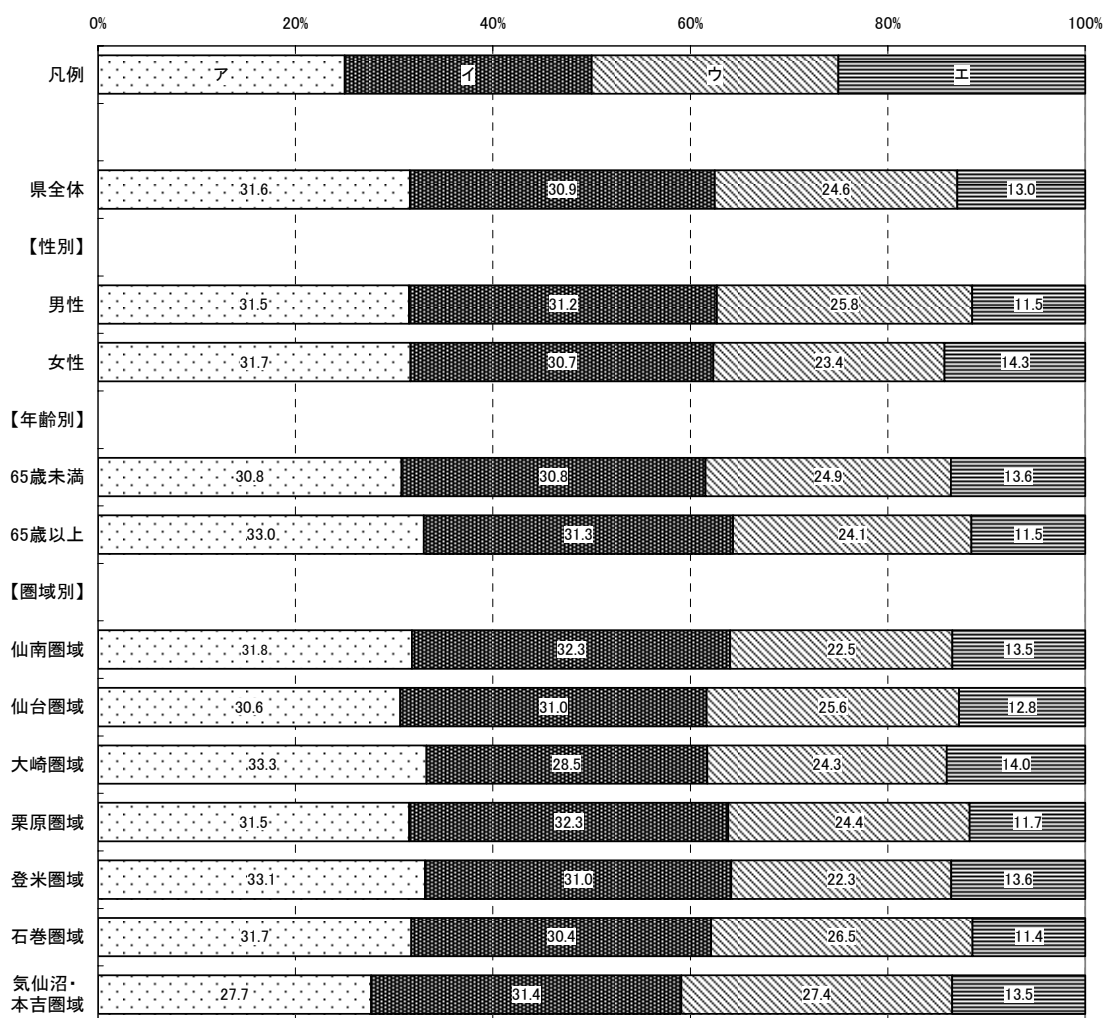


図2-2-14-6 取組14 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 1.4 「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現



取組概要

児童生徒の学習習慣と確かな学力の定着に向けた取組を推進し、児童生徒が希望する進路の実現と地域社会を支える人材の育成を目指します。

平成22年度の主な取組

- 幼児期に、子ども一人一人が持つ可能性を大きく広げる素地(学ぶ土台)をつくるため、教育、保育現場、地域、行政及び家族が連携して取り組むべきことをまとめた計画を策定しました。
- 児童生徒の学ぶ意欲と社会性や勤労観を養い、将来の社会人としてよりよい生き方を主体的に求めさせていくみやぎの「志教育」プランを策定し、その普及・啓発のために夢と志フォーラムを開催しました。また、就職を希望する高校3年生には、就職ガイダンスやビジネスマナー講習、模擬面接指導など即効性のある支援をしています。
[成果等] フォーラム開催回数 1回 参加人数 350人、就職達成セミナー46回予定
- 小・中学生の学力向上のため、全国学力調査・学習状況調査結果の検証・分析を通して、教員の教科指導力を向上させ、家庭学習の習慣づくりを支援する取組を行っています。また、高等学校ではみやぎ学力状況調査を実施しているほか、各地域に進学拠点校を指定し、合同学習合宿などを実施したり、医師を志す高校生を支援する取組などを行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は37.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は62.2%である。

■性別

男性の『高認知群』は33.2%で、県全体より4.6ポイント低い。
女性の『高認知群』は42.3%で、県全体より4.5ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は36.4%で、県全体より1.4ポイント低い。
65歳以上の『高認知群』は41.3%で、県全体より3.5ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-1 取組15 認知度割合(属性別)

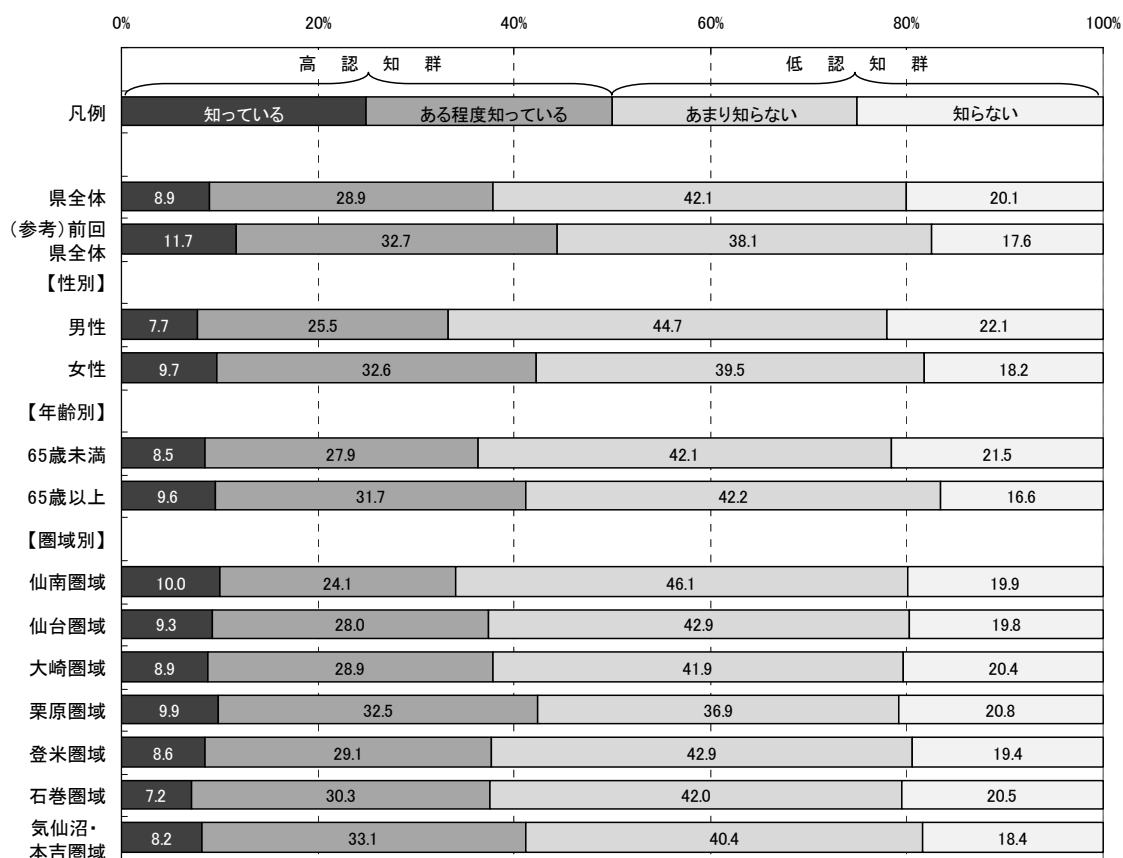


表2-2-15-1 取組15 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	173	561	818	391	1,943	110	2,053
	パーセント	8.9	28.9	42.1	20.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	218	609	709	327	1,863	81	1,944
	パーセント	11.7	32.7	38.1	17.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	69	229	401	198	897	52	949
	パーセント	7.7	25.5	44.7	22.1	100.0		
女性	度数	95	320	388	179	982	49	1,031
	パーセント	9.7	32.6	39.5	18.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	106	350	528	270	1,254	43	1,297
	パーセント	8.5	27.9	42.1	21.5	100.0		
65歳以上	度数	59	195	260	102	616	57	673
	パーセント	9.6	31.7	42.2	16.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	24	58	111	48	241	9	250
	パーセント	10.0	24.1	46.1	19.9	100.0		
仙台圏域	度数	25	75	115	53	268	8	276
	パーセント	9.3	28.0	42.9	19.8	100.0		
大崎圏域	度数	24	78	113	55	270	17	287
	パーセント	8.9	28.9	41.9	20.4	100.0		
栗原圏域	度数	27	89	101	57	274	13	287
	パーセント	9.9	32.5	36.9	20.8	100.0		
登米圏域	度数	23	78	115	52	268	16	284
	パーセント	8.6	29.1	42.9	19.4	100.0		
石巻圏域	度数	19	80	111	54	264	15	279
	パーセント	7.2	30.3	42.0	20.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	81	99	45	245	11	256
	パーセント	8.2	33.1	40.4	18.4	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は72.4%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は27.6%である。

■性別

男性の『高関心群』は70.7%で、県全体より1.7ポイント低い。

女性の『高関心群』は74.4%で、県全体より2.0ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は70.8%で、県全体より1.6ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は76.5%で、県全体より4.1ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-2 取組15 関心度割合(属性別)

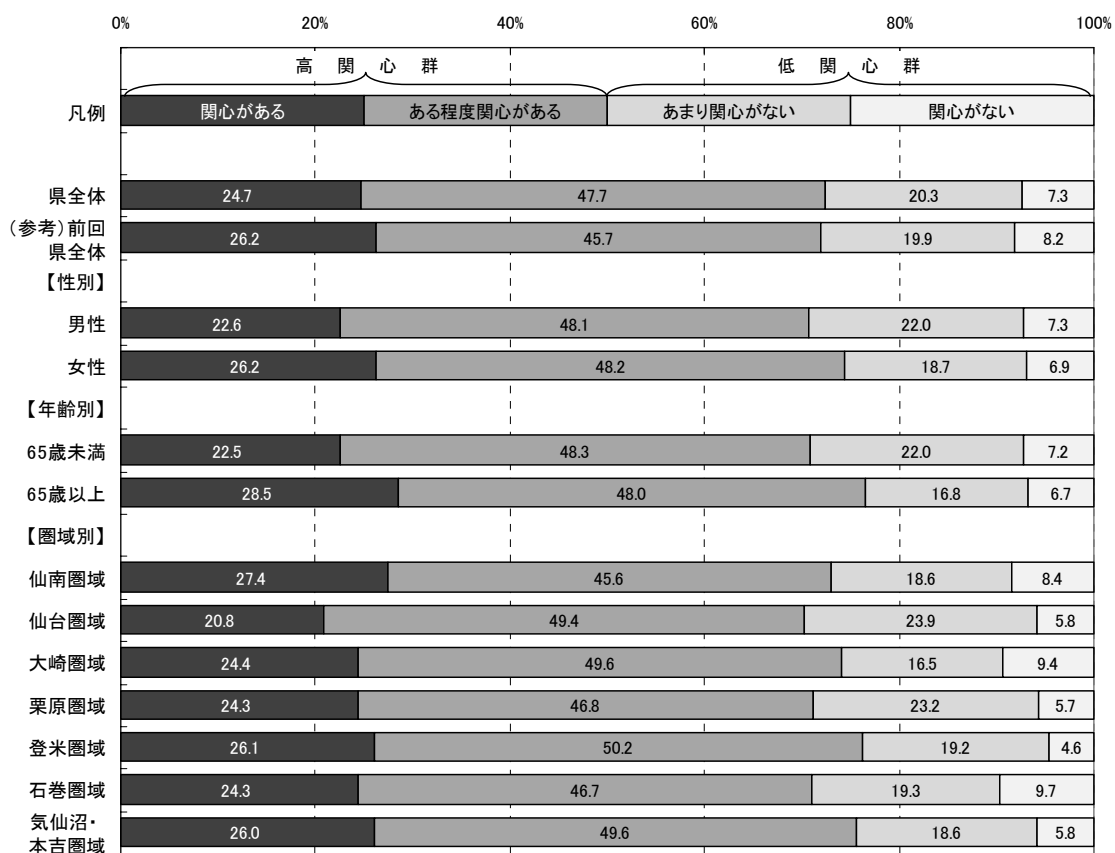


表2-2-15-2 取組15 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	467	904	385	138	1,894	159	2,053
	パーセント	24.7	47.7	20.3	7.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	478	833	363	149	1,823	121	1,944
	パーセント	26.2	45.7	19.9	8.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	199	424	194	64	881	68	949
	パーセント	22.6	48.1	22.0	7.3	100.0		
女性	度数	250	460	178	66	954	77	1,031
	パーセント	26.2	48.2	18.7	6.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	277	594	270	89	1,230	67	1,297
	パーセント	22.5	48.3	22.0	7.2	100.0		
65歳以上	度数	170	286	100	40	596	77	673
	パーセント	28.5	48.0	16.8	6.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	65	108	44	20	237	13	250
	パーセント	27.4	45.6	18.6	8.4	100.0		
仙台圏域	度数	54	128	62	15	259	17	276
	パーセント	20.8	49.4	23.9	5.8	100.0		
大崎圏域	度数	65	132	44	25	266	21	287
	パーセント	24.4	49.6	16.5	9.4	100.0		
栗原圏域	度数	64	123	61	15	263	24	287
	パーセント	24.3	46.8	23.2	5.7	100.0		
登米圏域	度数	68	131	50	12	261	23	284
	パーセント	26.1	50.2	19.2	4.6	100.0		
石巻圏域	度数	63	121	50	25	259	20	279
	パーセント	24.3	46.7	19.3	9.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	63	120	45	14	242	14	256
	パーセント	26.0	49.6	18.6	5.8	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は73.7%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は10.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が87.1%、『低重視群』は12.8%となる。

■性別

男性の『高重視群』は73.4%で、県全体より0.3ポイント低い。

女性の『高重視群』は74.4%で、県全体より0.7ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は72.9%で、県全体より0.8ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は76.5%で、県全体より2.8ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-3 取組15 重視度割合(属性別)

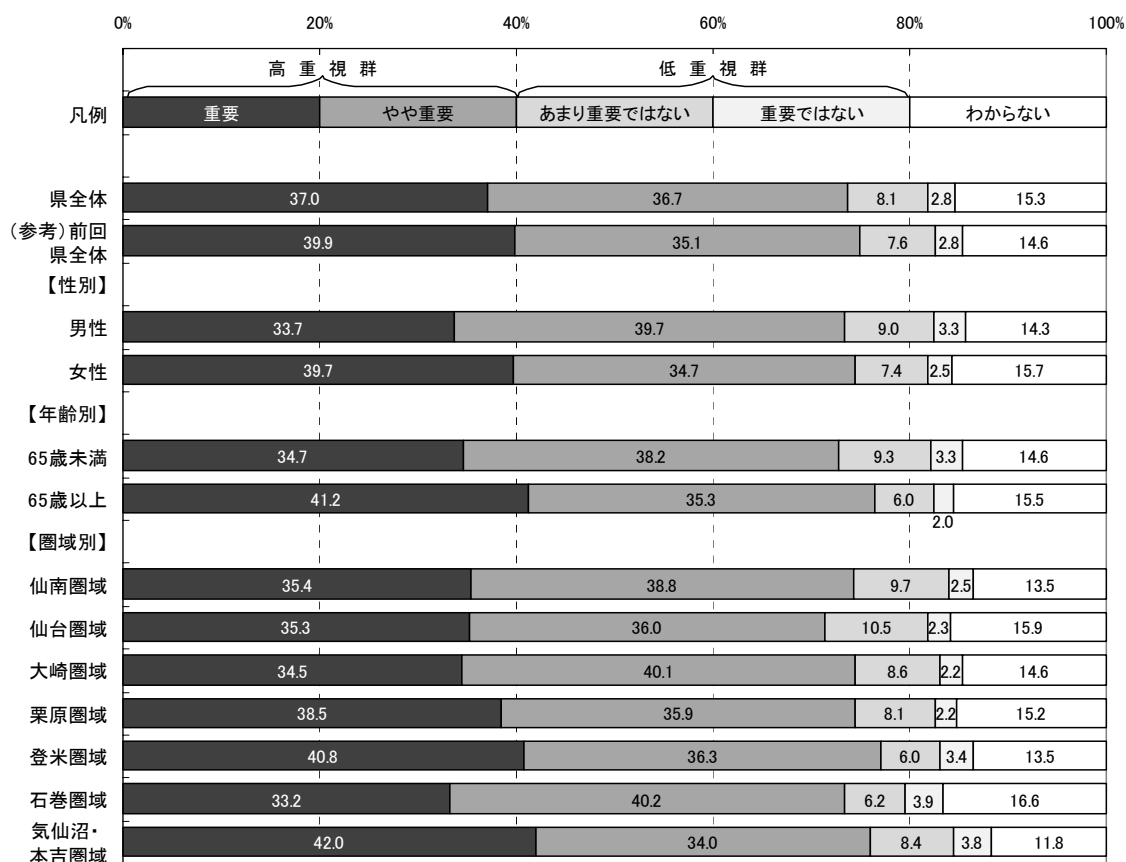


表2-2-15-3 取組15 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	705	700	154	54	292	1,905	148	2,053
	パーセント	37.0	36.7	8.1	2.8	15.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	43.7	43.4	9.5	3.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	729	641	139	52	267	1,828	116	1,944
	パーセント	39.9	35.1	7.6	2.8	14.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	300	353	80	29	127	889	60	949
	パーセント	33.7	39.7	9.0	3.3	14.3	100.0		
女性	度数	380	332	71	24	150	957	74	1,031
	パーセント	39.7	34.7	7.4	2.5	15.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	429	472	115	41	180	1,237	60	1,297
	パーセント	34.7	38.2	9.3	3.3	14.6	100.0		
65歳以上	度数	247	212	36	12	93	600	73	673
	パーセント	41.2	35.3	6.0	2.0	15.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	84	92	23	6	32	237	13	250
	パーセント	35.4	38.8	9.7	2.5	13.5	100.0		
仙台圏域	度数	91	93	27	6	41	258	18	276
	パーセント	35.3	36.0	10.5	2.3	15.9	100.0		
大崎圏域	度数	92	107	23	6	39	267	20	287
	パーセント	34.5	40.1	8.6	2.2	14.6	100.0		
栗原圏域	度数	104	97	22	6	41	270	17	287
	パーセント	38.5	35.9	8.1	2.2	15.2	100.0		
登米圏域	度数	109	97	16	9	36	267	17	284
	パーセント	40.8	36.3	6.0	3.4	13.5	100.0		
石巻圏域	度数	86	104	16	10	43	259	20	279
	パーセント	33.2	40.2	6.2	3.9	16.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	100	81	20	9	28	238	18	256
	パーセント	42.0	34.0	8.4	3.8	11.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は38.5%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は28.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が57.2%、『不満群』は42.8%となる。

■性別

男性の『満足群』は39.4%で、県全体より0.9ポイント高い。

女性の『満足群』は38.5%で、県全体と同じポイント。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は34.5%で、県全体より4.0ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は48.8%で、県全体より10.3ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は44.5%で、県全体より6.0ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-4 取組15 満足度割合(属性別)

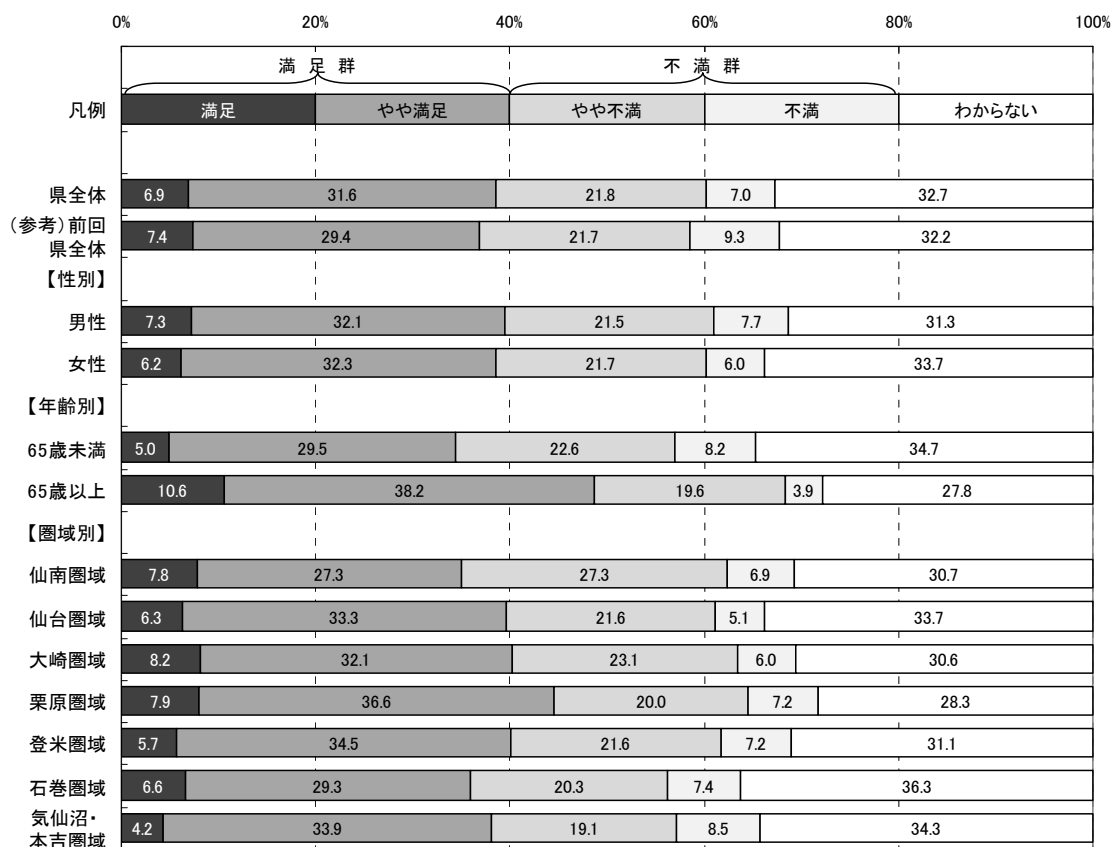


表2-2-15-4 取組15 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	129	594	409	131	615	1,878	175	2,053
	パーセント	6.9	31.6	21.8	7.0	32.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	10.2	47.0	32.4	10.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	133	531	391	168	581	1,804	140	1,944
	パーセント	7.4	29.4	21.7	9.3	32.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	64	282	189	68	275	878	71	949
	パーセント	7.3	32.1	21.5	7.7	31.3	100.0		
女性	度数	58	305	205	57	318	943	88	1,031
	パーセント	6.2	32.3	21.7	6.0	33.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	61	361	277	101	425	1,225	72	1,297
	パーセント	5.0	29.5	22.6	8.2	34.7	100.0		
65歳以上	度数	62	224	115	23	163	587	86	673
	パーセント	10.6	38.2	19.6	3.9	27.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	18	63	63	16	71	231	19	250
	パーセント	7.8	27.3	27.3	6.9	30.7	100.0		
仙台圏域	度数	16	85	55	13	86	255	21	276
	パーセント	6.3	33.3	21.6	5.1	33.7	100.0		
大崎圏域	度数	22	86	62	16	82	268	19	287
	パーセント	8.2	32.1	23.1	6.0	30.6	100.0		
栗原圏域	度数	21	97	53	19	75	265	22	287
	パーセント	7.9	36.6	20.0	7.2	28.3	100.0		
登米圏域	度数	15	91	57	19	82	264	20	284
	パーセント	5.7	34.5	21.6	7.2	31.1	100.0		
石巻圏域	度数	17	75	52	19	93	256	23	279
	パーセント	6.6	29.3	20.3	7.4	36.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	10	80	45	20	81	236	20	256
	パーセント	4.2	33.9	19.1	8.5	34.3	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 1 5 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 様々な社会活動や仕事、職業等の体験を通じて、児童生徒が主体的に学ぶ姿勢や将来の目標に向かって努力する態度を養う取組
- イ 豊かな心情や学ぼうとする意欲、健全な生活を送る態度など学ぶ土台の形成を目指した、学校教育を受ける時期までの幼児教育・保育の充実
- ウ 家庭学習に関する啓発や自習環境の整備など、児童生徒の学習習慣づけの取組
- エ 子どもたちの理解が進むような授業ができるよう、教員の教科指導力を上げたり、小学校・中学校・高等学校が連携を強化する取組
- オ 学習状況調査などによる子どもたちの学力定着状況の把握・分析と確かな学力定着に向けた取組
- カ 子どもたちの進路選択能力を育てるための指導体制の充実と、教員が進路指導するための能力・技能の向上
- キ 地域の進学指導等の拠点となる高等学校での取組の充実とその成果の普及
- ク 社会の変化に対応した教育
(情報通信技術を活用した教育・国際化に対応した教育・環境教育など)

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 子どもたちが自学自習の習慣を身につけ、意欲的に学習しています。また、授業がわかる子どもたちが増え、全国でも上位の学力が定着しています。
- 子どもたちが目的意識を持って学校生活や家庭生活を送り、進学や就職に必要な能力や勤労観・職業観を身につけています。
- 高校生の大学などへの現役進学達成率や就職決定率が全国平均を上回っています。
- 国際化や情報化など、社会状況の変化に対応した教育によって、地域社会を支える人材が生み出され、多方面で活躍しています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	エ	エ	エ	エ	エ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	イ	イ	イ	イ	イ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
第2位:	ア	ア	ア	イ	ア	ア	イ
第3位:	ク	イ	イ	ア	イ	イ	ア

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-15-5 取組15 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

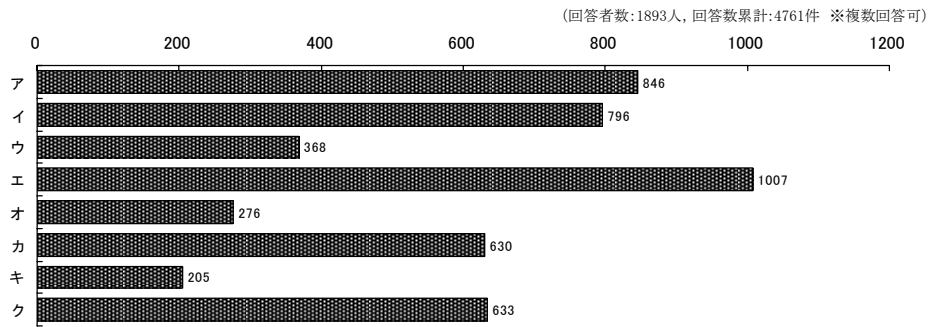
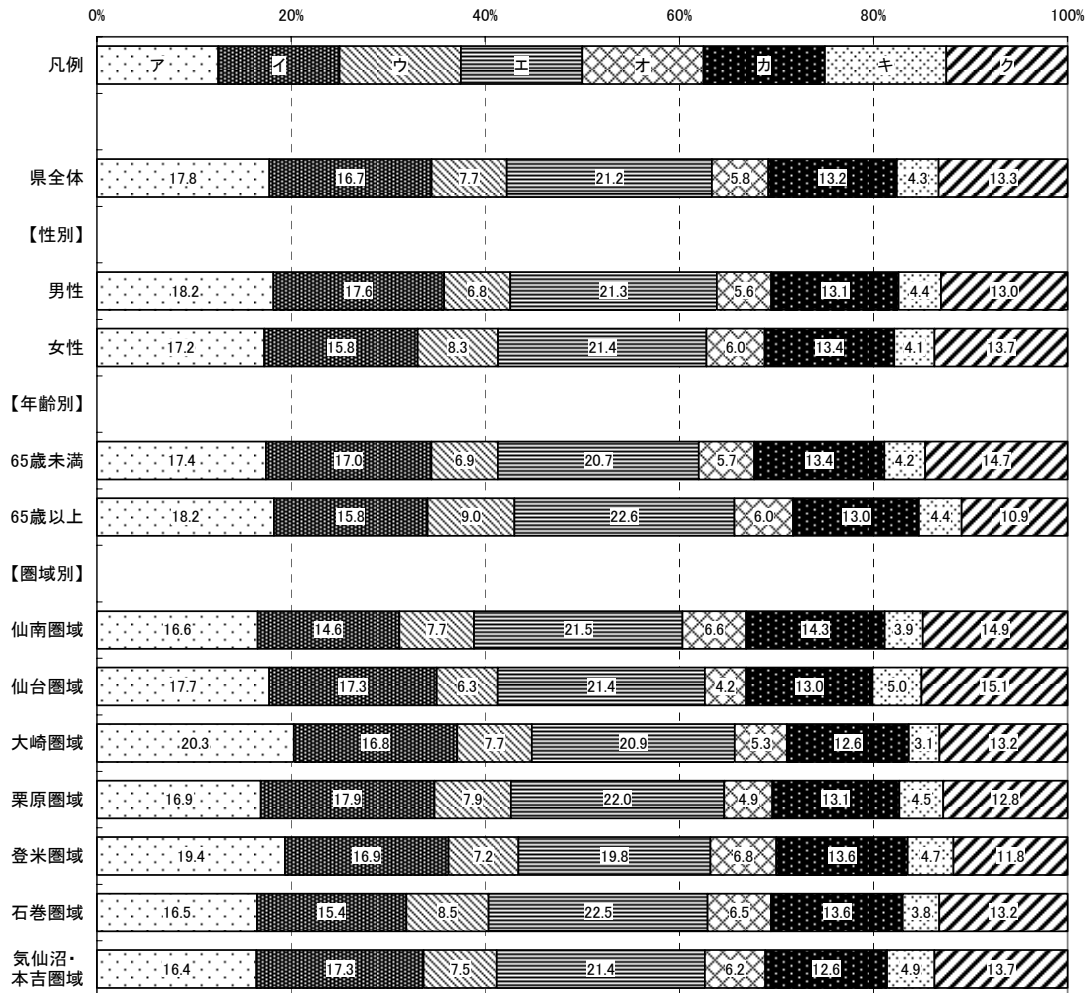


図2-2-15-6 取組15 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組16 豊かな心と健やかな体の育成



取組概要

いじめや不登校の未然防止，早期発見，早期解消を進め，児童生徒の豊かな人間性をはぐくむための心の教育の充実，子どもの体力・運動能力向上を目指します。

平成22年度の主な取組

- 不登校児童生徒の学校復帰のために，訪問指導員による家庭訪問や，在学青少年育成員，スクールソーシャルワーカーによる学校，家庭，関係機関が連携したネットワークの構築等，多様な支援を行っています。
- 児童生徒の問題行動(不登校，いじめ等)の未然防止，早期解決のため，県立高等学校，全公立中学校にスクールカウンセラーを配置するとともに，小学校に派遣し，相談に応じることで悩み等の解消を図っています。
[成果等] スクールカウンセラー配置人数 県立高等学校 49 人(77 校)，中学校 87 人(150 校)
- 協力して様々な課題を解決しながら，信頼し思いやる心を育てる体験学習法の 1 つである PAC(プロジェクトアドベンチャー)の考え方や手法を学校教育全体に取り入れるために，指導者の育成や研修等を進めています。
- 県教育研修センターにおいて，児童生徒及び保護者等が抱えているいじめ，不登校，非行等の諸問題に関して，医師や臨床心理士等の専門家による面接や電話相談を行っています。
[成果等] 来所相談件数 330 件，電話相談件数 746 件(平成 22 年 9 月末現在) 等
- 各学校では体力・運動能力調査を毎年実施し，12 年間継続記入できる個人記録カードを活用しています。また，県独自の「みやぎっ子！元気アップエクササイズ」の普及に取り組んでいます。
- 子どもたちの新たな健康課題に対応するため，各学校に地域の専門医等を派遣し，健康教育の充実や普及・啓発を図っています。
[成果等] 派遣回数 77 回

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は47.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は52.9%である。

■性別

男性の『高認知群』は42.4%で、県全体より4.6ポイント低い。

女性の『高認知群』は52.0%で、県全体より5.0ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は45.0%で、県全体より2.0ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は52.8%で、県全体より5.8ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-1 取組16 認知度割合(属性別)

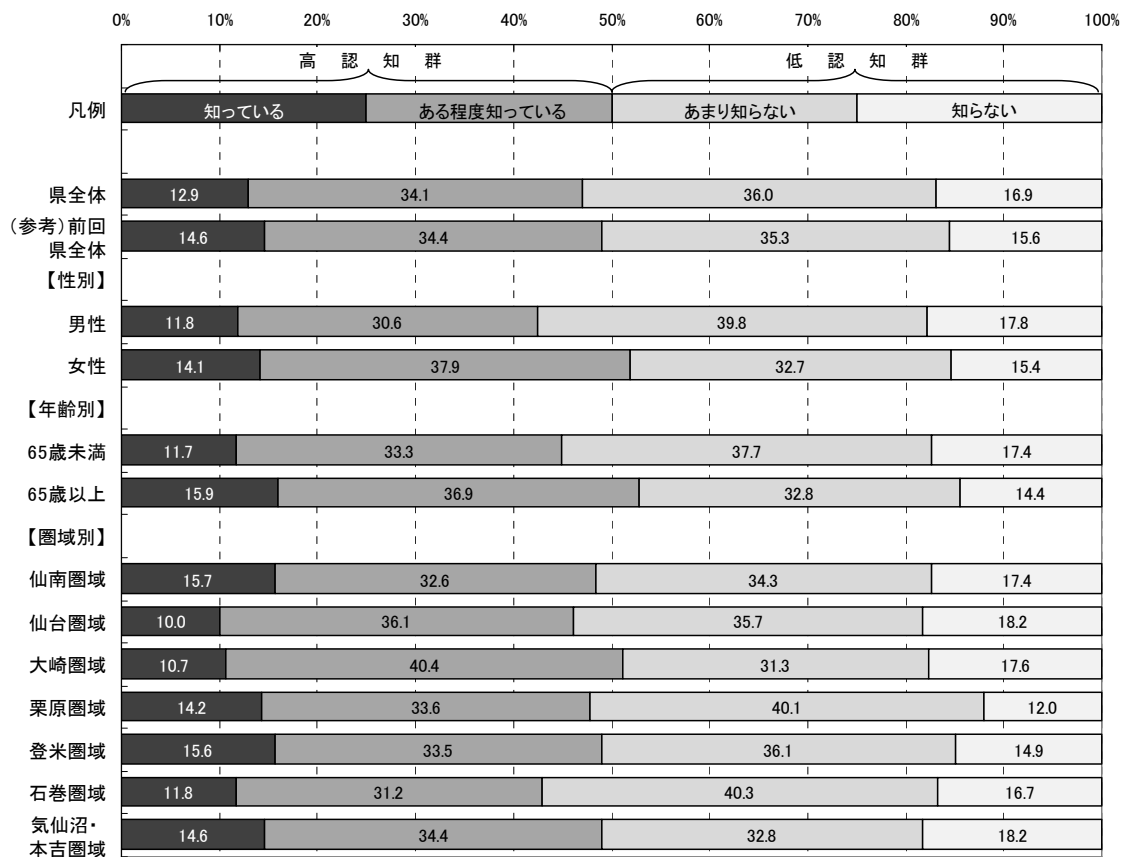


表2-2-16-1 取組16 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	252	664	701	329	1,946	107	2,053
	パーセント	12.9	34.1	36.0	16.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	274	645	662	292	1,873	71	1,944
	パーセント	14.6	34.4	35.3	15.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	107	277	360	161	905	44	949
	パーセント	11.8	30.6	39.8	17.8	100.0		
女性	度数	138	371	320	151	980	51	1,031
	パーセント	14.1	37.9	32.7	15.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	147	419	475	219	1,260	37	1,297
	パーセント	11.7	33.3	37.7	17.4	100.0		
65歳以上	度数	98	227	202	89	616	57	673
	パーセント	15.9	36.9	32.8	14.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	38	79	83	42	242	8	250
	パーセント	15.7	32.6	34.3	17.4	100.0		
仙台圏域	度数	27	97	96	49	269	7	276
	パーセント	10.0	36.1	35.7	18.2	100.0		
大崎圏域	度数	29	110	85	48	272	15	287
	パーセント	10.7	40.4	31.3	17.6	100.0		
栗原圏域	度数	39	92	110	33	274	13	287
	パーセント	14.2	33.6	40.1	12.0	100.0		
登米圏域	度数	42	90	97	40	269	15	284
	パーセント	15.6	33.5	36.1	14.9	100.0		
石巻圏域	度数	31	82	106	44	263	16	279
	パーセント	11.8	31.2	40.3	16.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	36	85	81	45	247	9	256
	パーセント	14.6	34.4	32.8	18.2	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は78.9%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は21.1%である。

■性別

男性の『高関心群』は75.7%で、県全体より3.2ポイント低い。

女性の『高関心群』は82.3%で、県全体より3.4ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は78.1%で、県全体より0.8ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は81.5%で、県全体より2.6ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-2 取組16 関心度割合(属性別)

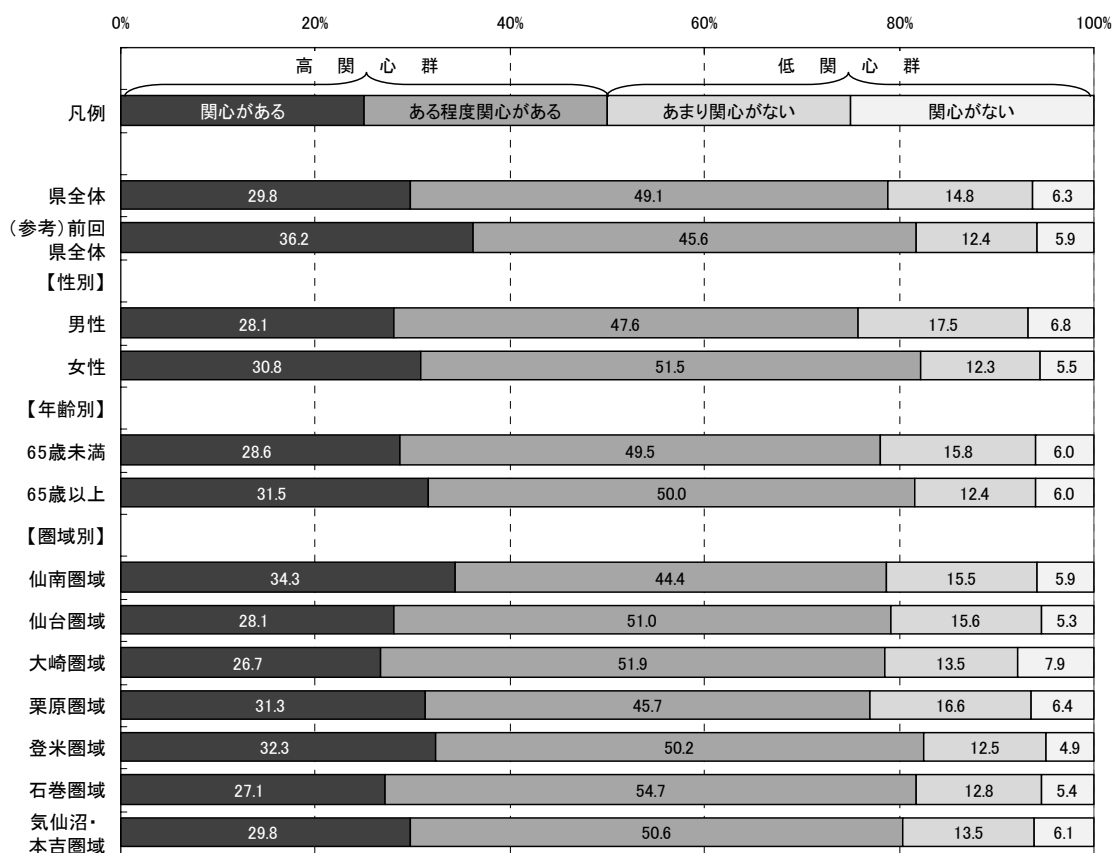


表2-2-16-2 取組16 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	567	936	282	120	1,905	148	2,053
	パーセント	29.8	49.1	14.8	6.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	663	835	227	108	1,833	111	1,944
	パーセント	36.2	45.6	12.4	5.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	249	421	155	60	885	64	949
	パーセント	28.1	47.6	17.5	6.8	100.0		
女性	度数	296	495	118	53	962	69	1,031
	パーセント	30.8	51.5	12.3	5.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	356	615	197	75	1,243	54	1,297
	パーセント	28.6	49.5	15.8	6.0	100.0		
65歳以上	度数	188	298	74	36	596	77	673
	パーセント	31.5	50.0	12.4	6.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	82	106	37	14	239	11	250
	パーセント	34.3	44.4	15.5	5.9	100.0		
仙台圏域	度数	74	134	41	14	263	13	276
	パーセント	28.1	51.0	15.6	5.3	100.0		
大崎圏域	度数	71	138	36	21	266	21	287
	パーセント	26.7	51.9	13.5	7.9	100.0		
栗原圏域	度数	83	121	44	17	265	22	287
	パーセント	31.3	45.7	16.6	6.4	100.0		
登米圏域	度数	85	132	33	13	263	21	284
	パーセント	32.3	50.2	12.5	4.9	100.0		
石巻圏域	度数	70	141	33	14	258	21	279
	パーセント	27.1	54.7	12.8	5.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	73	124	33	15	245	11	256
	パーセント	29.8	50.6	13.5	6.1	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は77.5%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は9.2%である。
 なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が89.3%、『低重視群』は10.7%となる。

■性別

男性の『高重視群』は76.2%で、県全体より1.3ポイント低い。
 女性の『高重視群』は79.1%で、県全体より1.6ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は77.6%で、県全体より0.1ポイント高い。
 65歳以上の『高重視群』は78.1%で、県全体より0.6ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-3 取組16 重視度割合(属性別)

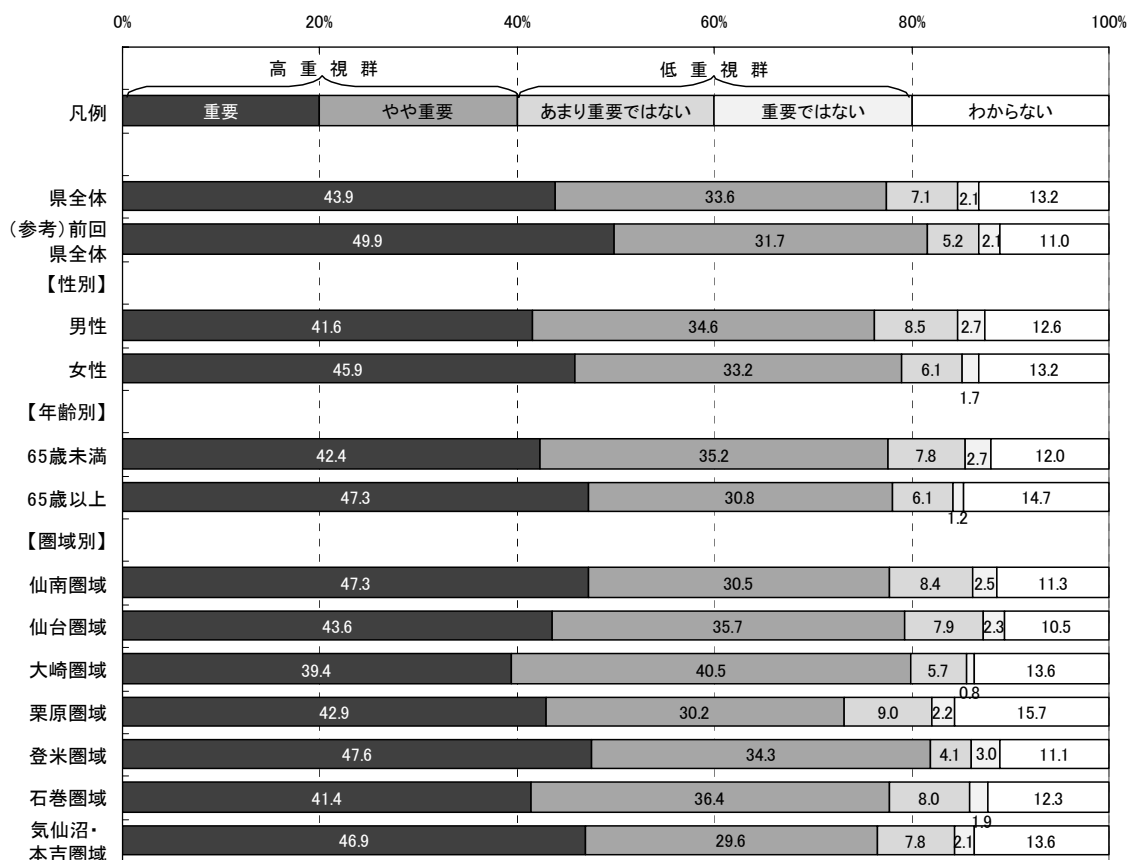


表2-2-16-3 取組16 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	843	645	137	41	254	1,920	133	2,053
	パーセント	43.9	33.6	7.1	2.1	13.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	50.6	38.7	8.2	2.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	910	579	95	39	201	1,824	120	1,944
	パーセント	49.9	31.7	5.2	2.1	11.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	372	310	76	24	113	895	54	949
	パーセント	41.6	34.6	8.5	2.7	12.6	100.0		
女性	度数	442	320	59	16	127	964	67	1,031
	パーセント	45.9	33.2	6.1	1.7	13.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	527	438	97	33	149	1,244	53	1,297
	パーセント	42.4	35.2	7.8	2.7	12.0	100.0		
65歳以上	度数	287	187	37	7	89	607	66	673
	パーセント	47.3	30.8	6.1	1.2	14.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	113	73	20	6	27	239	11	250
	パーセント	47.3	30.5	8.4	2.5	11.3	100.0		
仙台圏域	度数	116	95	21	6	28	266	10	276
	パーセント	43.6	35.7	7.9	2.3	10.5	100.0		
大崎圏域	度数	104	107	15	2	36	264	23	287
	パーセント	39.4	40.5	5.7	0.8	13.6	100.0		
栗原圏域	度数	115	81	24	6	42	268	19	287
	パーセント	42.9	30.2	9.0	2.2	15.7	100.0		
登米圏域	度数	129	93	11	8	30	271	13	284
	パーセント	47.6	34.3	4.1	3.0	11.1	100.0		
石巻圏域	度数	108	95	21	5	32	261	18	279
	パーセント	41.4	36.4	8.0	1.9	12.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	114	72	19	5	33	243	13	256
	パーセント	46.9	29.6	7.8	2.1	13.6	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は41.5%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.2%、『不満群』は39.7%となる。

■性別

男性の『満足群』は40.9%で、県全体より0.6ポイント低い。

女性の『満足群』は42.2%で、県全体より0.7ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は36.8%で、県全体より4.7ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は52.2%で、県全体より10.7ポイント高い。

■圏域別

石巻圏域の『満足群』は36.4%で、県全体より5.1ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-4 取組16 満足度割合(属性別)

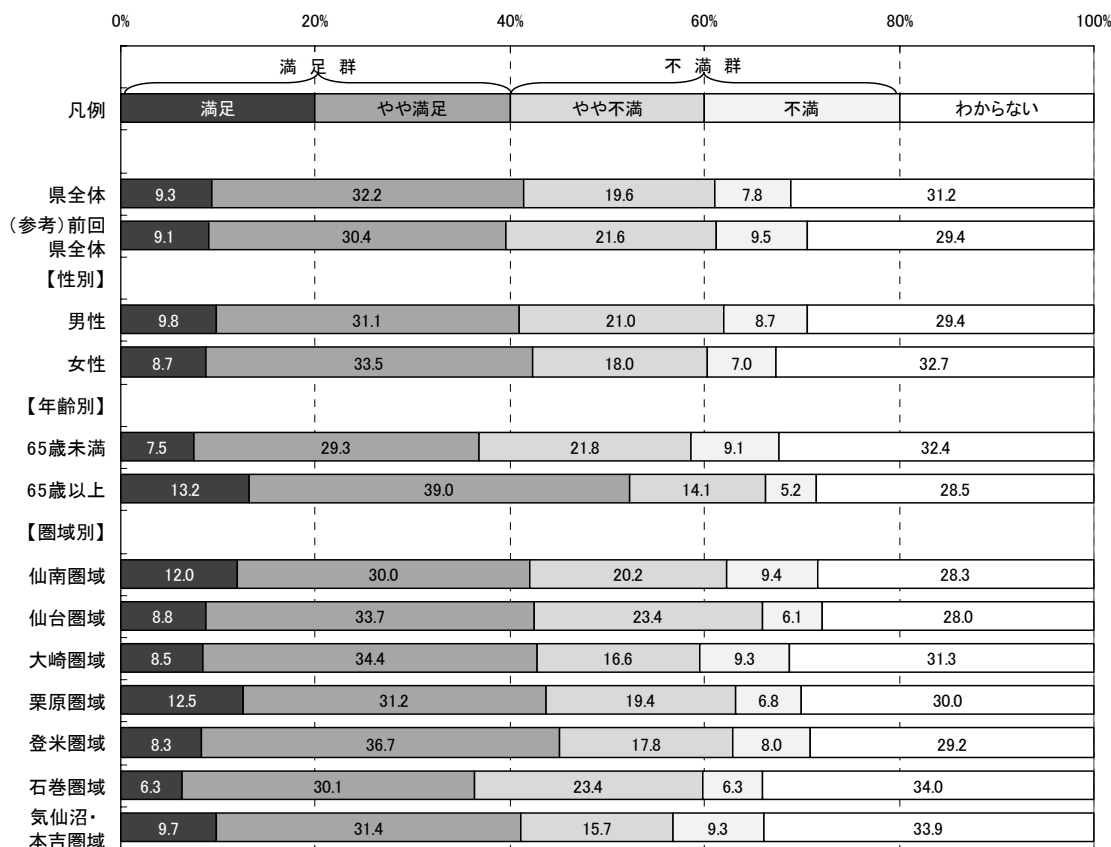


表2-2-16-4 取組16 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	174	602	366	146	584	1,872	181	2,053
	パーセント	9.3	32.2	19.6	7.8	31.2	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.5	46.7	28.4	11.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	164	548	389	171	529	1,801	143	1,944
	パーセント	9.1	30.4	21.6	9.5	29.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	86	273	184	76	258	877	72	949
	パーセント	9.8	31.1	21.0	8.7	29.4	100.0		
女性	度数	82	315	169	66	307	939	92	1,031
	パーセント	8.7	33.5	18.0	7.0	32.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	92	359	267	111	397	1,226	71	1,297
	パーセント	7.5	29.3	21.8	9.1	32.4	100.0		
65歳以上	度数	77	227	82	30	166	582	91	673
	パーセント	13.2	39.0	14.1	5.2	28.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	28	70	47	22	66	233	17	250
	パーセント	12.0	30.0	20.2	9.4	28.3	100.0		
仙台圏域	度数	23	88	61	16	73	261	15	276
	パーセント	8.8	33.7	23.4	6.1	28.0	100.0		
大崎圏域	度数	22	89	43	24	81	259	28	287
	パーセント	8.5	34.4	16.6	9.3	31.3	100.0		
栗原圏域	度数	33	82	51	18	79	263	24	287
	パーセント	12.5	31.2	19.4	6.8	30.0	100.0		
登米圏域	度数	22	97	47	21	77	264	20	284
	パーセント	8.3	36.7	17.8	8.0	29.2	100.0		
石巻圏域	度数	16	77	60	16	87	256	23	279
	パーセント	6.3	30.1	23.4	6.3	34.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	23	74	37	22	80	236	20	256
	パーセント	9.7	31.4	15.7	9.3	33.9	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組16に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア さまざまな社会体験や自然体験など、体験活動の充実や学校教育活動全般を通じた心の教育に関する取組
- イ 家庭・地域とが連携して行う、基本的な生活習慣を身につけることの大切さの普及啓発
- ウ みやぎアドベンチャープログラムの活用など、子どもたちの豊かな人間関係づくりのための取組
- エ スクールカウンセラー・相談員などの学校への配置、専門家・関係機関とが連携して行う教育相談体制の充実と不登校児童生徒への支援
- オ 小学校・中学校・高等学校までの体力・運動能力調査の継続的な実施など、子どもの体力・運動能力向上のための取組

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 学校生活などを通じて、子どもたちに道徳的な心情や生命を大切にする心、他を思いやる心が育っています。また、将来の自立の基礎となる基本的な生活習慣や規律意識などが身につく、社会の一員としての自覚を持てるようになっていきます。
- 心の教育に関する活動や、きめ細かな教育相談ができる環境づくりが進み、いじめや不登校などが大幅に減少しています。
- 子どもたちが進んで運動・スポーツに親しんでいます。また、体格とともに体力・運動能力も上がり、全国平均を上回っています。

<概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	イ	イ	イ	イ	イ
第3位:	オ	オ	エ	オ	オ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	エ	ア	ア	イ	ア	ア	イ
第2位:	ア	オ	イ	ア	イ	イ	ア
第3位:	イ	イ	エ	オ	オ	オ	エ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-16-5 取組16 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

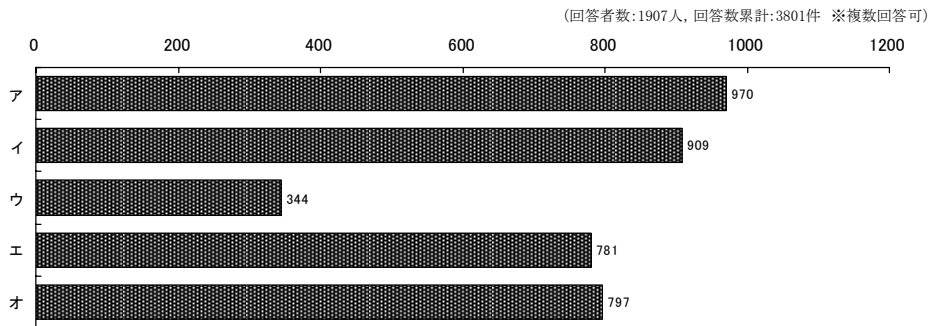
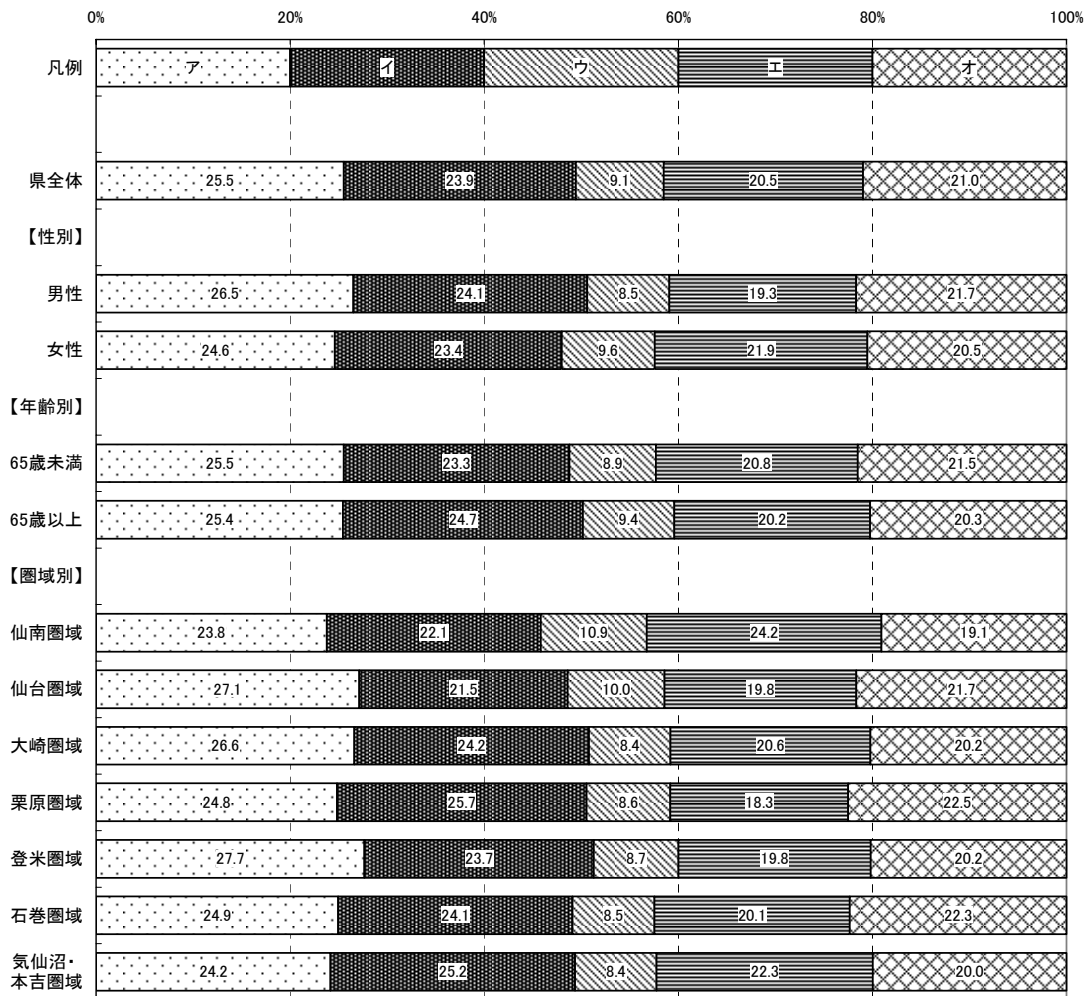


図2-2-16-6 取組16 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 1 7 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり



取組概要

児童生徒や保護者などの多様なニーズに応じた魅力ある学校づくり，地域から信頼される学校づくり，特別支援教育の充実，教員の資質向上，児童生徒が安心して学校生活を送れる教育環境づくりを目指します。

平成 2 2 年度の主な取組

- よりきめ細かな教育活動を進め，その後の学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図るため，県内全ての小学校 1・2 年生と中学校 1 年生において，1 学級 35 人を超える学級の解消を図っています。
- 教育現場に専門的知識・技能を持つ優れた社会人を積極的に迎え入れ，学校現場の多様化に対応するとともに，教育活動の活性化を図っています。
- 学校評価の結果を公表したり，授業公開日を設けたりするなど，信頼される学校づくりに取り組んでいます。
- 職場見学やインターンシップ，社会人講師による特別授業等，地域の教育資源を積極的に活用した特色ある学校づくりを進めています。
- 障害のある子どもも障害のない子どもも，共に学ぶことができるような教育を進めるため，モデル的な取組や特別支援学校の子どもたちが地域の学校で学習する取組を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

■ 県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は45.5%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は54.5%である。

■ 性別

男性の『高認知群』は40.5%で、県全体より5.0ポイント低い。

女性の『高認知群』は50.4%で、県全体より4.9ポイント高い。

■ 年齢別

65歳未満の『高認知群』は44.2%で、県全体より1.3ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は48.8%で、県全体より3.3ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-1 取組17 認知度割合(属性別)

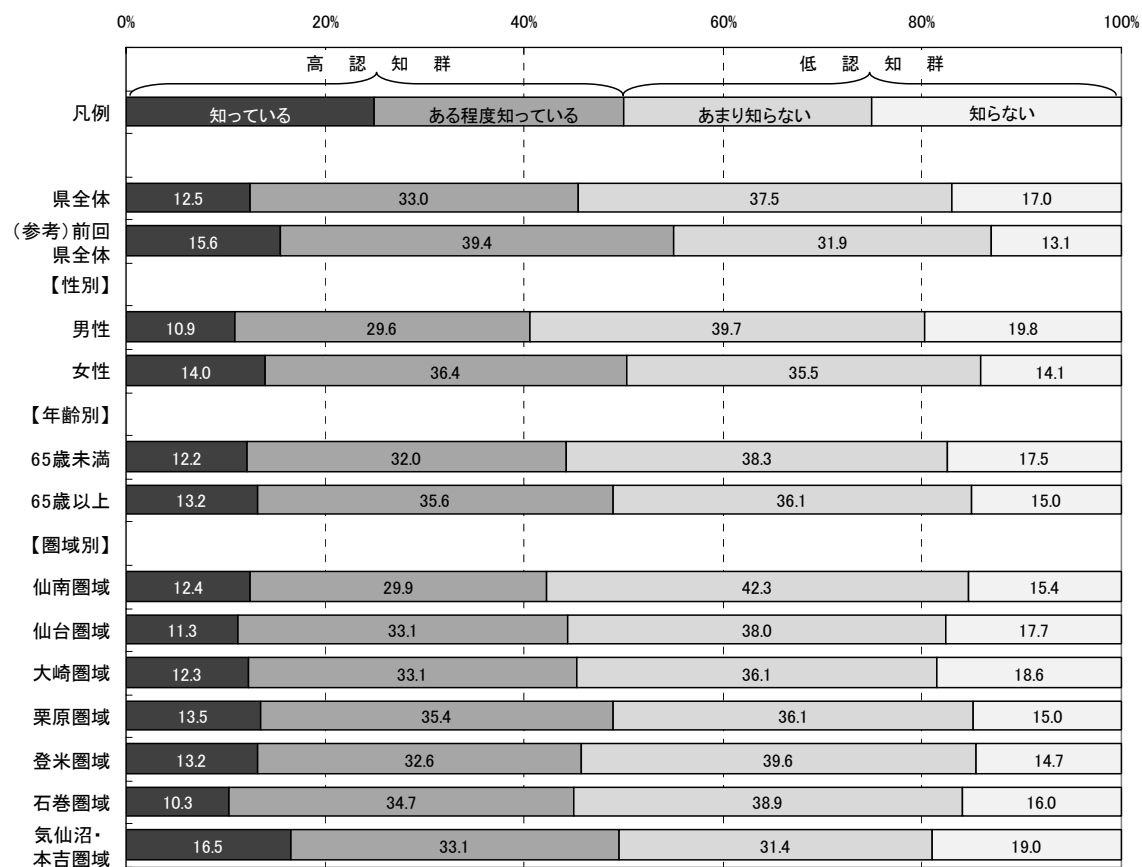


表2-2-17-1 取組17 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	243	640	728	330	1,941	112	2,053
	パーセント	12.5	33.0	37.5	17.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	286	725	587	240	1,838	106	1,944
	パーセント	15.6	39.4	31.9	13.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	98	267	358	178	901	48	949
	パーセント	10.9	29.6	39.7	19.8	100.0		
女性	度数	137	356	348	138	979	52	1,031
	パーセント	14.0	36.4	35.5	14.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	153	400	479	219	1,251	46	1,297
	パーセント	12.2	32.0	38.3	17.5	100.0		
65歳以上	度数	82	221	224	93	620	53	673
	パーセント	13.2	35.6	36.1	15.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	30	72	102	37	241	9	250
	パーセント	12.4	29.9	42.3	15.4	100.0		
仙台圏域	度数	30	88	101	47	266	10	276
	パーセント	11.3	33.1	38.0	17.7	100.0		
大崎圏域	度数	33	89	97	50	269	18	287
	パーセント	12.3	33.1	36.1	18.6	100.0		
栗原圏域	度数	37	97	99	41	274	13	287
	パーセント	13.5	35.4	36.1	15.0	100.0		
登米圏域	度数	36	89	108	40	273	11	284
	パーセント	13.2	32.6	39.6	14.7	100.0		
石巻圏域	度数	27	91	102	42	262	17	279
	パーセント	10.3	34.7	38.9	16.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	40	80	76	46	242	14	256
	パーセント	16.5	33.1	31.4	19.0	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

■ 県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は75.0%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は25.1%である。

■ 性別

男性の『高関心群』は71.9%で、県全体より3.1ポイント低い。

女性の『高関心群』は77.7%で、県全体より2.7ポイント高い。

■ 年齢別

65歳未満の『高関心群』は73.3%で、県全体より1.7ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は78.3%で、県全体より3.3ポイント高い。

■ 圏域別

登米圏域の『高関心群』は80.4%で、県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-2 取組17 関心度割合(属性別)

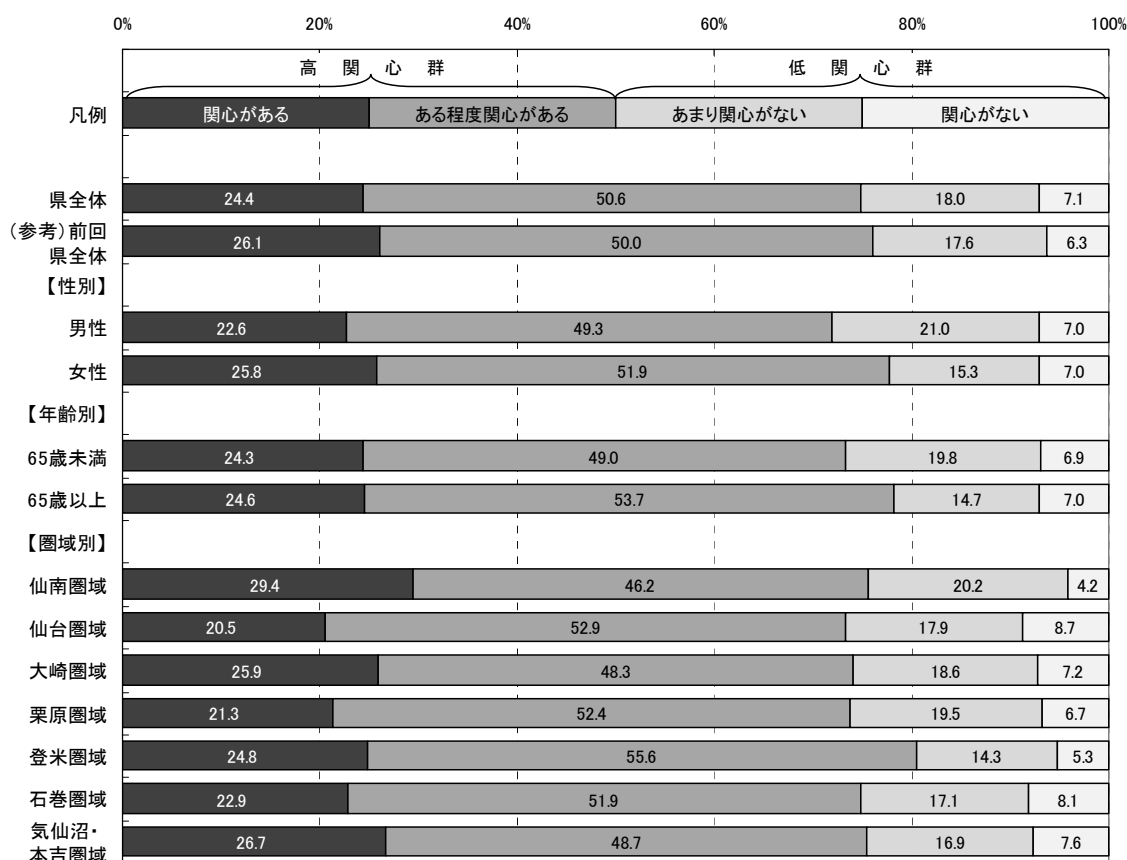


表2-2-17-2 取組17 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	462	959	341	135	1,897	156	2,053
	パーセント	24.4	50.6	18.0	7.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	467	894	314	113	1,788	156	1,944
	パーセント	26.1	50.0	17.6	6.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	200	436	186	62	884	65	949
	パーセント	22.6	49.3	21.0	7.0	100.0		
女性	度数	247	496	146	67	956	75	1,031
	パーセント	25.8	51.9	15.3	7.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	300	604	244	85	1,233	64	1,297
	パーセント	24.3	49.0	19.8	6.9	100.0		
65歳以上	度数	147	321	88	42	598	75	673
	パーセント	24.6	53.7	14.7	7.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	70	110	48	10	238	12	250
	パーセント	29.4	46.2	20.2	4.2	100.0		
仙台圏域	度数	54	139	47	23	263	13	276
	パーセント	20.5	52.9	17.9	8.7	100.0		
大崎圏域	度数	68	127	49	19	263	24	287
	パーセント	25.9	48.3	18.6	7.2	100.0		
栗原圏域	度数	57	140	52	18	267	20	287
	パーセント	21.3	52.4	19.5	6.7	100.0		
登米圏域	度数	66	148	38	14	266	18	284
	パーセント	24.8	55.6	14.3	5.3	100.0		
石巻圏域	度数	59	134	44	21	258	21	279
	パーセント	22.9	51.9	17.1	8.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	63	115	40	18	236	20	256
	パーセント	26.7	48.7	16.9	7.6	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は73.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は11.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が86.0%、『低重視群』は13.9%となる。

■性別

男性の『高重視群』は72.8%で、県全体より0.4ポイント低い。

女性の『高重視群』は74.1%で、県全体より0.9ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は72.2%で、県全体より1.0ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は76.7%で、県全体より3.5ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-3 取組17 重視度割合(属性別)

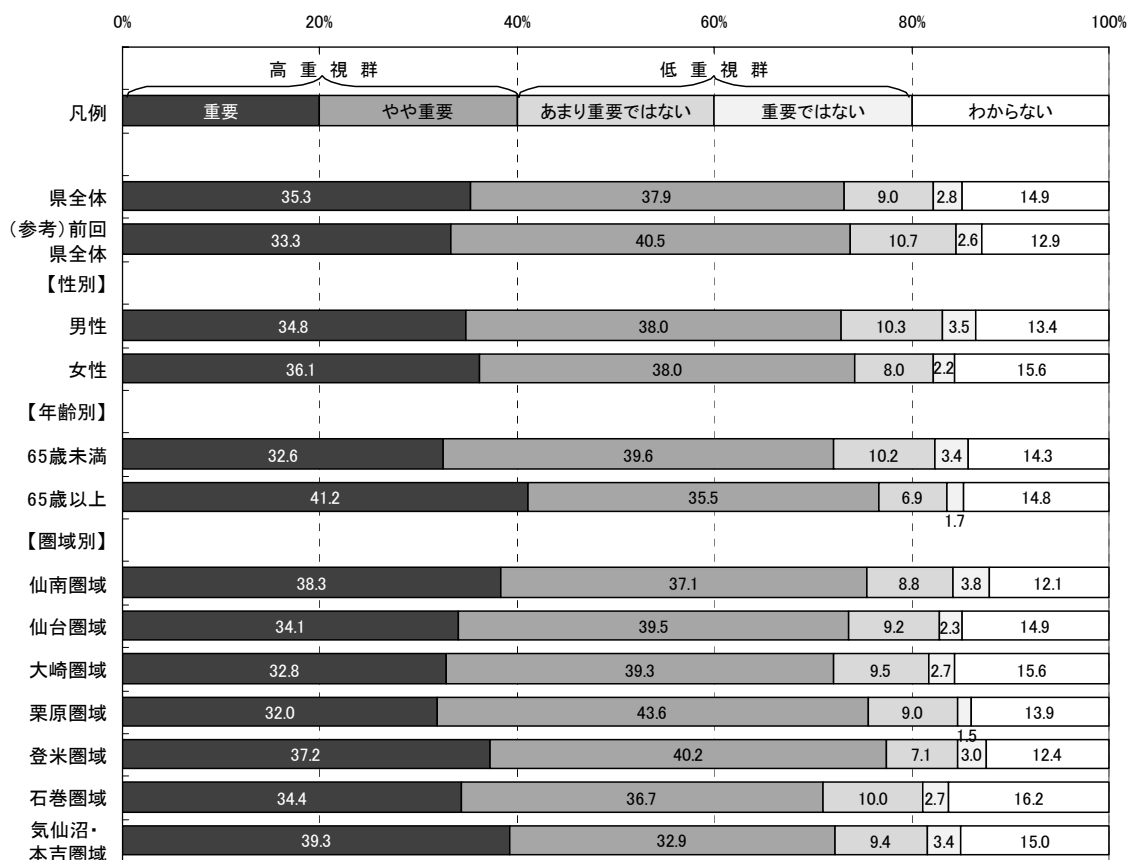


表2-2-17-3 取組17 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	669	718	171	54	283	1,895	158	2,053
	パーセント	35.3	37.9	9.0	2.8	14.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	41.5	44.5	10.6	3.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	598	727	192	47	232	1,796	148	1,944
	パーセント	33.3	40.5	10.7	2.6	12.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	308	337	91	31	119	886	63	949
	パーセント	34.8	38.0	10.3	3.5	13.4	100.0		
女性	度数	343	361	76	21	148	949	82	1,031
	パーセント	36.1	38.0	8.0	2.2	15.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	401	487	125	42	176	1,231	66	1,297
	パーセント	32.6	39.6	10.2	3.4	14.3	100.0		
65歳以上	度数	245	211	41	10	88	595	78	673
	パーセント	41.2	35.5	6.9	1.7	14.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	92	89	21	9	29	240	10	250
	パーセント	38.3	37.1	8.8	3.8	12.1	100.0		
仙台圏域	度数	89	103	24	6	39	261	15	276
	パーセント	34.1	39.5	9.2	2.3	14.9	100.0		
大崎圏域	度数	86	103	25	7	41	262	25	287
	パーセント	32.8	39.3	9.5	2.7	15.6	100.0		
栗原圏域	度数	85	116	24	4	37	266	21	287
	パーセント	32.0	43.6	9.0	1.5	13.9	100.0		
登米圏域	度数	99	107	19	8	33	266	18	284
	パーセント	37.2	40.2	7.1	3.0	12.4	100.0		
石巻圏域	度数	89	95	26	7	42	259	20	279
	パーセント	34.4	36.7	10.0	2.7	16.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	92	77	22	8	35	234	22	256
	パーセント	39.3	32.9	9.4	3.4	15.0	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

■ 県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は43.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は22.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が65.8%、『不満群』は34.1%となる。

■ 性別

男性の『満足群』は44.5%で、県全体より1.3ポイント高い。

女性の『満足群』は43.3%で、県全体より0.1ポイント高い。

■ 年齢別

65歳未満の『満足群』は40.4%で、県全体より2.8ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は51.3%で、県全体より8.1ポイント高い。

■ 圏域別

栗原圏域の『満足群』は50.6%で、県全体より7.4ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-4 取組17 満足度割合(属性別)

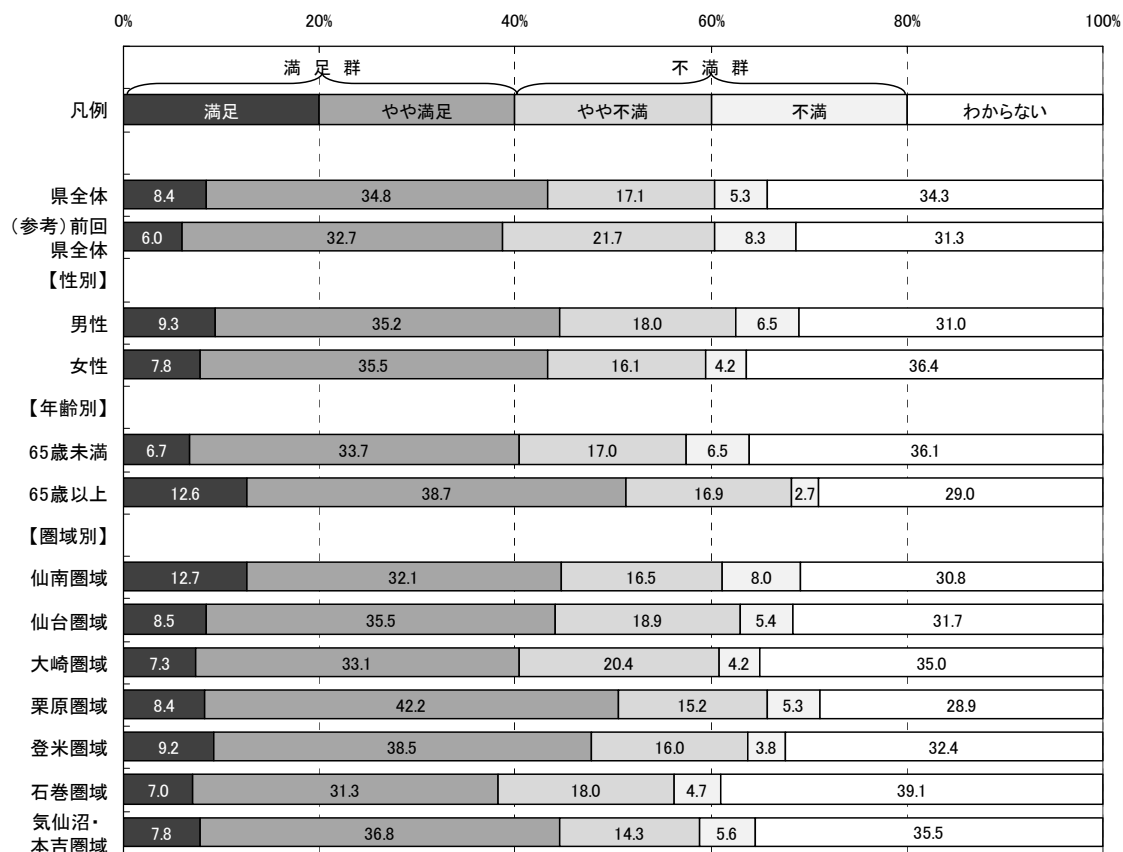


表2-2-17-4 取組17 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	158	652	320	100	641	1,871	182	2,053
	パーセント	8.4	34.8	17.1	5.3	34.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	12.8	53.0	26.0	8.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	106	575	382	147	551	1,761	183	1,944
	パーセント	6.0	32.7	21.7	8.3	31.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	82	310	158	57	273	880	69	949
	パーセント	9.3	35.2	18.0	6.5	31.0	100.0		
女性	度数	73	332	150	39	340	934	97	1,031
	パーセント	7.8	35.5	16.1	4.2	36.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	82	411	207	79	440	1,219	78	1,297
	パーセント	6.7	33.7	17.0	6.5	36.1	100.0		
65歳以上	度数	74	227	99	16	170	586	87	673
	パーセント	12.6	38.7	16.9	2.7	29.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	30	76	39	19	73	237	13	250
	パーセント	12.7	32.1	16.5	8.0	30.8	100.0		
仙台圏域	度数	22	92	49	14	82	259	17	276
	パーセント	8.5	35.5	18.9	5.4	31.7	100.0		
大崎圏域	度数	19	86	53	11	91	260	27	287
	パーセント	7.3	33.1	20.4	4.2	35.0	100.0		
栗原圏域	度数	22	111	40	14	76	263	24	287
	パーセント	8.4	42.2	15.2	5.3	28.9	100.0		
登米圏域	度数	24	101	42	10	85	262	22	284
	パーセント	9.2	38.5	16.0	3.8	32.4	100.0		
石巻圏域	度数	18	80	46	12	100	256	23	279
	パーセント	7.0	31.3	18.0	4.7	39.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	18	85	33	13	82	231	25	256
	パーセント	7.8	36.8	14.3	5.6	35.5	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 17 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 少人数学級や少人数指導など、子どもたちの実情に応じたきめ細かな教育活動の充実
- イ 県立高等学校の再・改編や入学者選抜制度改善などによる、時代の要求や教育環境の変化、生徒の多様化・個性化などに応じた魅力ある高校づくり
- ウ 学校の自主性・主体性を生かした学校運営への支援や学校評価の充実などによる地域から信頼される学校づくり
- エ 障害のある子どもも障害のない子どもも、地域の小・中学校で共に学ぶことのできる学習環境づくりと、軽度知的障害生徒の進路拡大を図るなどの特別支援教育の充実
- オ 優秀な教員確保、教員の資質向上・学校活性化のための適切な教員評価や教育研修の充実
- カ 県立高等学校の再・改編や特別支援学校の狭隘化、軽度知的障害生徒の後期中等教育に係る受け皿不足に対応するなどの必要な施設整備の推進

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 子どもたちのさまざまな学習意欲に応える教育が行われています。
- それぞれの学校が保護者や地域住民から理解や協力を得ながら、地域の特性に応じた教育を進めています。
- 障害のある子どもも障害のない子どもも共に学ぶことができ、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う教育が行われています。
- 意欲と能力ある教員が、さまざまな教育課題に対応しながら質の高い教育を行い、魅力ある学校づくりを積極的に進めています。
- 子どもたちが、安全で快適な学習環境で学校生活を送っています。

<概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	ア	ア	オ
第2位:	オ	オ	オ	エオ	ア
第3位:	エ	エ	エ	-	エ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	アエ	ア	オ	ア	ア	ア
第2位:	オ	-	エ	ア	オ	オ	エ
第3位:	エ	オ	オ	エ	エ	エ	オ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-17-5 取組17 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

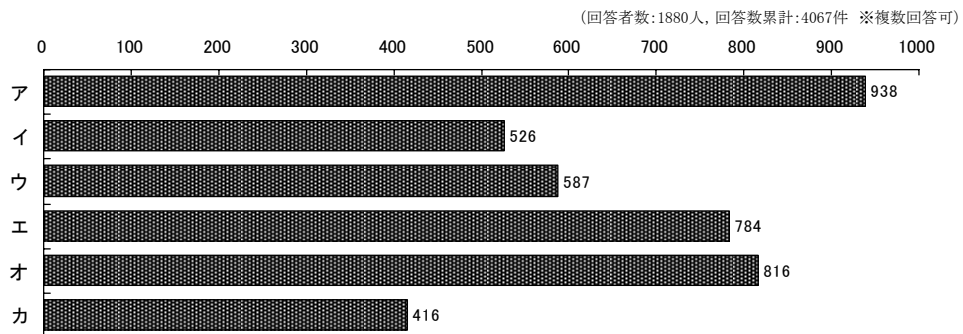
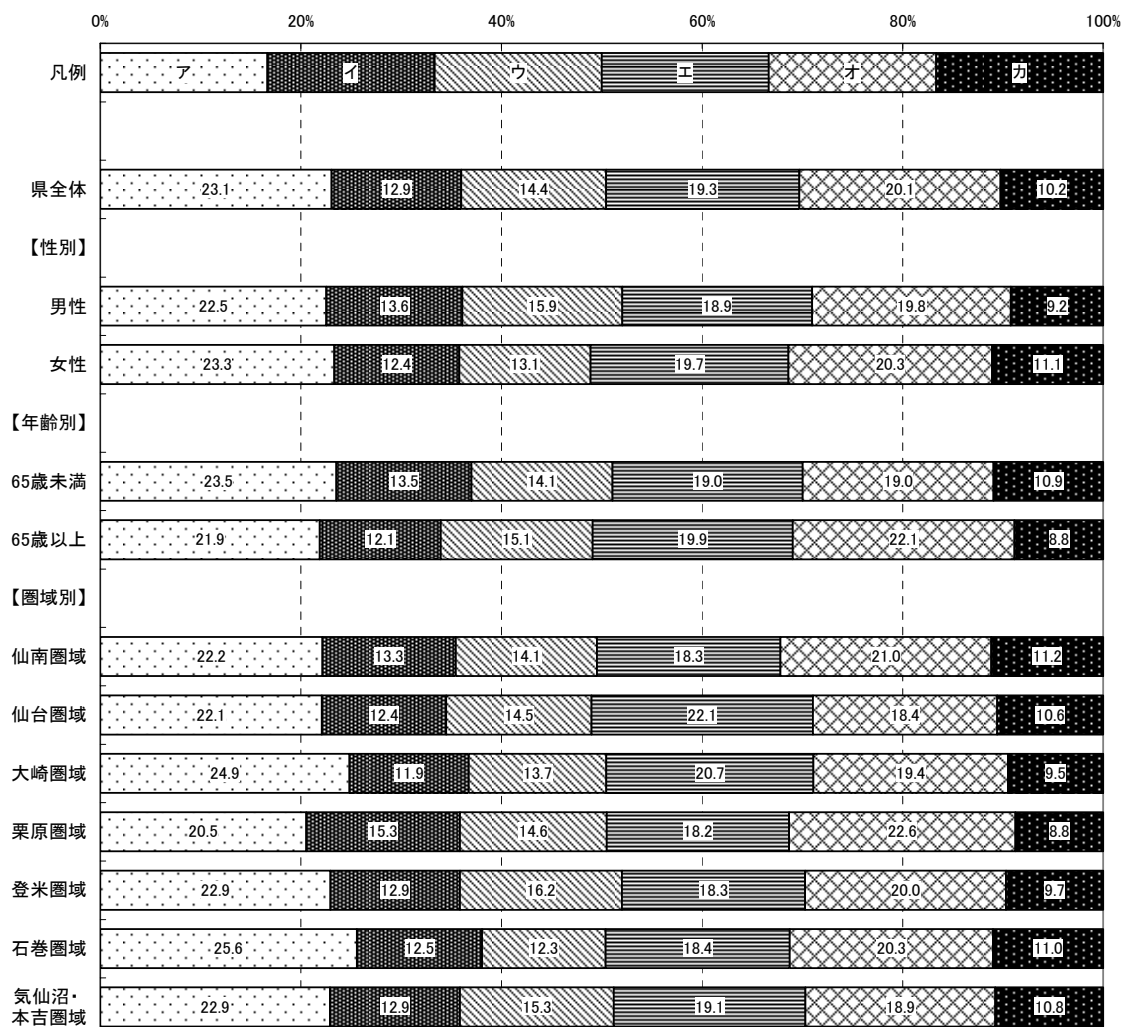


図2-2-17-6 取組17 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 1 7 「児童生徒や地域のニーズに応じた
特色ある教育環境づくり」

取組 1 8 多様な就業機会や就業環境の創出



取組概要

厳しい雇用情勢の改善に努め、働く意欲のある人が、いきいきと働くことができる就業の場の確保と就業しやすい環境整備に取り組むとともに、障害者等の就業に向けた相談・支援体制等の充実を目指します。

平成 2 2 年度の主な取組

- 国からの交付金をもとに造成した基金を活用し、市町村と連携して臨時職員等の直接雇用や委託事業を実施することによって、地域の雇用機会を提供しています。
[成果等] 雇用創出計画 5,337 人
- 新規学卒者の求人を増やし、就職を希望する生徒等が一人でも多く早期に安定した就職ができるように、新たに「低利資金融資制度」を創設するなど、新規学卒者の就職を支援しています。
- みやぎジョブカフェでは、若年求職者、フリーター等を対象に、地域の企業、学校等との幅広い連携・協力のもと、職業相談や職業訓練から職業紹介まで、若年の仕事探しをワンストップで支援しています。
[成果等] みやぎジョブカフェ 利用者数 20,590 人、新規登録者数 2,467 人、就職者数 1,486 人(平成 22 年 10 月末現在)
- 女性の積極的な登用のための取組を行っている企業を「女性のチカラを活かす企業」として認証、特に優れた取組を行っている企業を表彰するなど、男女ともに働きやすい就業環境づくりを進めています。
- IT(情報技術)を活用した障害者の就労等を支援するために、総合的なサービス提供の拠点として、「みやぎ障害者 IT サポートセンター」を設置・運営しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は45.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は54.2%である。

■性別

男性の『高認知群』は46.7%で、県全体より0.9ポイント高い。
女性の『高認知群』は45.0%で、県全体より0.8ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は45.8%で、県全体と同じポイント。
65歳以上の『高認知群』は46.7%で、県全体より0.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-1 取組18 認知度割合(属性別)

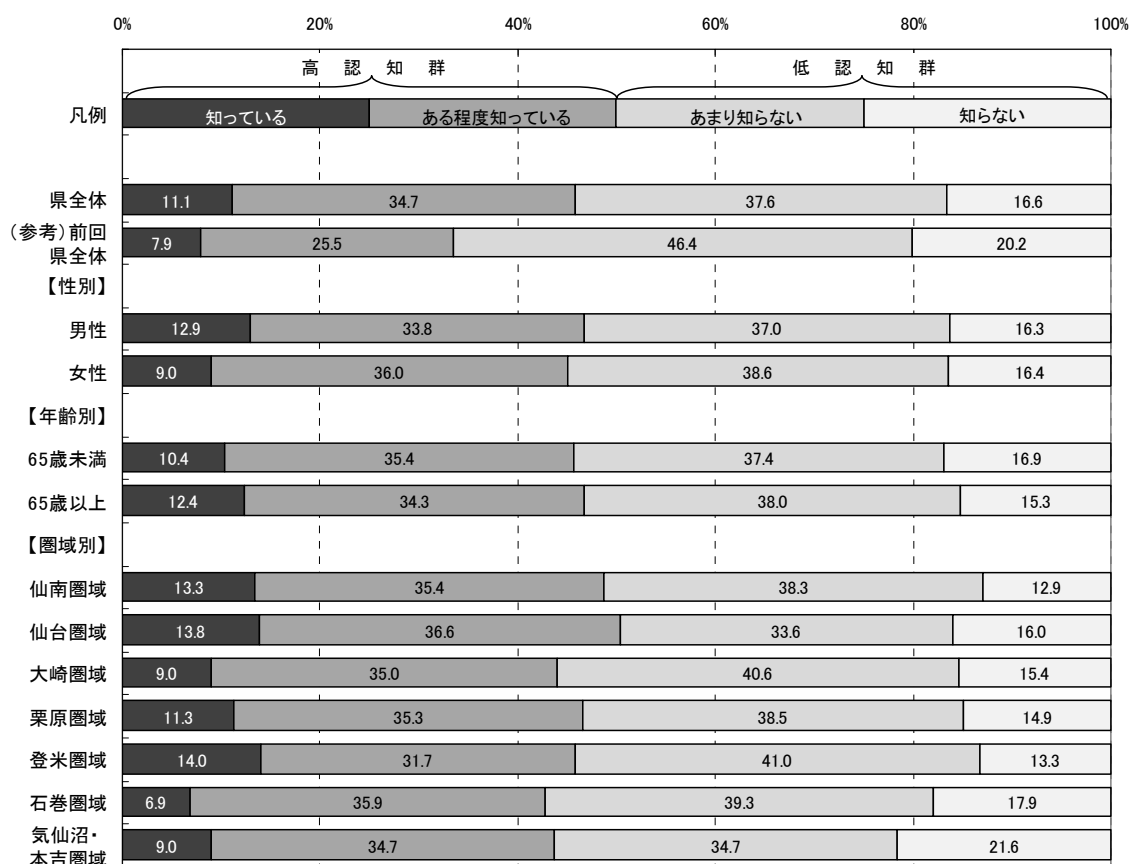


表2-2-18-1 取組18 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	216	673	729	323	1,941	112	2,053
	パーセント	11.1	34.7	37.6	16.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	146	471	857	372	1,846	98	1,944
	パーセント	7.9	25.5	46.4	20.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	116	304	333	147	900	49	949
	パーセント	12.9	33.8	37.0	16.3	100.0		
女性	度数	88	353	378	161	980	51	1,031
	パーセント	9.0	36.0	38.6	16.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	130	444	470	212	1,256	41	1,297
	パーセント	10.4	35.4	37.4	16.9	100.0		
65歳以上	度数	76	211	234	94	615	58	673
	パーセント	12.4	34.3	38.0	15.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	32	85	92	31	240	10	250
	パーセント	13.3	35.4	38.3	12.9	100.0		
仙台圏域	度数	37	98	90	43	268	8	276
	パーセント	13.8	36.6	33.6	16.0	100.0		
大崎圏域	度数	24	93	108	41	266	21	287
	パーセント	9.0	35.0	40.6	15.4	100.0		
栗原圏域	度数	31	97	106	41	275	12	287
	パーセント	11.3	35.3	38.5	14.9	100.0		
登米圏域	度数	38	86	111	36	271	13	284
	パーセント	14.0	31.7	41.0	13.3	100.0		
石巻圏域	度数	18	94	103	47	262	17	279
	パーセント	6.9	35.9	39.3	17.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	22	85	85	53	245	11	256
	パーセント	9.0	34.7	34.7	21.6	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は76.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は23.5%である。

■性別

男性の『高関心群』は78.7%で、県全体より2.2ポイント高い。

女性の『高関心群』は74.8%で、県全体より1.7ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は77.6%で、県全体より1.1ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は75.4%で、県全体より1.1ポイント低い。

■圏域別

石巻圏域の『高関心群』は71.4%で、県全体より5.1ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-2 取組18 関心度割合(属性別)

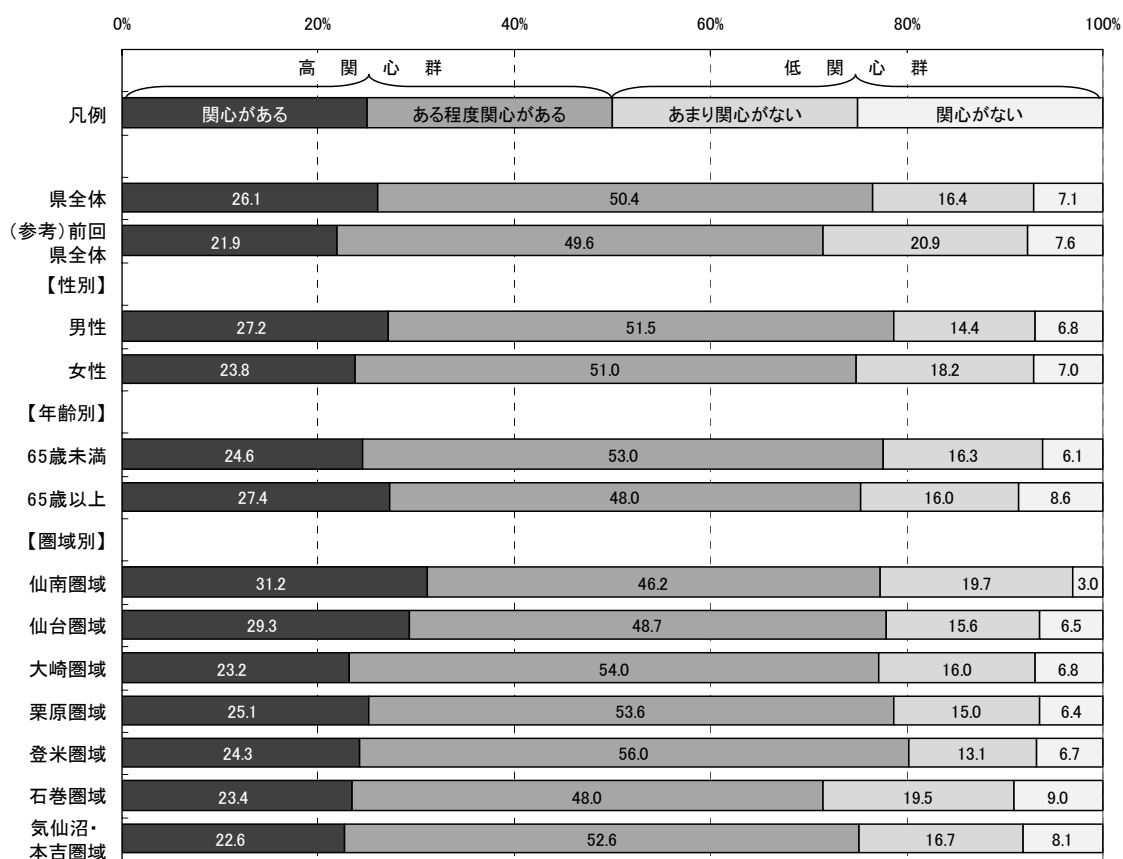


表2-2-18-2 取組18 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	492	952	310	134	1,888	165	2,053
	パーセント	26.1	50.4	16.4	7.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	394	894	377	137	1,802	142	1,944
	パーセント	21.9	49.6	20.9	7.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	239	453	127	60	879	70	949
	パーセント	27.2	51.5	14.4	6.8	100.0		
女性	度数	227	486	173	67	953	78	1,031
	パーセント	23.8	51.0	18.2	7.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	303	652	201	75	1,231	66	1,297
	パーセント	24.6	53.0	16.3	6.1	100.0		
65歳以上	度数	162	284	95	51	592	81	673
	パーセント	27.4	48.0	16.0	8.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	73	108	46	7	234	16	250
	パーセント	31.2	46.2	19.7	3.0	100.0		
仙台圏域	度数	77	128	41	17	263	13	276
	パーセント	29.3	48.7	15.6	6.5	100.0		
大崎圏域	度数	61	142	42	18	263	24	287
	パーセント	23.2	54.0	16.0	6.8	100.0		
栗原圏域	度数	67	143	40	17	267	20	287
	パーセント	25.1	53.6	15.0	6.4	100.0		
登米圏域	度数	65	150	35	18	268	16	284
	パーセント	24.3	56.0	13.1	6.7	100.0		
石巻圏域	度数	60	123	50	23	256	23	279
	パーセント	23.4	48.0	19.5	9.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	53	123	39	19	234	22	256
	パーセント	22.6	52.6	16.7	8.1	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は74.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は10.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が88.0%、『低重視群』は11.9%となる。

■性別

男性の『高重視群』は76.6%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『高重視群』は72.2%で、県全体より2.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は74.7%で、県全体より0.5ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は73.8%で、県全体より0.4ポイント低い。

■圏域別

仙南圏域の『高重視群』は79.4%で、県全体より5.2ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-3 取組18 重視度割合(属性別)

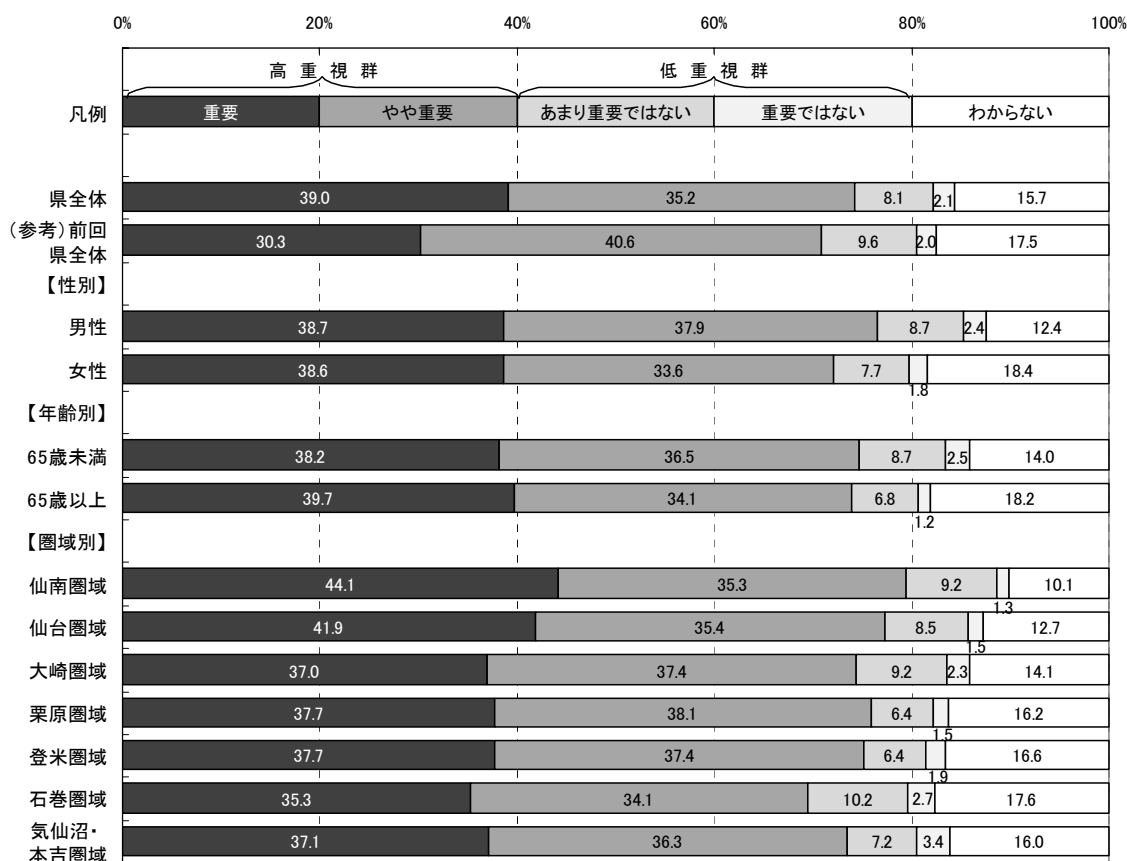


表2-2-18-3 取組18 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	737	664	152	39	296	1,888	165	2,053
	パーセント	39.0	35.2	8.1	2.1	15.7	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	46.3	41.7	9.5	2.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	545	731	173	36	315	1,800	144	1,944
	パーセント	30.3	40.6	9.6	2.0	17.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	344	337	77	21	110	889	60	949
	パーセント	38.7	37.9	8.7	2.4	12.4	100.0		
女性	度数	363	316	72	17	173	941	90	1,031
	パーセント	38.6	33.6	7.7	1.8	18.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	471	450	107	31	173	1,232	65	1,297
	パーセント	38.2	36.5	8.7	2.5	14.0	100.0		
65歳以上	度数	234	201	40	7	107	589	84	673
	パーセント	39.7	34.1	6.8	1.2	18.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	105	84	22	3	24	238	12	250
	パーセント	44.1	35.3	9.2	1.3	10.1	100.0		
仙台圏域	度数	109	92	22	4	33	260	16	276
	パーセント	41.9	35.4	8.5	1.5	12.7	100.0		
大崎圏域	度数	97	98	24	6	37	262	25	287
	パーセント	37.0	37.4	9.2	2.3	14.1	100.0		
栗原圏域	度数	100	101	17	4	43	265	22	287
	パーセント	37.7	38.1	6.4	1.5	16.2	100.0		
登米圏域	度数	100	99	17	5	44	265	19	284
	パーセント	37.7	37.4	6.4	1.9	16.6	100.0		
石巻圏域	度数	90	87	26	7	45	255	24	279
	パーセント	35.3	34.1	10.2	2.7	17.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	88	86	17	8	38	237	19	256
	パーセント	37.1	36.3	7.2	3.4	16.0	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は35.6%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は32.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が51.9%、『不満群』は48.1%となる。

■性別

男性の『満足群』は39.3%で、県全体より3.7ポイント高い。

女性の『満足群』は32.6%で、県全体より3.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は30.7%で、県全体より4.9ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は47.1%で、県全体より11.5ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は43.9%で、県全体より8.3ポイント高い。

石巻圏域の『満足群』は29.0%で、県全体より6.6ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-4 取組18 満足度割合(属性別)

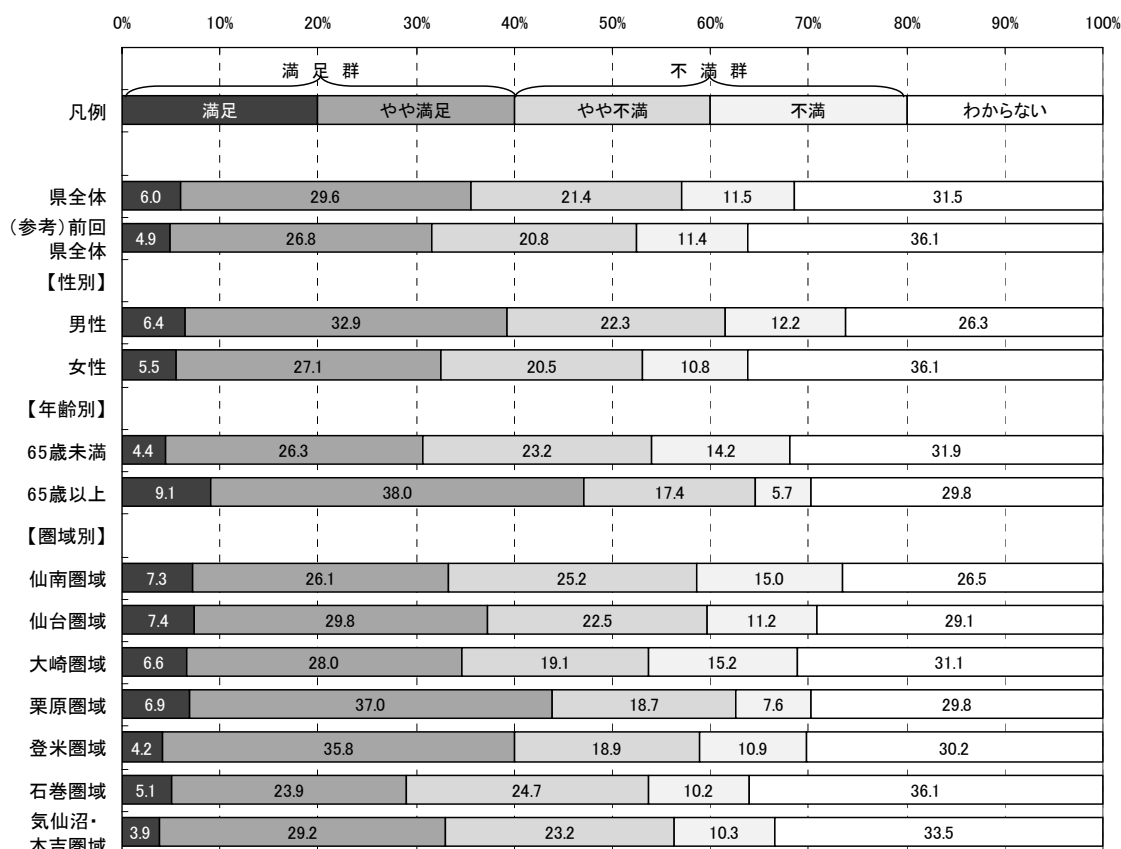


表2-2-18-4 取組18 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	112	553	401	215	589	1,870	183	2,053
	パーセント	6.0	29.6	21.4	11.5	31.5	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	8.7	43.2	31.3	16.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	86	472	367	201	637	1,763	181	1,944
	パーセント	4.9	26.8	20.8	11.4	36.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	56	289	196	107	231	879	70	949
	パーセント	6.4	32.9	22.3	12.2	26.3	100.0		
女性	度数	51	253	191	101	337	933	98	1,031
	パーセント	5.5	27.1	20.5	10.8	36.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	54	321	284	173	390	1,222	75	1,297
	パーセント	4.4	26.3	23.2	14.2	31.9	100.0		
65歳以上	度数	53	221	101	33	173	581	92	673
	パーセント	9.1	38.0	17.4	5.7	29.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	17	61	59	35	62	234	16	250
	パーセント	7.3	26.1	25.2	15.0	26.5	100.0		
仙台圏域	度数	19	77	58	29	75	258	18	276
	パーセント	7.4	29.8	22.5	11.2	29.1	100.0		
大崎圏域	度数	17	72	49	39	80	257	30	287
	パーセント	6.6	28.0	19.1	15.2	31.1	100.0		
栗原圏域	度数	18	97	49	20	78	262	25	287
	パーセント	6.9	37.0	18.7	7.6	29.8	100.0		
登米圏域	度数	11	95	50	29	80	265	19	284
	パーセント	4.2	35.8	18.9	10.9	30.2	100.0		
石巻圏域	度数	13	61	63	26	92	255	24	279
	パーセント	5.1	23.9	24.7	10.2	36.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	9	68	54	24	78	233	23	256
	パーセント	3.9	29.2	23.2	10.3	33.5	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組18に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 雇用情勢の急激な悪化等の対応として、地域の安定的な雇用機会や次の雇用までの一時的な雇用・就業機会の提供
- イ 就業形態の変化に応じた、産学官の各種機関が行うさまざまな職業能力開発の機会の提供
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の各々の経験や能力に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 相談体制の充実や職業選択機会の提供など、若年者に対する総合的な就業環境づくり
- オ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- カ 障害者雇用率制度など、障害者も含めたさまざまな就業環境づくりのための事業主への啓発
- キ 農林水産分野と介護分野への就労促進と、将来にわたり意欲と能力を持った担い手としての定着を目指した人材育成等の支援

(参考:目標とする宮城の姿)

- 働く意欲のある人が、それぞれの経験や能力に応じていきいきと働ける場づくりが進んでいます。
- 女性や高齢者の働き場所が増え、地域産業の担い手として活躍しています。
- 若年者が進路や就職を自分で選び、自立した個人として社会参加できる環境が整っています。また、ニート、フリーター率が全国平均を下回っています。
- 企業などで、障害者の安定的な雇用が進むなど、働く意欲と能力のある障害者の働き場所が増えています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	ア	ア	ア	ア	アキ
第3位:	キ	キ	キ	キ	-

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	キ
第3位:	キ	キ	キ	キ	キ	キ	ア

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-18-5 取組18 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

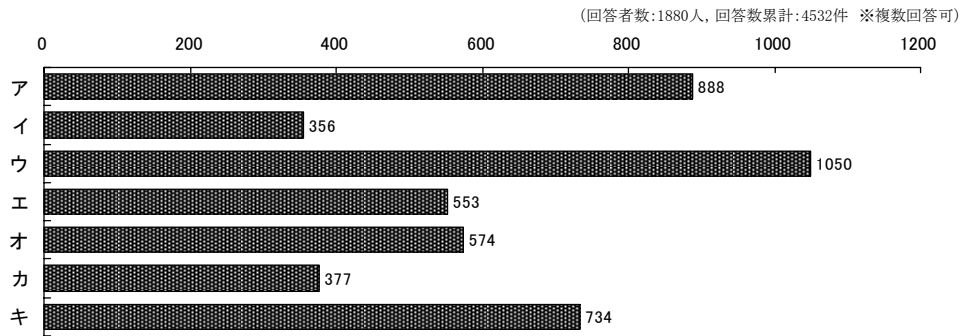
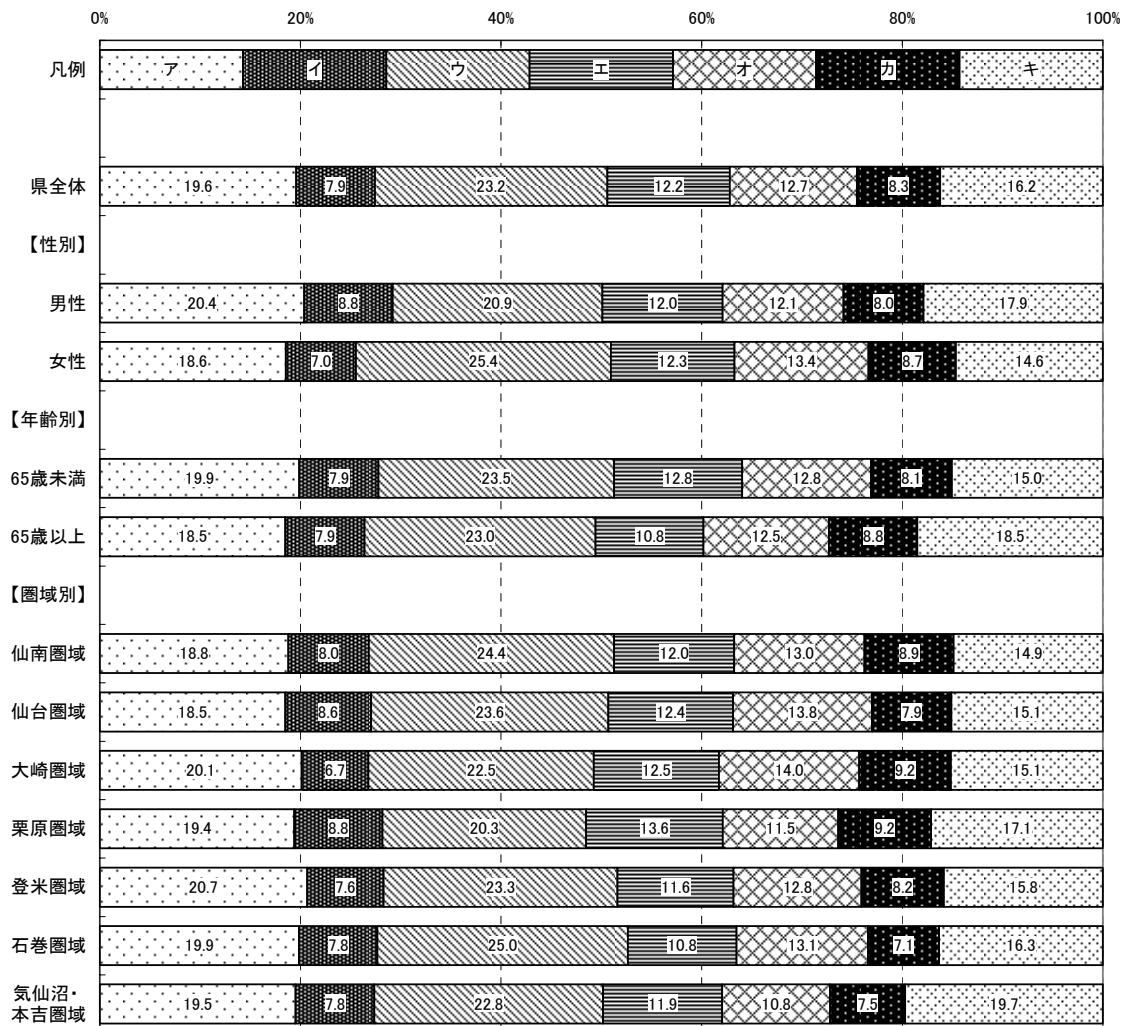


図2-2-18-6 取組18 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組19 安心できる地域医療の充実



取組概要

県内の各地域で生涯を通じて必要な医療を受けることができるよう、医療機能の集約化、拠点化、地域間の役割分担等を進め、医師確保や医師の地域的偏在の解消等を目指します。

平成22年度の主な取組

- 自治体病院等の医師確保のため、全国から希望する医師を募集・採用し、医師不足の自治体病院等に派遣・配置しています。また、将来、地域医療へ従事する意志を持った大学生等を対象に修学資金を貸し付けています。
[成果等] 医師派遣人数 11人
- 救急医療体制の充実を図るため、重篤な救急患者に対応する救命救急センターの運営経費や救急医療に従事する医師に対する手当への補助のほか、研修、円滑な救急搬送のための基準づくりを行っています。
- 高度化、専門化する医療に対応した安全で質の高い看護を提供するため、認定看護師の養成に取り組んだほか、看護師確保に向けて離職防止や復職支援に取り組んでいます。
- リハビリテーション支援センターや保健福祉事務所が、高齢者及び障害者への個別支援、市町村の保健福祉事業への支援等を行っています。また、理学療法士等の専門職を確保するため、合同就職説明会を開催しています。
[成果等] 合同就職説明会開催回数 1回, 参加数 367人, 28施設
- がん医療向上のため、がん診療連携拠点病院の機能強化を図るとともに、がん医療従事者の育成、がん患者・家族等への支援体制の充実及びがん登録(がんの実態把握・罹患・生存率の計測等)の従事者育成を実施しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

■ 県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は49.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は50.2%である。

■ 性別

男性の『高認知群』は52.0%で、県全体より2.2ポイント高い。

女性の『高認知群』は47.5%で、県全体より2.3ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高認知群』は44.9%で、県全体より4.9ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は59.6%で、県全体より9.8ポイント高い。

■ 圏域別

仙南圏域の『高認知群』は43.1%で、県全体より6.7ポイント低い。

栗原圏域の『高認知群』は56.2%で、県全体より6.4ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-1 取組19 認知度割合(属性別)

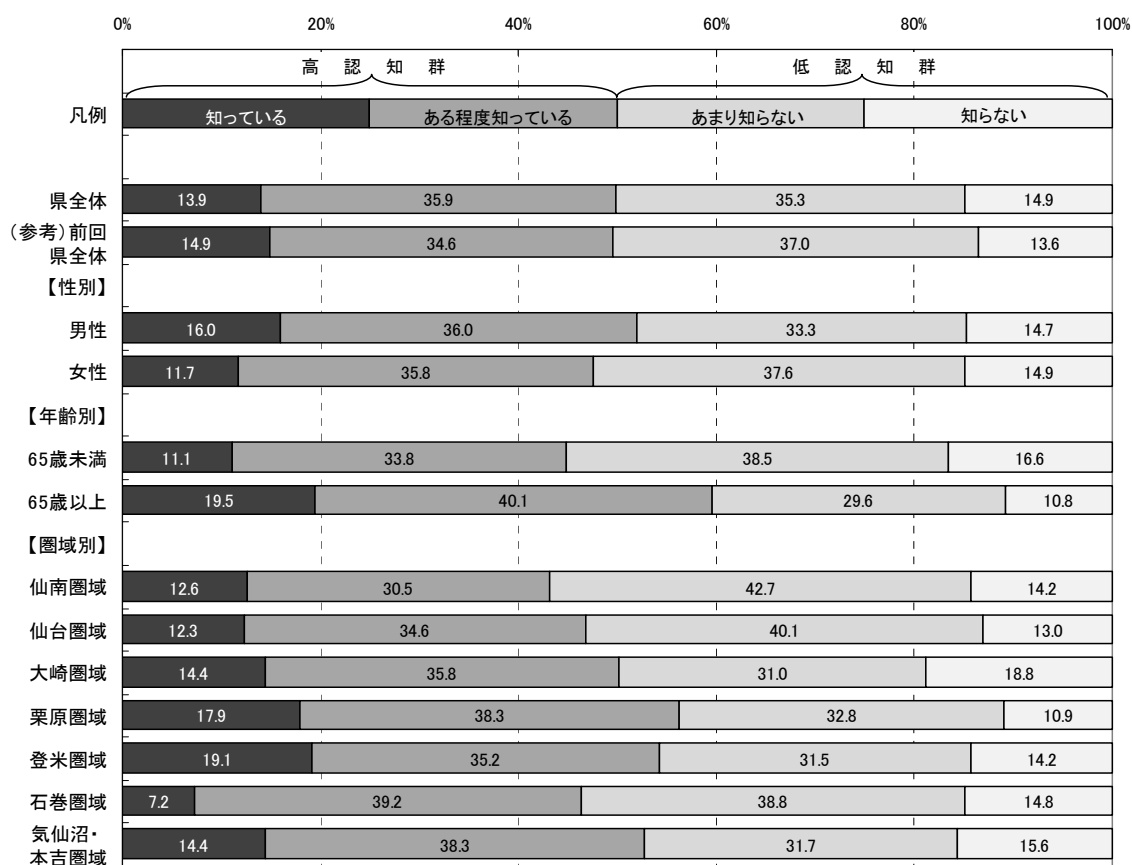


表2-2-19-1 取組19 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	270	697	684	288	1,939	114	2,053
	パーセント	13.9	35.9	35.3	14.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	277	643	687	252	1,859	85	1,944
	パーセント	14.9	34.6	37.0	13.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	145	326	302	133	906	43	949
	パーセント	16.0	36.0	33.3	14.7	100.0		
女性	度数	114	349	366	145	974	57	1,031
	パーセント	11.7	35.8	37.6	14.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	139	422	481	208	1,250	47	1,297
	パーセント	11.1	33.8	38.5	16.6	100.0		
65歳以上	度数	121	249	184	67	621	52	673
	パーセント	19.5	40.1	29.6	10.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	30	73	102	34	239	11	250
	パーセント	12.6	30.5	42.7	14.2	100.0		
仙台圏域	度数	33	93	108	35	269	7	276
	パーセント	12.3	34.6	40.1	13.0	100.0		
大崎圏域	度数	39	97	84	51	271	16	287
	パーセント	14.4	35.8	31.0	18.8	100.0		
栗原圏域	度数	49	105	90	30	274	13	287
	パーセント	17.9	38.3	32.8	10.9	100.0		
登米圏域	度数	51	94	84	38	267	17	284
	パーセント	19.1	35.2	31.5	14.2	100.0		
石巻圏域	度数	19	103	102	39	263	16	279
	パーセント	7.2	39.2	38.8	14.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	35	93	77	38	243	13	256
	パーセント	14.4	38.3	31.7	15.6	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は88.4%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は11.6%である。

■性別

男性の『高関心群』は88.3%で、県全体より0.1ポイント低い。

女性の『高関心群』は88.8%で、県全体より0.4ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は87.7%で、県全体より0.7ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は90.3%で、県全体より1.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-2 取組19 関心度割合(属性別)

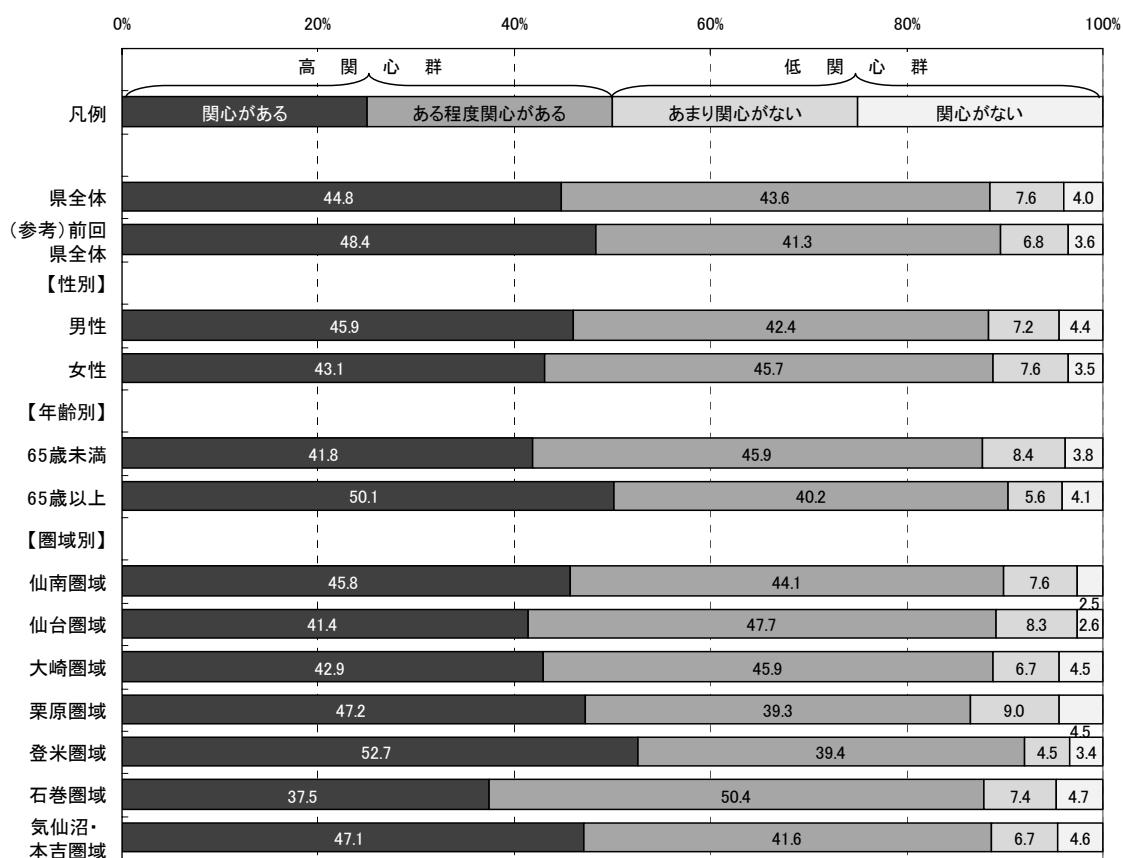


表2-2-19-2 取組19 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	853	830	144	76	1,903	150	2,053
	パーセント	44.8	43.6	7.6	4.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	887	757	124	66	1,834	110	1,944
	パーセント	48.4	41.3	6.8	3.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	407	376	64	39	886	63	949
	パーセント	45.9	42.4	7.2	4.4	100.0		
女性	度数	415	440	73	34	962	69	1,031
	パーセント	43.1	45.7	7.6	3.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	515	566	104	47	1,232	65	1,297
	パーセント	41.8	45.9	8.4	3.8	100.0		
65歳以上	度数	304	244	34	25	607	66	673
	パーセント	50.1	40.2	5.6	4.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	108	104	18	6	236	14	250
	パーセント	45.8	44.1	7.6	2.5	100.0		
仙台圏域	度数	110	127	22	7	266	10	276
	パーセント	41.4	47.7	8.3	2.6	100.0		
大崎圏域	度数	115	123	18	12	268	19	287
	パーセント	42.9	45.9	6.7	4.5	100.0		
栗原圏域	度数	126	105	24	12	267	20	287
	パーセント	47.2	39.3	9.0	4.5	100.0		
登米圏域	度数	139	104	12	9	264	20	284
	パーセント	52.7	39.4	4.5	3.4	100.0		
石巻圏域	度数	96	129	19	12	256	23	279
	パーセント	37.5	50.4	7.4	4.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	112	99	16	11	238	18	256
	パーセント	47.1	41.6	6.7	4.6	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は86.9%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は3.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が95.8%、『低重視群』は4.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は87.7%で、県全体より0.8ポイント高い。

女性の『高重視群』は86.7%で、県全体より0.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は86.6%で、県全体より0.3ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は88.6%で、県全体より1.7ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-3 取組19 重視度割合(属性別)

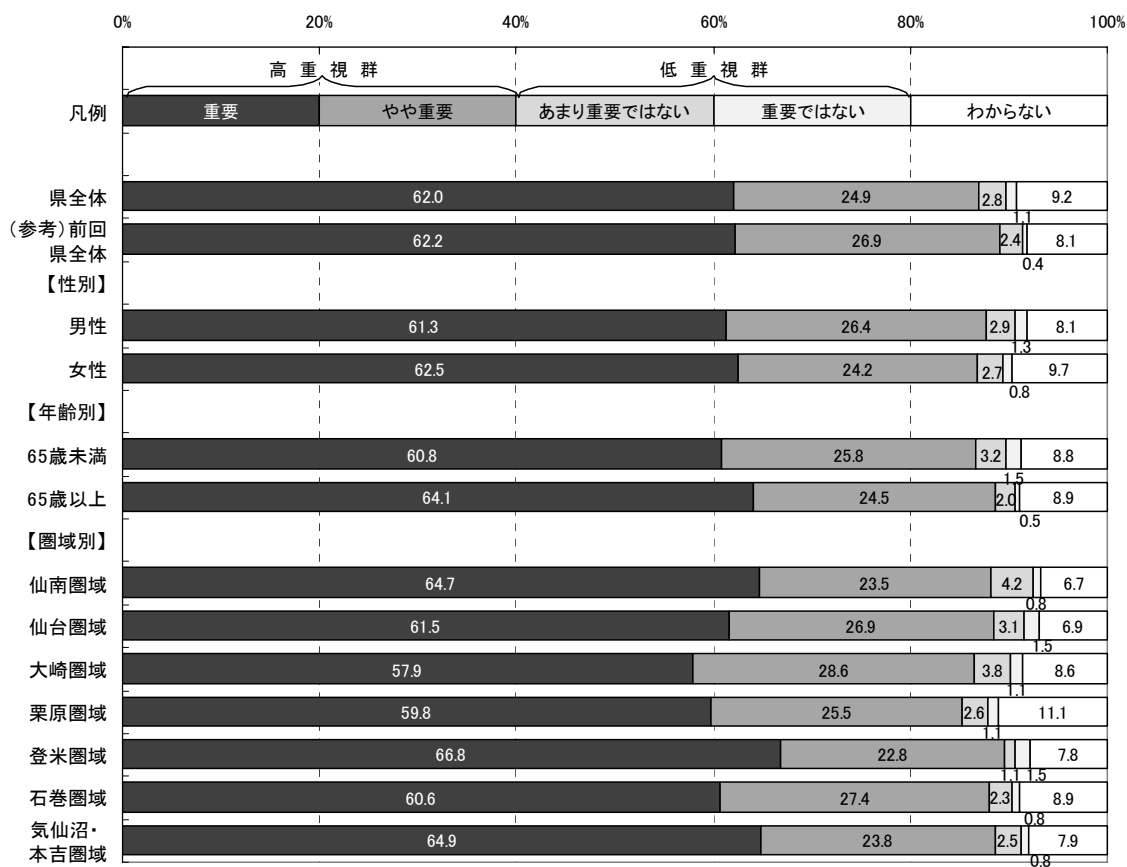


表2-2-19-3 取組19 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	1,184	476	53	21	175	1,909	144	2,053
	パーセント	62.0	24.9	2.8	1.1	9.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	68.3	27.5	3.1	1.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,135	490	43	8	148	1,824	120	1,944
	パーセント	62.2	26.9	2.4	0.4	8.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	554	239	26	12	73	904	45	949
	パーセント	61.3	26.4	2.9	1.3	8.1	100.0		
女性	度数	593	230	26	8	92	949	82	1,031
	パーセント	62.5	24.2	2.7	0.8	9.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	752	319	39	18	109	1,237	60	1,297
	パーセント	60.8	25.8	3.2	1.5	8.8	100.0		
65歳以上	度数	389	149	12	3	54	607	66	673
	パーセント	64.1	24.5	2.0	0.5	8.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	154	56	10	2	16	238	12	250
	パーセント	64.7	23.5	4.2	0.8	6.7	100.0		
仙台圏域	度数	160	70	8	4	18	260	16	276
	パーセント	61.5	26.9	3.1	1.5	6.9	100.0		
大崎圏域	度数	154	76	10	3	23	266	21	287
	パーセント	57.9	28.6	3.8	1.1	8.6	100.0		
栗原圏域	度数	162	69	7	3	30	271	16	287
	パーセント	59.8	25.5	2.6	1.1	11.1	100.0		
登米圏域	度数	179	61	3	4	21	268	16	284
	パーセント	66.8	22.8	1.1	1.5	7.8	100.0		
石巻圏域	度数	157	71	6	2	23	259	20	279
	パーセント	60.6	27.4	2.3	0.8	8.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	155	57	6	2	19	239	17	256
	パーセント	64.9	23.8	2.5	0.8	7.9	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■ 県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は38.3%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は39.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が49.1%、『不満群』は50.9%となる。

■ 性別

男性の『満足群』は40.8%で、県全体より2.5ポイント高い。

女性の『満足群』は35.9%で、県全体より2.4ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『満足群』は31.4%で、県全体より6.9ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は53.4%で、県全体より15.1ポイント高い。

■ 圏域別

栗原圏域の『満足群』は、47.7%で、県全体より9.4ポイント高い。

登米圏域の『満足群』は、32.7%で、県全体より5.6ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-4 取組19 満足度割合(属性別)

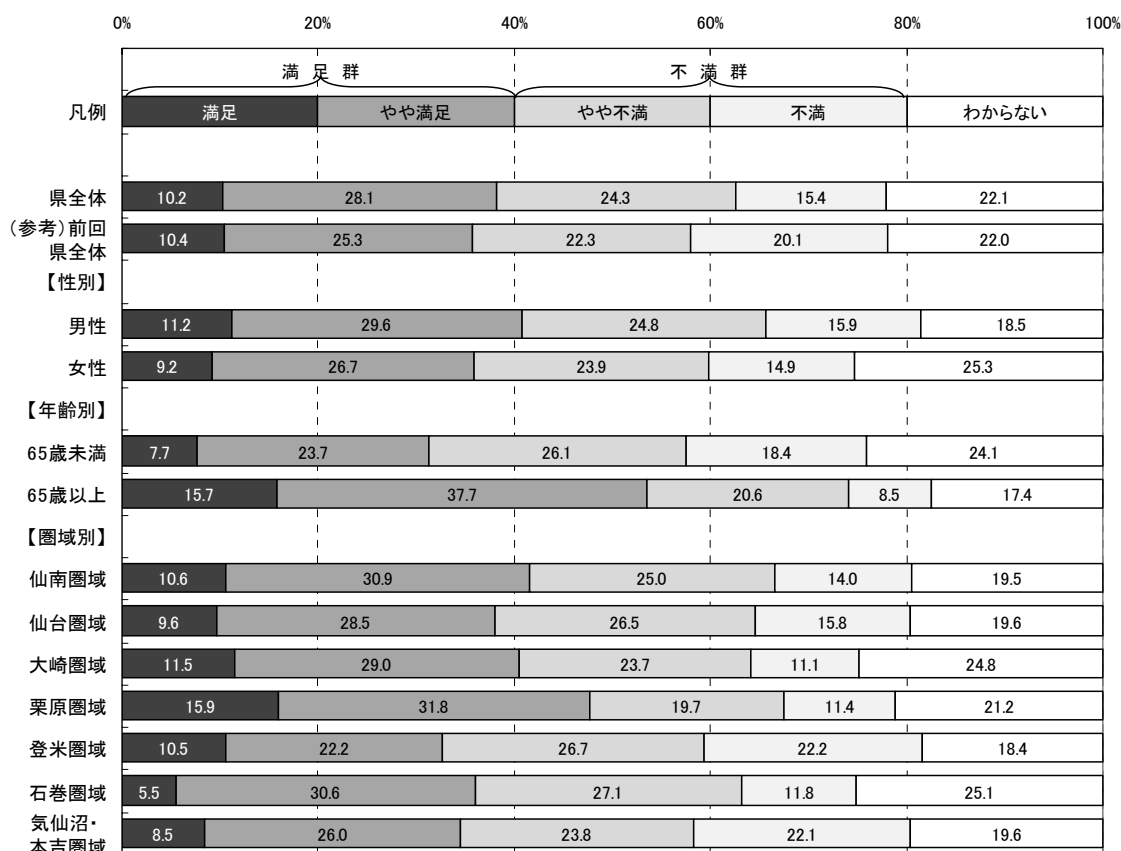


表2-2-19-4 取組19 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	192	528	458	289	415	1,882	171	2,053
	パーセント	10.2	28.1	24.3	15.4	22.1	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.1	36.0	31.2	19.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	186	454	400	360	394	1,794	150	1,944
	パーセント	10.4	25.3	22.3	20.1	22.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	100	264	221	142	165	892	57	949
	パーセント	11.2	29.6	24.8	15.9	18.5	100.0		
女性	度数	86	250	224	139	237	936	95	1,031
	パーセント	9.2	26.7	23.9	14.9	25.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	94	291	321	226	296	1,228	69	1,297
	パーセント	7.7	23.7	26.1	18.4	24.1	100.0		
65歳以上	度数	93	223	122	50	103	591	82	673
	パーセント	15.7	37.7	20.6	8.5	17.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	25	73	59	33	46	236	14	250
	パーセント	10.6	30.9	25.0	14.0	19.5	100.0		
仙台圏域	度数	25	74	69	41	51	260	16	276
	パーセント	9.6	28.5	26.5	15.8	19.6	100.0		
大崎圏域	度数	30	76	62	29	65	262	25	287
	パーセント	11.5	29.0	23.7	11.1	24.8	100.0		
栗原圏域	度数	42	84	52	30	56	264	23	287
	パーセント	15.9	31.8	19.7	11.4	21.2	100.0		
登米圏域	度数	28	59	71	59	49	266	18	284
	パーセント	10.5	22.2	26.7	22.2	18.4	100.0		
石巻圏域	度数	14	78	69	30	64	255	24	279
	パーセント	5.5	30.6	27.1	11.8	25.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	61	56	52	46	235	21	256
	パーセント	8.5	26.0	23.8	22.1	19.6	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組19に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- イ 初期・二次・三次の各救急医療体制の充実と、救急医療を担う医師等の育成・確保
- ウ 総合的なリハビリテーションが提供できる体制づくりと、県リハビリテーション支援センターの充実
- エ より高度で専門的ながん医療提供のため、がん診療の拠点となる病院の機能強化やがん患者等の相談支援及び在宅緩和ケアの体制づくりなど、総合的ながん対策の推進
- オ 看護職員の確実な確保とその資質向上のために必要な支援

(参考:目標とする宮城の姿)

- 各地域の拠点となる病院などで必要な医師数が確保され、医師の不足や地域による偏りが改善されています。
- より身近な地域で患者の立場に立った医療サービスが行われています。
- 救急患者への素早い対応や、大規模災害に備えた救急医療体制づくりが進んでいます。
- 保健・医療・福祉分野が連携してリハビリテーションサービスが行われており、高齢者や障害者が住み慣れた地域で自立した生活を送っています。
- がん診療の拠点となる病院を中心に、より高度ながん医療が行われています。また、がん患者の生活の質の向上が図られています。

<概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	イ	イ	イ	イ	エ
第3位:	エ	エ	エ	オ	イ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	エ	イエ	イ	イ	イ	イ	イ
第3位:	イ	-	エ	エ	オ	エ	エ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-19-5 取組19 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

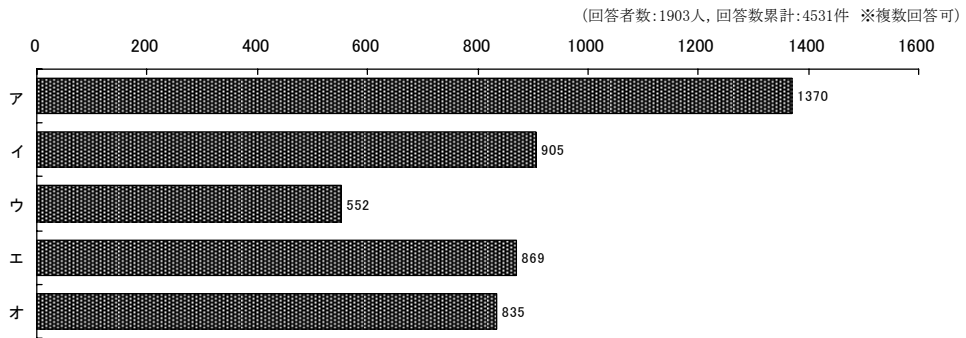
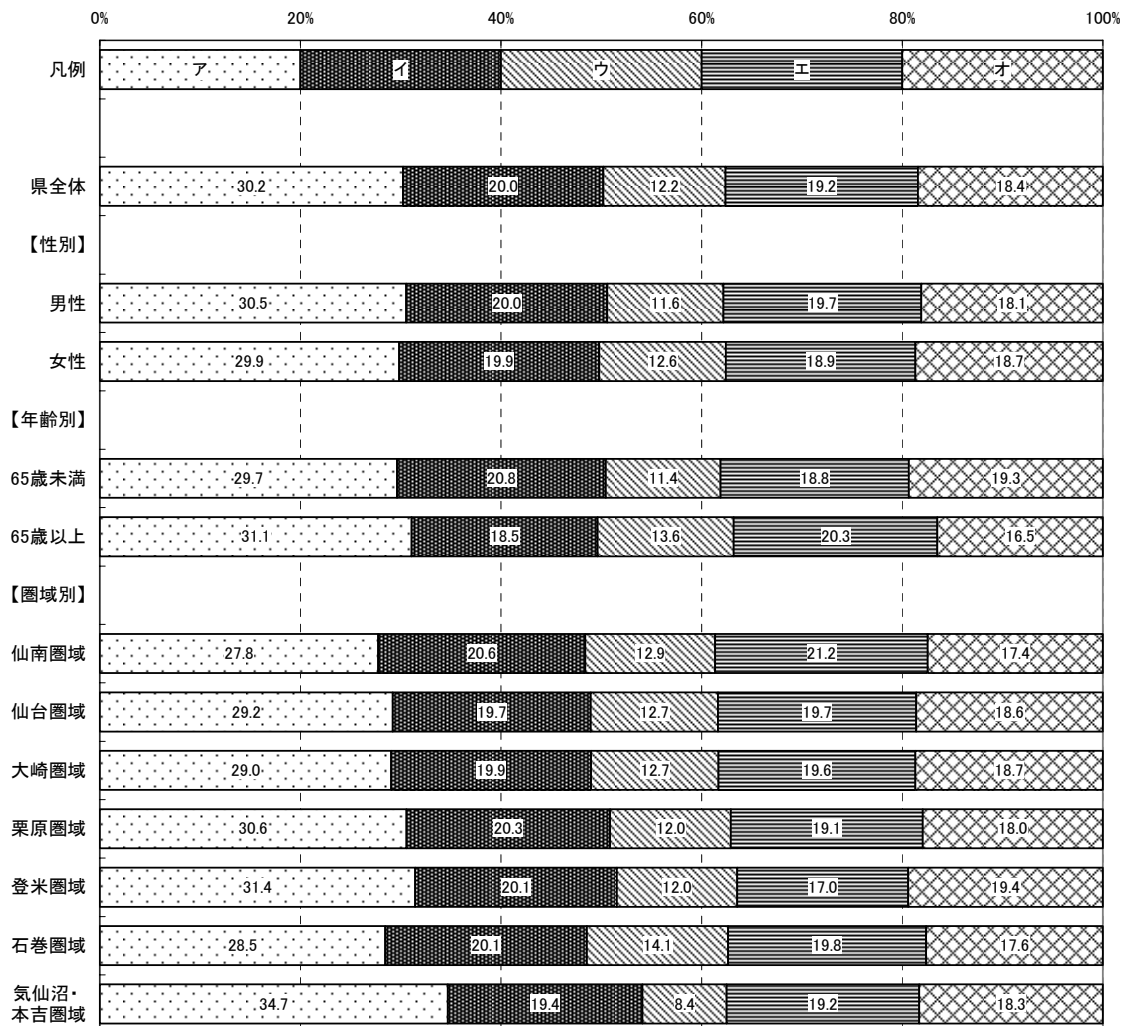


図2-2-19-6 取組19 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり



取組概要

県民一人一人が生涯現役でいきいきと暮らしていけるよう、若い世代からの予防を重視した健康づくりを進めるとともに、新たな感染症などの流行に備えた感染症危機管理体制の構築を目指します。

平成22年度の主な取組

- 県民の健康づくりや、生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活や運動の普及、たばこ対策、むし歯・歯周病予防、がん予防などの普及啓発、健康教育の充実等を図っています。
- 食育に関する意識を高めるため、「みやぎ食育推進月間」を設け、食育推進県民大会等を実施しています。また、地域で食育を実践する「みやぎ食育コーディネーター」の研修会等を開催しています。
[成果等] 研修会開催回数 14回予定
- 心の健康問題に対する正しい理解を促進するための普及啓発を行うとともに、地域におけるうつ病対策や自殺対策として、各保健福祉事務所等に相談窓口を設置しています。
- 感染症の早期発見・受診につなげるため、検査・相談体制等を整備するとともに、新型インフルエンザの発生に備えた薬の備蓄や、その他感染症発生時の近隣自治体等との連携体制の整備等を図っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は52.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は48.0%である。

■性別

男性の『高認知群』は47.0%で、県全体より5.0ポイント低い。

女性の『高認知群』は56.5%で、県全体より4.5ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は46.9%で、県全体より5.1ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は62.2%で、県全体より10.2ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高認知群』は45.9%で、県全体より6.1ポイント低い。

栗原圏域の『高認知群』は57.1%で、県全体より5.1ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-1 取組20 認知度割合(属性別)

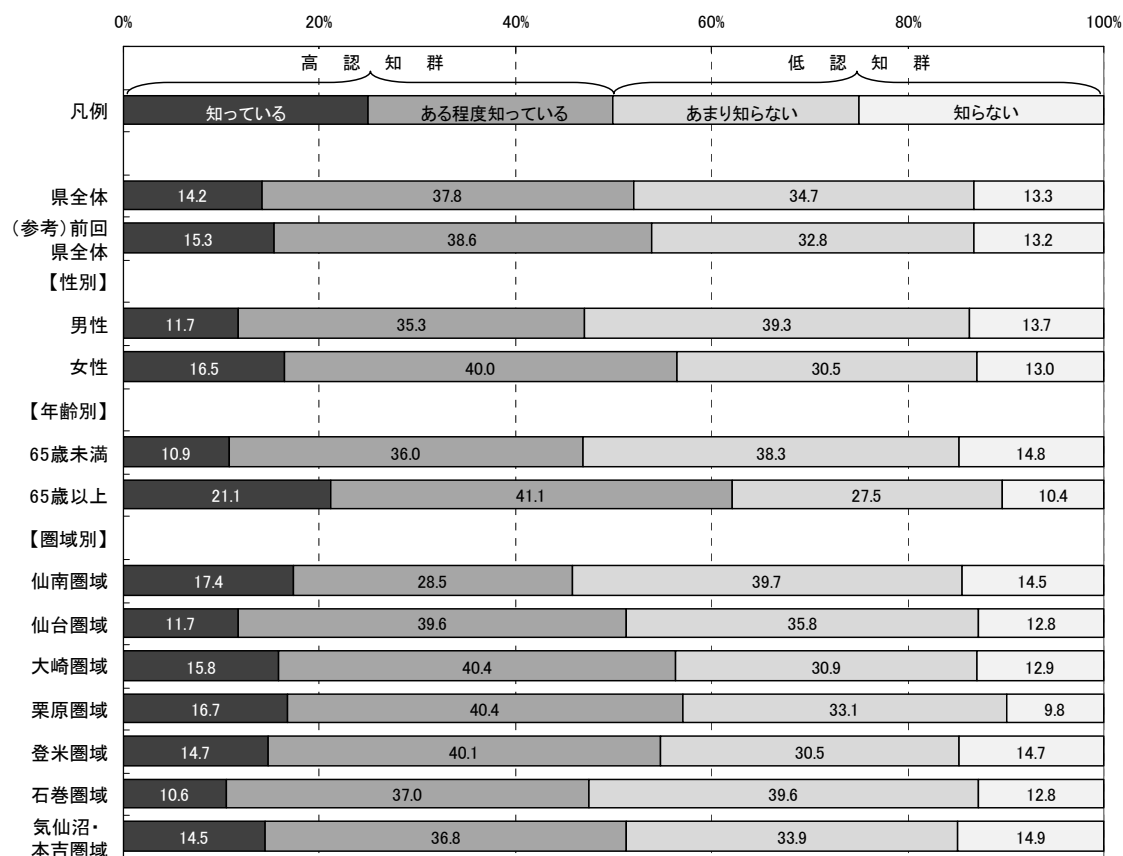


表2-2-20-1 取組20 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	276	735	674	258	1,943	110	2,053
	パーセント	14.2	37.8	34.7	13.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	285	716	610	246	1,857	87	1,944
	パーセント	15.3	38.6	32.8	13.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	107	323	360	125	915	34	949
	パーセント	11.7	35.3	39.3	13.7	100.0		
女性	度数	160	388	296	126	970	61	1,031
	パーセント	16.5	40.0	30.5	13.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	136	450	479	185	1,250	47	1,297
	パーセント	10.9	36.0	38.3	14.8	100.0		
65歳以上	度数	132	257	172	65	626	47	673
	パーセント	21.1	41.1	27.5	10.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	42	69	96	35	242	8	250
	パーセント	17.4	28.5	39.7	14.5	100.0		
仙台圏域	度数	31	105	95	34	265	11	276
	パーセント	11.7	39.6	35.8	12.8	100.0		
大崎圏域	度数	43	110	84	35	272	15	287
	パーセント	15.8	40.4	30.9	12.9	100.0		
栗原圏域	度数	46	111	91	27	275	12	287
	パーセント	16.7	40.4	33.1	9.8	100.0		
登米圏域	度数	40	109	83	40	272	12	284
	パーセント	14.7	40.1	30.5	14.7	100.0		
石巻圏域	度数	28	98	105	34	265	14	279
	パーセント	10.6	37.0	39.6	12.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	35	89	82	36	242	14	256
	パーセント	14.5	36.8	33.9	14.9	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は80.8%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は19.2%である。

■性別

男性の『高関心群』は79.5%で、県全体より1.3ポイント低い。

女性の『高関心群』は82.4%で、県全体より1.6ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は79.3%で、県全体より1.5ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は84.8%で、県全体より4.0ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-2 取組20 関心度割合(属性別)

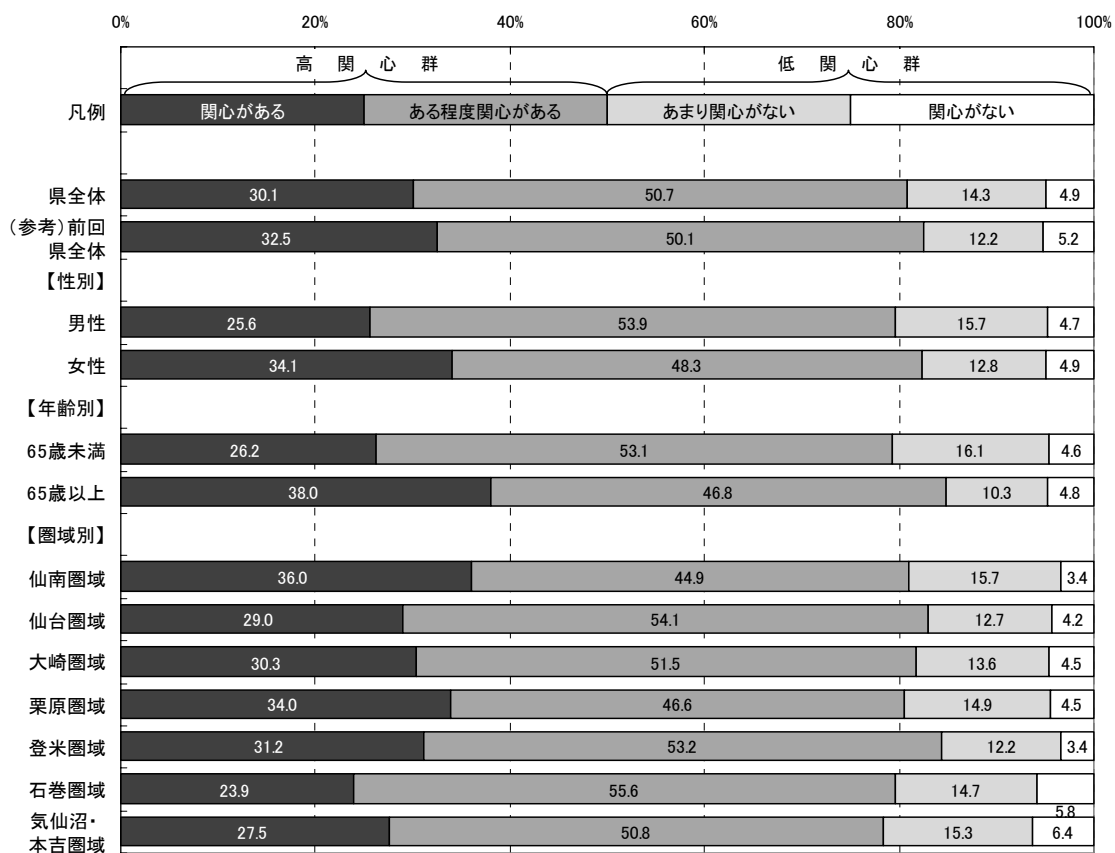


表2-2-20-2 取組20 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	569	960	271	92	1,892	161	2,053
	パーセント	30.1	50.7	14.3	4.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	592	914	223	95	1,824	120	1,944
	パーセント	32.5	50.1	12.2	5.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	228	479	140	42	889	60	949
	パーセント	25.6	53.9	15.7	4.7	100.0		
女性	度数	323	458	121	46	948	83	1,031
	パーセント	34.1	48.3	12.8	4.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	322	651	197	57	1,227	70	1,297
	パーセント	26.2	53.1	16.1	4.6	100.0		
65歳以上	度数	229	282	62	29	602	71	673
	パーセント	38.0	46.8	10.3	4.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	85	106	37	8	236	14	250
	パーセント	36.0	44.9	15.7	3.4	100.0		
仙台圏域	度数	75	140	33	11	259	17	276
	パーセント	29.0	54.1	12.7	4.2	100.0		
大崎圏域	度数	80	136	36	12	264	23	287
	パーセント	30.3	51.5	13.6	4.5	100.0		
栗原圏域	度数	91	125	40	12	268	19	287
	パーセント	34.0	46.6	14.9	4.5	100.0		
登米圏域	度数	82	140	32	9	263	21	284
	パーセント	31.2	53.2	12.2	3.4	100.0		
石巻圏域	度数	62	144	38	15	259	20	279
	パーセント	23.9	55.6	14.7	5.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	65	120	36	15	236	20	256
	パーセント	27.5	50.8	15.3	6.4	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は79.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は9.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が89.5%、『低重視群』は10.4%となる。

■性別

男性の『高重視群』は79.5%で、県全体より0.3ポイント低い。

女性の『高重視群』は80.7%で、県全体より0.9ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は78.2%で、県全体より1.6ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は84.2%で、県全体より4.4ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-3 取組20 重視度割合(属性別)

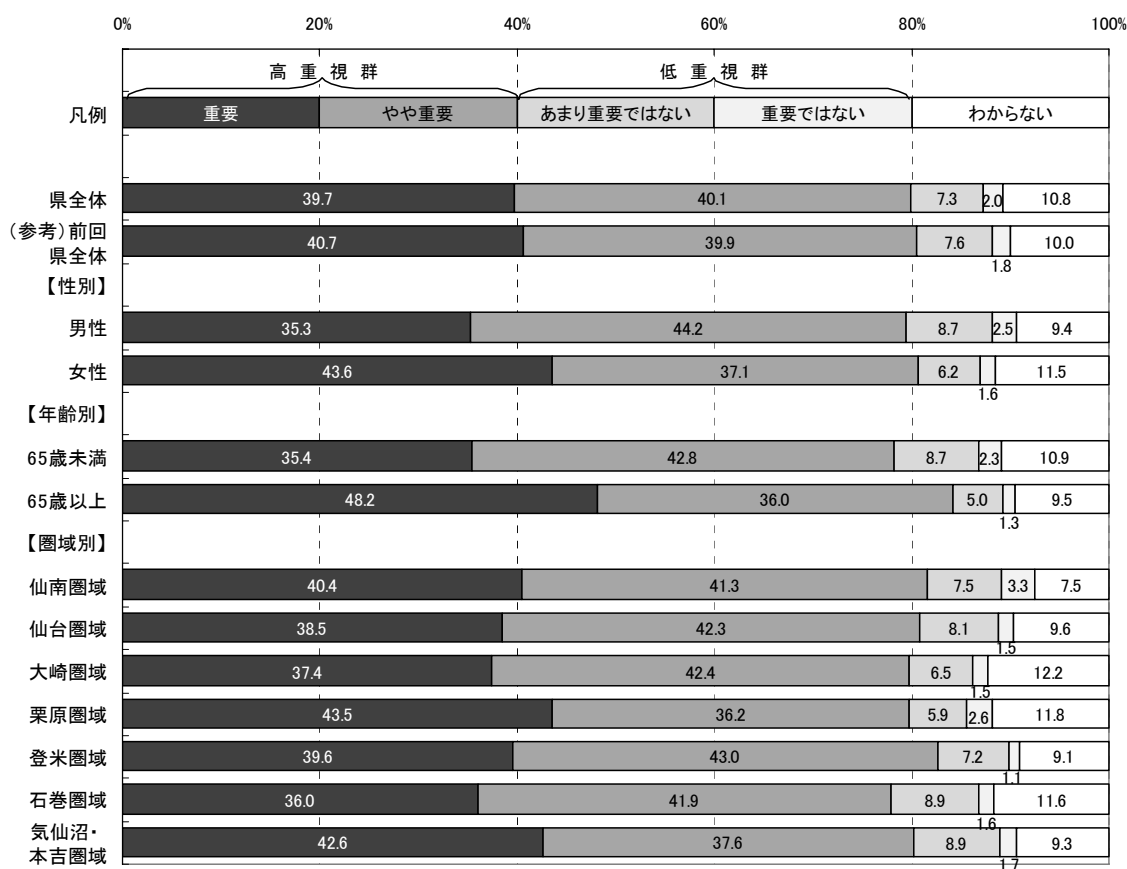


表2-2-20-3 取組20 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	754	762	139	38	205	1,898	155	2,053
	パーセント	39.7	40.1	7.3	2.0	10.8	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	44.5	45.0	8.2	2.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	737	724	137	33	182	1,813	131	1,944
	パーセント	40.7	39.9	7.6	1.8	10.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	316	396	78	22	84	896	53	949
	パーセント	35.3	44.2	8.7	2.5	9.4	100.0		
女性	度数	413	351	59	15	109	947	84	1,031
	パーセント	43.6	37.1	6.2	1.6	11.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	436	527	107	28	134	1,232	65	1,297
	パーセント	35.4	42.8	8.7	2.3	10.9	100.0		
65歳以上	度数	290	217	30	8	57	602	71	673
	パーセント	48.2	36.0	5.0	1.3	9.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	97	99	18	8	18	240	10	250
	パーセント	40.4	41.3	7.5	3.3	7.5	100.0		
仙台圏域	度数	100	110	21	4	25	260	16	276
	パーセント	38.5	42.3	8.1	1.5	9.6	100.0		
大崎圏域	度数	98	111	17	4	32	262	25	287
	パーセント	37.4	42.4	6.5	1.5	12.2	100.0		
栗原圏域	度数	118	98	16	7	32	271	16	287
	パーセント	43.5	36.2	5.9	2.6	11.8	100.0		
登米圏域	度数	105	114	19	3	24	265	19	284
	パーセント	39.6	43.0	7.2	1.1	9.1	100.0		
石巻圏域	度数	93	108	23	4	30	258	21	279
	パーセント	36.0	41.9	8.9	1.6	11.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	101	89	21	4	22	237	19	256
	パーセント	42.6	37.6	8.9	1.7	9.3	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は47.6%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は23.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が66.8%、『不満群』は33.3%となる。

■性別

男性の『満足群』は47.9%で、県全体より0.3ポイント高い。

女性の『満足群』は47.8%で、県全体より0.2ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は42.7%で、県全体より4.9ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は58.9%で、県全体より11.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-4 取組20 満足度割合(属性別)

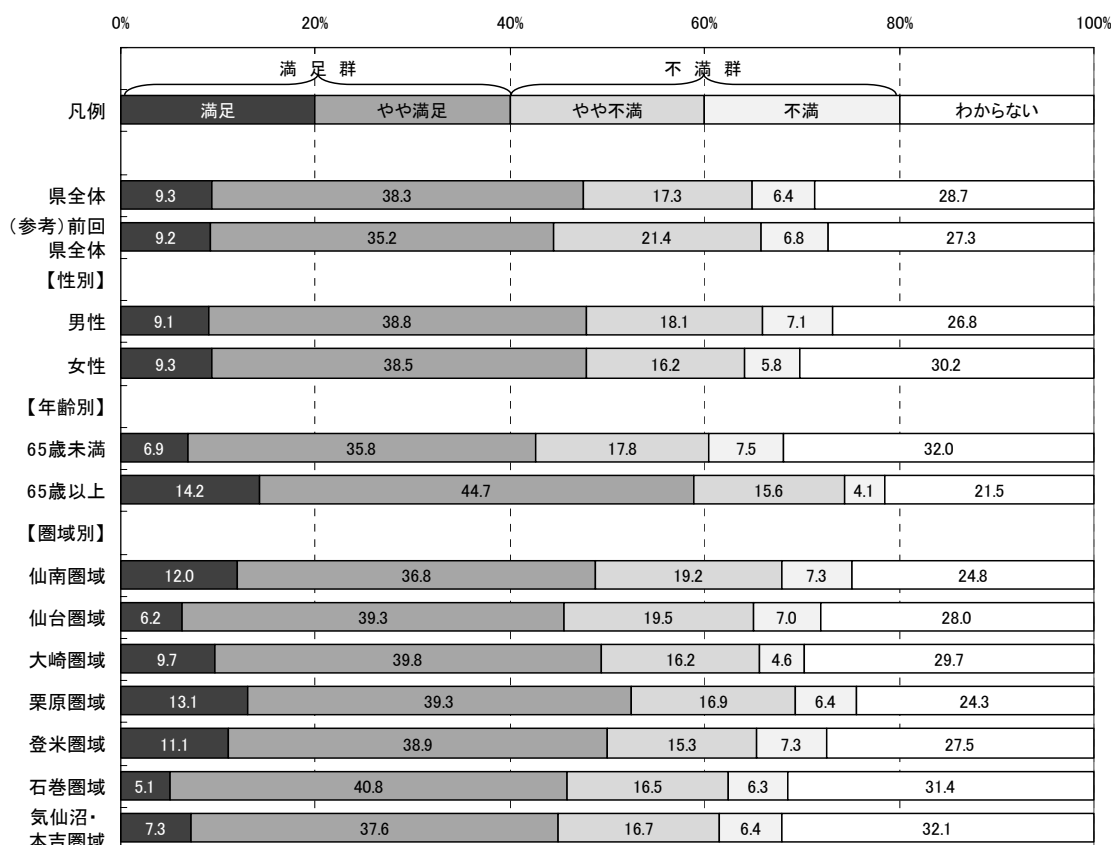


表2-2-20-4 取組20 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	175	717	324	120	538	1,874	179	2,053
	パーセント	9.3	38.3	17.3	6.4	28.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.1	53.7	24.3	9.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	165	631	384	122	490	1,792	152	1,944
	パーセント	9.2	35.2	21.4	6.8	27.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	80	343	160	63	237	883	66	949
	パーセント	9.1	38.8	18.1	7.1	26.8	100.0		
女性	度数	87	361	152	54	283	937	94	1,031
	パーセント	9.3	38.5	16.2	5.8	30.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	84	437	217	92	390	1,220	77	1,297
	パーセント	6.9	35.8	17.8	7.5	32.0	100.0		
65歳以上	度数	84	264	92	24	127	591	82	673
	パーセント	14.2	44.7	15.6	4.1	21.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	28	86	45	17	58	234	16	250
	パーセント	12.0	36.8	19.2	7.3	24.8	100.0		
仙台圏域	度数	16	101	50	18	72	257	19	276
	パーセント	6.2	39.3	19.5	7.0	28.0	100.0		
大崎圏域	度数	25	103	42	12	77	259	28	287
	パーセント	9.7	39.8	16.2	4.6	29.7	100.0		
栗原圏域	度数	35	105	45	17	65	267	20	287
	パーセント	13.1	39.3	16.9	6.4	24.3	100.0		
登米圏域	度数	29	102	40	19	72	262	22	284
	パーセント	11.1	38.9	15.3	7.3	27.5	100.0		
石巻圏域	度数	13	104	42	16	80	255	24	279
	パーセント	5.1	40.8	16.5	6.3	31.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	17	88	39	15	75	234	22	256
	パーセント	7.3	37.6	16.7	6.4	32.1	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組20に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 「みやぎ21健康プラン」に基づく、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくり
- イ がん予防のための普及啓発、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及
- ウ 地域や学校、家庭、職場などが連携・協力して行う、宮城の特性を生かした総合的な食育
- エ 保健所や衛生研究所、医療機関などが連携した防疫、医療提供、情報提供などの体制づくりと、感染症集団発生に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制づくり
- オ 乳幼児期から高齢期まで、一人一人の人生の段階に応じた心の健康づくりのための相談、指導体制づくりと自殺対策の推進
- カ 乳幼児に対するフッ化物の活用の推進、各々の年代や地域の実情に応じた歯科保健体制づくり

(参考:目標とする宮城の姿)

- 生活習慣の見直しや健康づくりに取り組む県民が増え、メタボリックシンドローム該当者や生活習慣病の有病者が減少しています。
- 生活習慣を改善したり、がん検診を進んで受ける県民が増え、がんによる死亡率が減少しています。
- 「食育」の取組により食に対する理解や関心が高まり、バランスの取れた食生活を送る県民が増えています。
- 新型インフルエンザなど、新たな感染症の流行に備えた危機管理体制が整っています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	ア	ア	ア	エ	ア
第3位:	エ	エ	エ	ア	エ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	エ
第3位:	エ	エ	オ	エ	エ	エ	ア

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-20-5 取組20 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

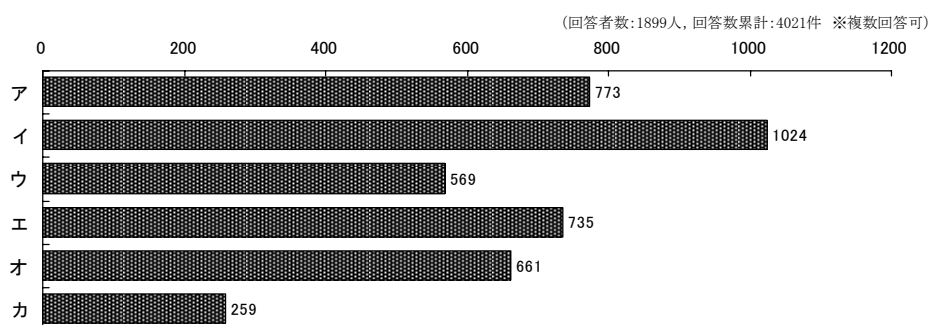
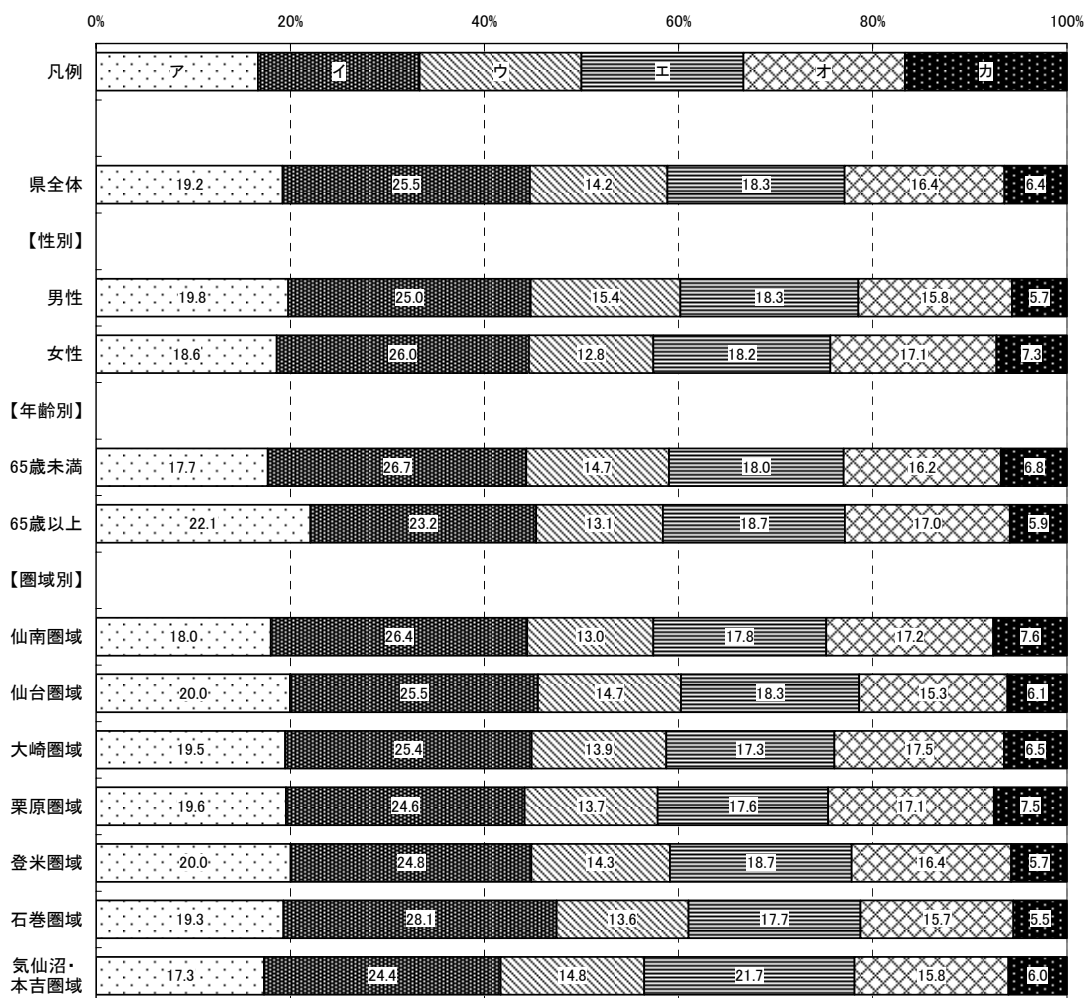


図2-2-20-6 取組20 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 1 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり



取組概要

高齢化が進む中で、介護を要する方が必要な介護サービスを受けられるよう、介護基盤の充実を図ります。また、高齢者がその能力や経験を生かしながら、積極的に社会活動に参加できるような地域社会づくりを推進し、「高齢者が地域で自分らしい生活を安心して送れる社会」の実現を目指します。

平成 22 年度の主な取組

- 介護施設の利用者や入所希望者が増加しており、特別養護老人ホームなどの施設整備を促進しています。
[成果等]特別養護老人ホーム入所定員数 平成 21 年度 7,288 人 → 平成 22 年度 8,243 人(見込み)
- 高齢者の社会活動への参加を促進するため、啓発事業(情報誌の発行)・スポーツ活動・芸術活動などへの補助や、地域活動の中心的な役割を担う人材の養成に取り組んでいます。
- 認知症に対する理解の促進や、早期発見・早期対応を図るため、専門医の養成や医師を対象とした研修会を開催しています。また市町村の取組を支援するため、6 つの市や町で、地域づくりの視点を含むモデル事業を実施し、市町村職員向けの研修会を開催しています。
[成果等] 専門医養成 2 人, 医師を対象とした研修会 1 回, 市町村職員向け研修会 1 回
- 利用者本位の優れた介護サービスが提供されるよう、介護支援専門員等を対象とした研修を行うとともに、処遇改善交付金を交付し、質の高い人材の確保と養成に努めています。
[成果等] 介護支援専門員研修 24 日間, 主任介護支援専門員研修 10 日間 等
- 高齢者虐待を防止するため、パンフレットを配布するとともに、講演会・研修会を開催しました。
[成果等] 講演会開催回数 4 回, 研修会開催回数 24 回

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は53.1%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は46.8%である。

■性別

男性の『高認知群』は50.4で、県全体より2.7ポイント低い。

女性の『高認知群』は55.8%で、県全体より2.7ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は46.3%で、県全体より6.8ポイント低い。

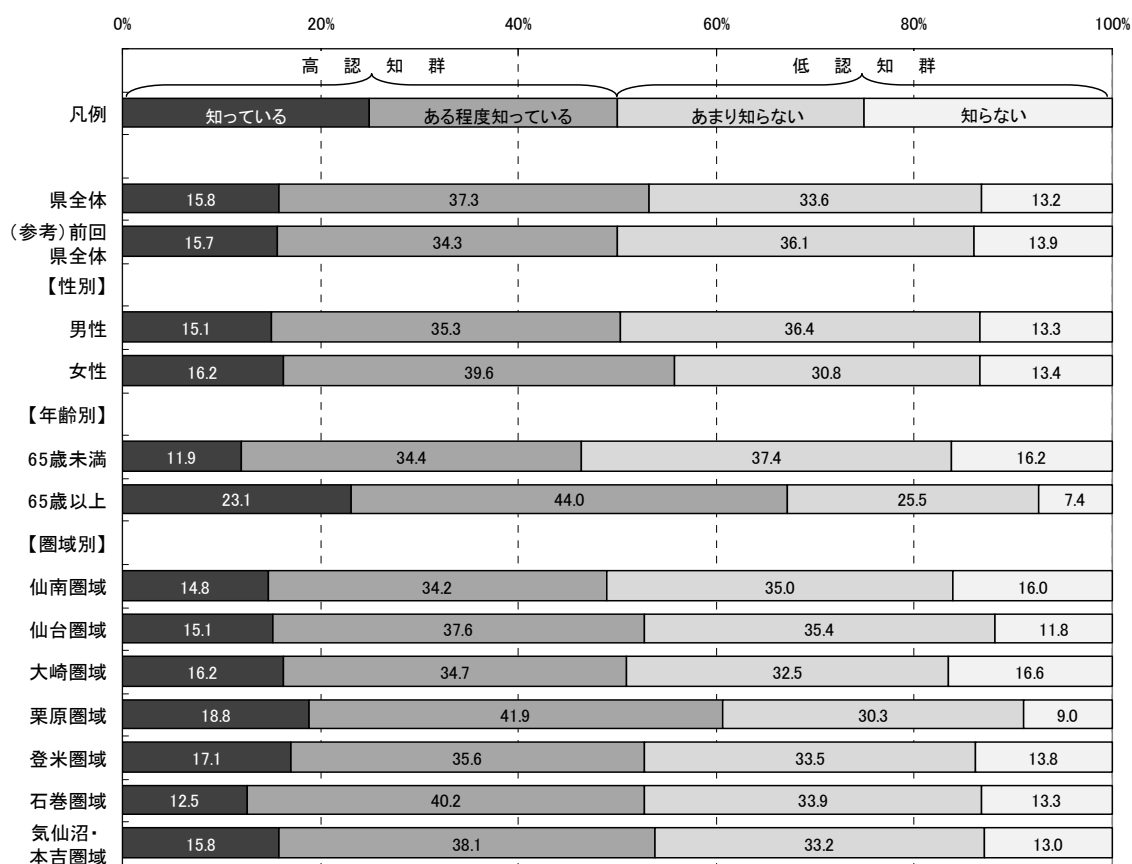
65歳以上の『高認知群』は67.1%で、県全体より14.0ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『高認知群』は60.7%で、県全体より7.6ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-1 取組21 認知度割合(属性別)



取組 2 1 「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表2-2-21-1 取組21 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	312	736	663	260	1,971	82	2,053
	パーセント	15.8	37.3	33.6	13.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	292	639	673	260	1,864	80	1,944
	パーセント	15.7	34.3	36.1	13.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	138	323	333	122	916	33	949
	パーセント	15.1	35.3	36.4	13.3	100.0		
女性	度数	161	394	306	133	994	37	1,031
	パーセント	16.2	39.6	30.8	13.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	151	435	473	205	1,264	33	1,297
	パーセント	11.9	34.4	37.4	16.2	100.0		
65歳以上	度数	147	280	162	47	636	37	673
	パーセント	23.1	44.0	25.5	7.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	36	83	85	39	243	7	250
	パーセント	14.8	34.2	35.0	16.0	100.0		
仙台圏域	度数	41	102	96	32	271	5	276
	パーセント	15.1	37.6	35.4	11.8	100.0		
大崎圏域	度数	44	94	88	45	271	16	287
	パーセント	16.2	34.7	32.5	16.6	100.0		
栗原圏域	度数	52	116	84	25	277	10	287
	パーセント	18.8	41.9	30.3	9.0	100.0		
登米圏域	度数	47	98	92	38	275	9	284
	パーセント	17.1	35.6	33.5	13.8	100.0		
石巻圏域	度数	34	109	92	36	271	8	279
	パーセント	12.5	40.2	33.9	13.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	39	94	82	32	247	9	256
	パーセント	15.8	38.1	33.2	13.0	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は85.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は14.6%である。

■性別

男性の『高関心群』は84.4%で、県全体より1.1ポイント低い。
女性の『高関心群』は86.7%で、県全体より1.2ポイント高い。

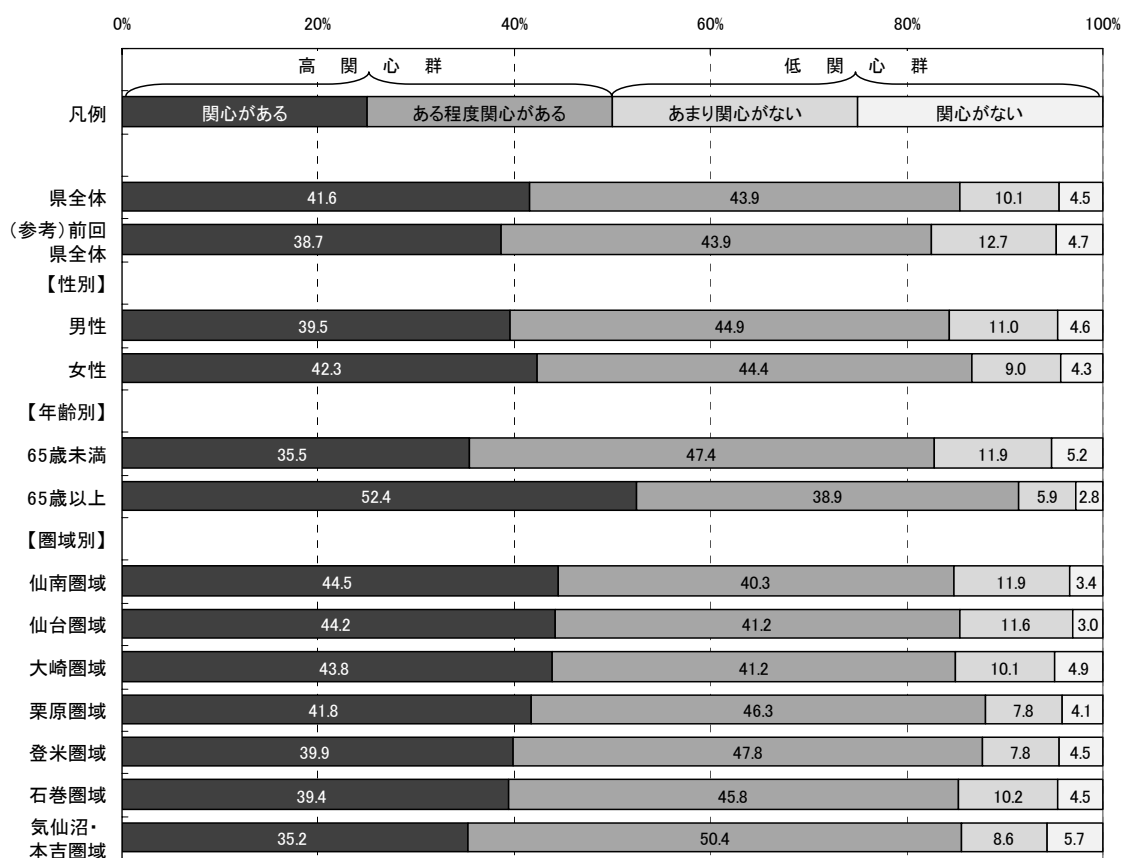
■年齢別

65歳未満の『高関心群』は82.9%で、県全体より2.6ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は91.3%で、県全体より5.8ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-2 取組21 関心度割合(属性別)



取組 2 1 「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表2-2-21-2 取組21 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	800	844	194	86	1,924	129	2,053
	パーセント	41.6	43.9	10.1	4.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	709	804	233	86	1,832	112	1,944
	パーセント	38.7	43.9	12.7	4.7	100.0		
【性別】								
男性	度数	354	402	99	41	896	53	949
	パーセント	39.5	44.9	11.0	4.6	100.0		
女性	度数	411	431	87	42	971	60	1,031
	パーセント	42.3	44.4	9.0	4.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	441	590	148	65	1,244	53	1,297
	パーセント	35.5	47.4	11.9	5.2	100.0		
65歳以上	度数	322	239	36	17	614	59	673
	パーセント	52.4	38.9	5.9	2.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	105	95	28	8	236	14	250
	パーセント	44.5	40.3	11.9	3.4	100.0		
仙台圏域	度数	118	110	31	8	267	9	276
	パーセント	44.2	41.2	11.6	3.0	100.0		
大崎圏域	度数	117	110	27	13	267	20	287
	パーセント	43.8	41.2	10.1	4.9	100.0		
栗原圏域	度数	112	124	21	11	268	19	287
	パーセント	41.8	46.3	7.8	4.1	100.0		
登米圏域	度数	107	128	21	12	268	16	284
	パーセント	39.9	47.8	7.8	4.5	100.0		
石巻圏域	度数	104	121	27	12	264	15	279
	パーセント	39.4	45.8	10.2	4.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	86	123	21	14	244	12	256
	パーセント	35.2	50.4	8.6	5.7	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は84.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は6.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が92.9%、『低重視群』は7.1%となる。

■性別

男性の『高重視群』は83.9%で、県全体より0.3ポイント低い。

女性の『高重視群』は84.6%で、県全体より0.4ポイント高い。

■年齢別

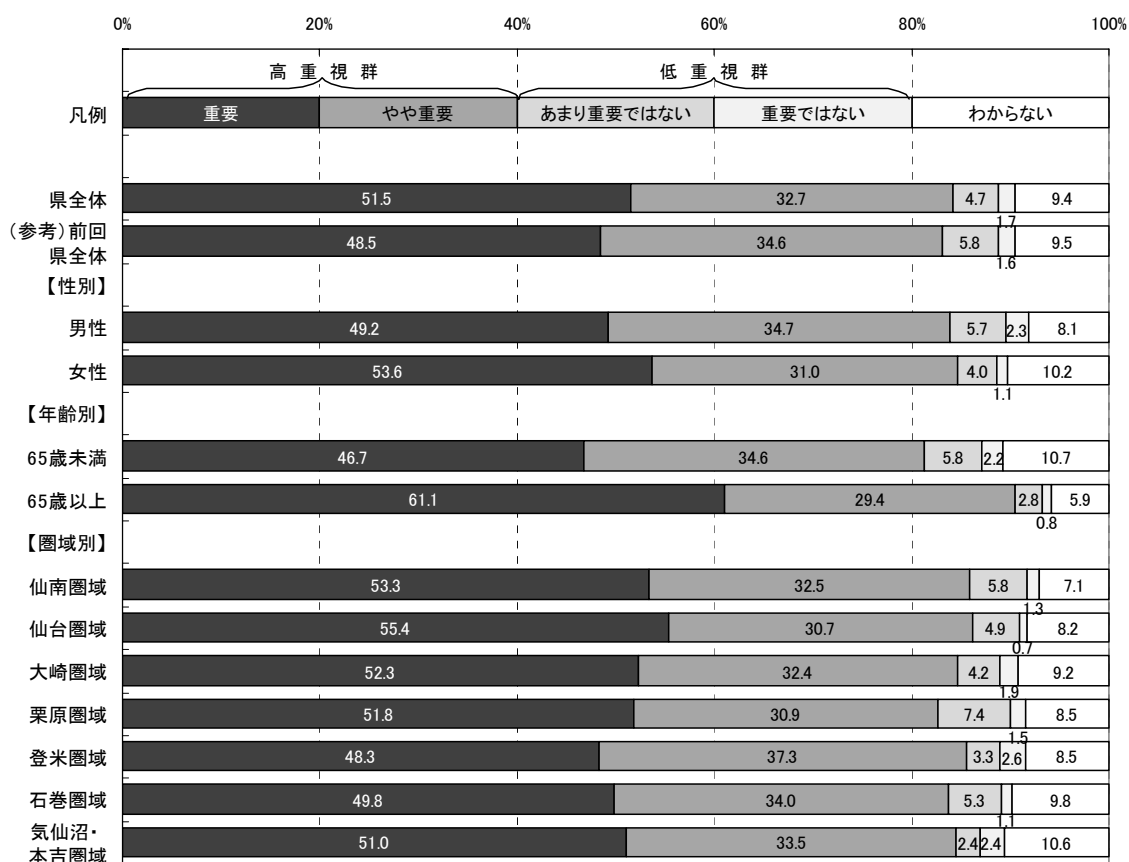
65歳未満の『高重視群』は81.3%で、県全体より2.9ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は90.5%で、県全体より6.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-3 取組21 重視度割合(属性別)



取組21「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表2-2-21-3 取組21 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	993	630	91	33	182	1,929	124	2,053
	パーセント	51.5	32.7	4.7	1.7	9.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	56.8	36.1	5.2	1.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	891	637	106	30	175	1,839	105	1,944
	パーセント	48.5	34.6	5.8	1.6	9.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	444	313	51	21	73	902	47	949
	パーセント	49.2	34.7	5.7	2.3	8.1	100.0		
女性	度数	520	301	39	11	99	970	61	1,031
	パーセント	53.6	31.0	4.0	1.1	10.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	584	433	72	27	134	1,250	47	1,297
	パーセント	46.7	34.6	5.8	2.2	10.7	100.0		
65歳以上	度数	374	180	17	5	36	612	61	673
	パーセント	61.1	29.4	2.8	0.8	5.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	128	78	14	3	17	240	10	250
	パーセント	53.3	32.5	5.8	1.3	7.1	100.0		
仙台圏域	度数	148	82	13	2	22	267	9	276
	パーセント	55.4	30.7	4.9	0.7	8.2	100.0		
大崎圏域	度数	137	85	11	5	24	262	25	287
	パーセント	52.3	32.4	4.2	1.9	9.2	100.0		
栗原圏域	度数	141	84	20	4	23	272	15	287
	パーセント	51.8	30.9	7.4	1.5	8.5	100.0		
登米圏域	度数	131	101	9	7	23	271	13	284
	パーセント	48.3	37.3	3.3	2.6	8.5	100.0		
石巻圏域	度数	132	90	14	3	26	265	14	279
	パーセント	49.8	34.0	5.3	1.1	9.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	125	82	6	6	26	245	11	256
	パーセント	51.0	33.5	2.4	2.4	10.6	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は41.1%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は32.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が55.9%、『不満群』は44.0%となる。

■性別

男性の『満足群』は43.1%で、県全体より2.0ポイント高い。

女性の『満足群』は39.0%で、県全体より2.1ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は33.5%で、県全体より7.6ポイント低い。

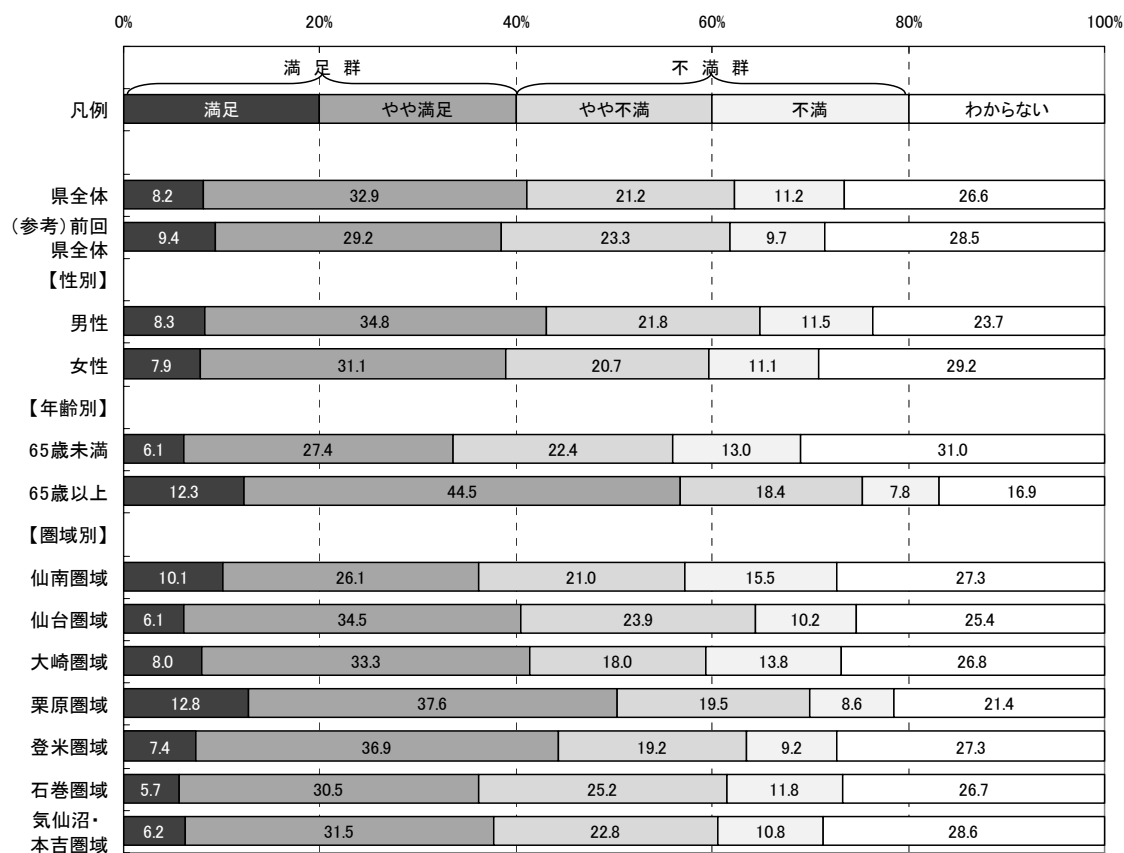
65歳以上の『満足群』は56.8%で、県全体より15.7ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は50.4%で、県全体より9.3ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-4 取組21 満足度割合(属性別)



取組21「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表2-2-21-4 取組21 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	156	628	404	213	507	1,908	145	2,053
	パーセント	8.2	32.9	21.2	11.2	26.6	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	11.1	44.8	28.8	15.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	170	528	422	175	515	1,810	134	1,944
	パーセント	9.4	29.2	23.3	9.7	28.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	74	312	195	103	212	896	53	949
	パーセント	8.3	34.8	21.8	11.5	23.7	100.0		
女性	度数	75	297	198	106	279	955	76	1,031
	パーセント	7.9	31.1	20.7	11.1	29.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	76	340	278	161	385	1,240	57	1,297
	パーセント	6.1	27.4	22.4	13.0	31.0	100.0		
65歳以上	度数	74	268	111	47	102	602	71	673
	パーセント	12.3	44.5	18.4	7.8	16.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	24	62	50	37	65	238	12	250
	パーセント	10.1	26.1	21.0	15.5	27.3	100.0		
仙台圏域	度数	16	91	63	27	67	264	12	276
	パーセント	6.1	34.5	23.9	10.2	25.4	100.0		
大崎圏域	度数	21	87	47	36	70	261	26	287
	パーセント	8.0	33.3	18.0	13.8	26.8	100.0		
栗原圏域	度数	34	100	52	23	57	266	21	287
	パーセント	12.8	37.6	19.5	8.6	21.4	100.0		
登米圏域	度数	20	100	52	25	74	271	13	284
	パーセント	7.4	36.9	19.2	9.2	27.3	100.0		
石巻圏域	度数	15	80	66	31	70	262	17	279
	パーセント	5.7	30.5	25.2	11.8	26.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	15	76	55	26	69	241	15	256
	パーセント	6.2	31.5	22.8	10.8	28.6	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 1 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 高齢者の知識や経験を生かした地域活動への参加促進と、地域活動で中心となって活躍する人材の養成・確保
- イ 平成 24 年秋に宮城県で開催予定の「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」
- ウ 介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心した生活を送るための特別養護老人ホームなどの基盤づくりや、一人暮らし高齢者等に対する的確な対応
- エ 専門的知識を持ちながら、介護サービス利用者の立場に立ったサービスを提供できる質の高い人材の養成・確保
- オ 介護予防サービスの提供や、自立した生活を送るための介護予防ケアマネジメント体制づくり
- カ 高齢者などの権利を守るための体制づくりや、虐待発生防止に向けた県民意識の啓発
- キ 認知症への正しい理解の促進や、かかりつけ医等による認知症の早期発見・早期対応の体制づくりなど、認知症高齢者を地域で支える総合的な支援

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 高齢者の知識・能力・経験が生かされる地域社会づくりが進み、さまざまな分野で社会生活の重要な一員としての役割を持っていきいきと活動しています。
- 介護が必要になっても、地域の支えや介護サービスを受けながら、住み慣れた地域で安心して暮らしています。
- 高齢者などの人権が尊重されるとともに、権利が守られています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	キ	キ	キ	キ	キ
第3位:	ア	ア	エ	ア	ア

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
第3位:	ア	ア	ア	エ	ア	ア	エ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-21-5 取組21 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

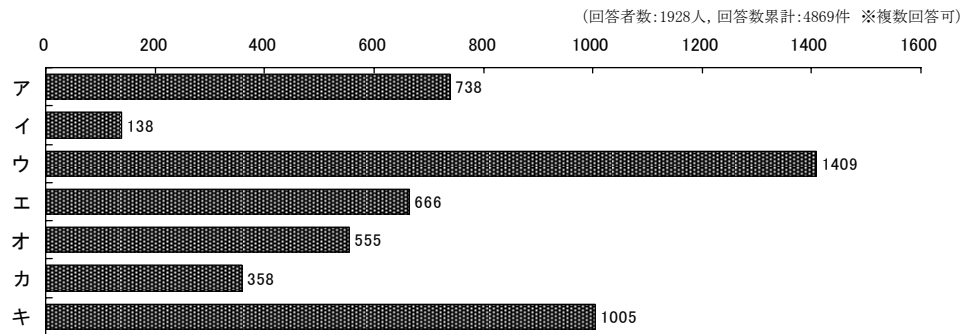
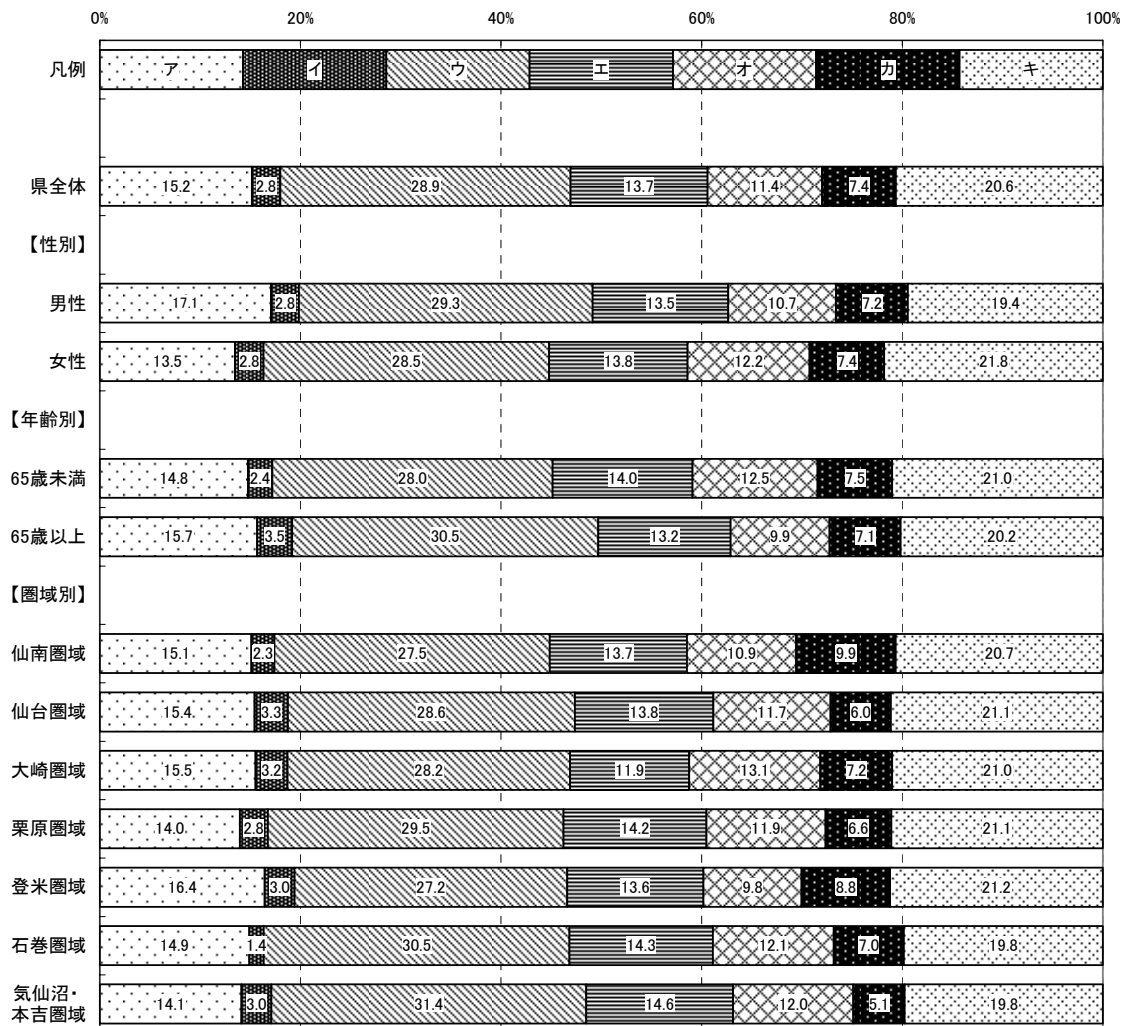


図2-2-21-6 取組21 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 1 「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

取組 2 2 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現



取組概要

障害のある人が地域で生活するために、障害のある本人、その家族、そしてこうした方々を取り巻く人々すべてが、いつでも安心して暮らせる社会を目指します。

平成 2 2 年度の主な取組

- 障害者就業・生活支援センターを県内 6 か所に設置して、障害者の就労相談から職場定着、それに伴う日常生活を支援しています。
- 働く障害者の工賃引き上げのため、授産施設等の事業所へコンサルタントを派遣して経営改善を促したり、障害者自ら行う展示販売会を開催するとともに、新商品開発や販路拡大に向けた支援を行っています。
[成果等] 展示販売会開催回数 2 回
- 福祉のまちづくり条例の基準に適合した公共施設等に適合証を交付したり、小学生向けの読本を配付するなど、バリアフリー社会実現のための取組を進めています。
- 脳の損傷によって記憶障害などの症状がある高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援や関係職員研修会を開催するほか、関係機関同士のネットワークの充実を図っています。
- 発達障害児(者)に対して、乳幼児期から成人期まで、相談支援、発達支援及び就労支援を総合的に行うため、発達障害者支援センター(えくぼ)を設置・運営しています。
- 難病患者の在宅療養生活を支援するため、難病相談支援センターや神経難病医療連絡協議会を設置・運営しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は36.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は63.2%である。

■性別

男性の『高認知群』は34.9%で、県全体より1.9ポイント低い。
女性の『高認知群』は38.9%で、県全体より2.1ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は31.9%で、県全体より4.9ポイント低い。
65歳以上の『高認知群』は47.2%で、県全体より10.4ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『高認知群』は42.5%で、県全体より5.7ポイント高い。
気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は30.3%で、県全体より6.5ポイント低い。
その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-1 取組22 認知度割合(属性別)

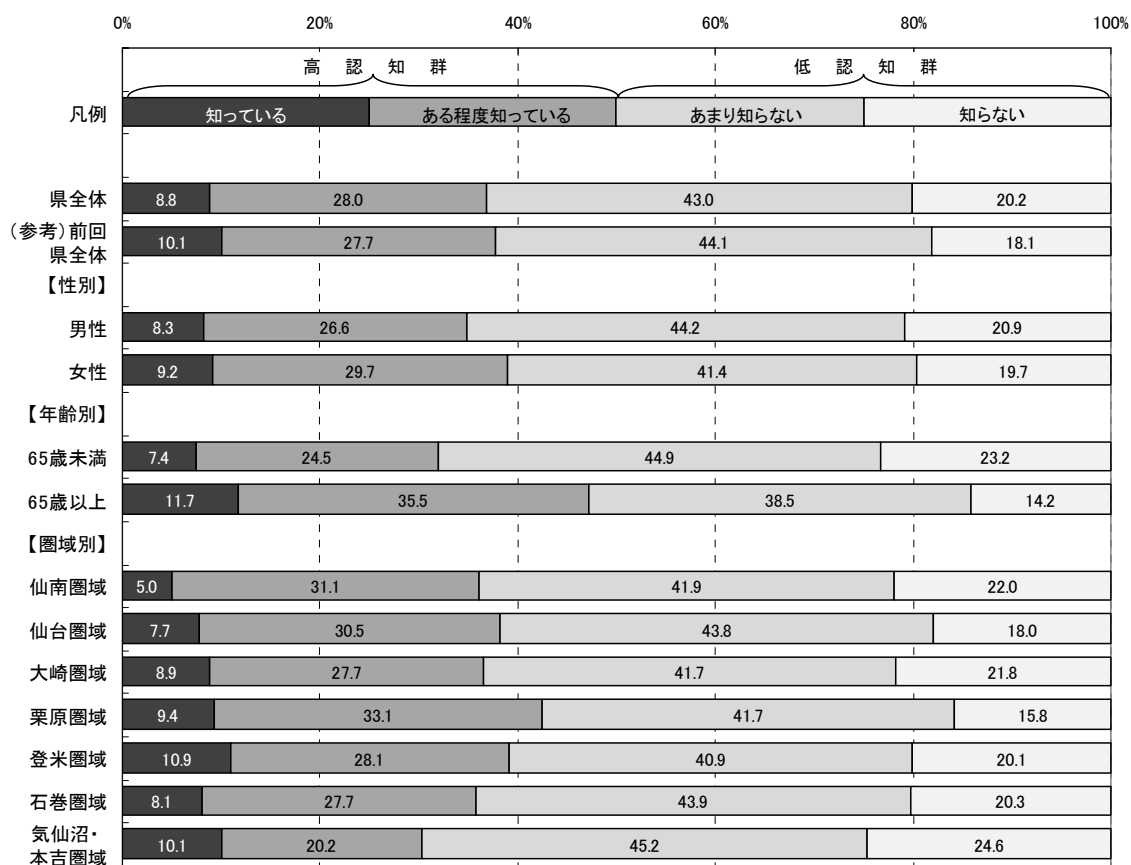


表2-2-22-1 取組22 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	173	552	847	397	1,969	84	2,053
	パーセント	8.8	28.0	43.0	20.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	188	518	824	338	1,868	76	1,944
	パーセント	10.1	27.7	44.1	18.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	76	244	406	192	918	31	949
	パーセント	8.3	26.6	44.2	20.9	100.0		
女性	度数	91	294	410	195	990	41	1,031
	パーセント	9.2	29.7	41.4	19.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	94	310	568	294	1,266	31	1,297
	パーセント	7.4	24.5	44.9	23.2	100.0		
65歳以上	度数	74	225	244	90	633	40	673
	パーセント	11.7	35.5	38.5	14.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	12	75	101	53	241	9	250
	パーセント	5.0	31.1	41.9	22.0	100.0		
仙台圏域	度数	21	83	119	49	272	4	276
	パーセント	7.7	30.5	43.8	18.0	100.0		
大崎圏域	度数	24	75	113	59	271	16	287
	パーセント	8.9	27.7	41.7	21.8	100.0		
栗原圏域	度数	26	92	116	44	278	9	287
	パーセント	9.4	33.1	41.7	15.8	100.0		
登米圏域	度数	30	77	112	55	274	10	284
	パーセント	10.9	28.1	40.9	20.1	100.0		
石巻圏域	度数	22	75	119	55	271	8	279
	パーセント	8.1	27.7	43.9	20.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	25	50	112	61	248	8	256
	パーセント	10.1	20.2	45.2	24.6	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は76.7%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は23.3%である。

■性別

男性の『高関心群』は75.6%で、県全体より1.1ポイント低い。
女性の『高関心群』は77.9%で、県全体より1.2ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は74.5%で、県全体より2.2ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は81.7%で、県全体より5.0ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-2 取組22 関心度割合(属性別)

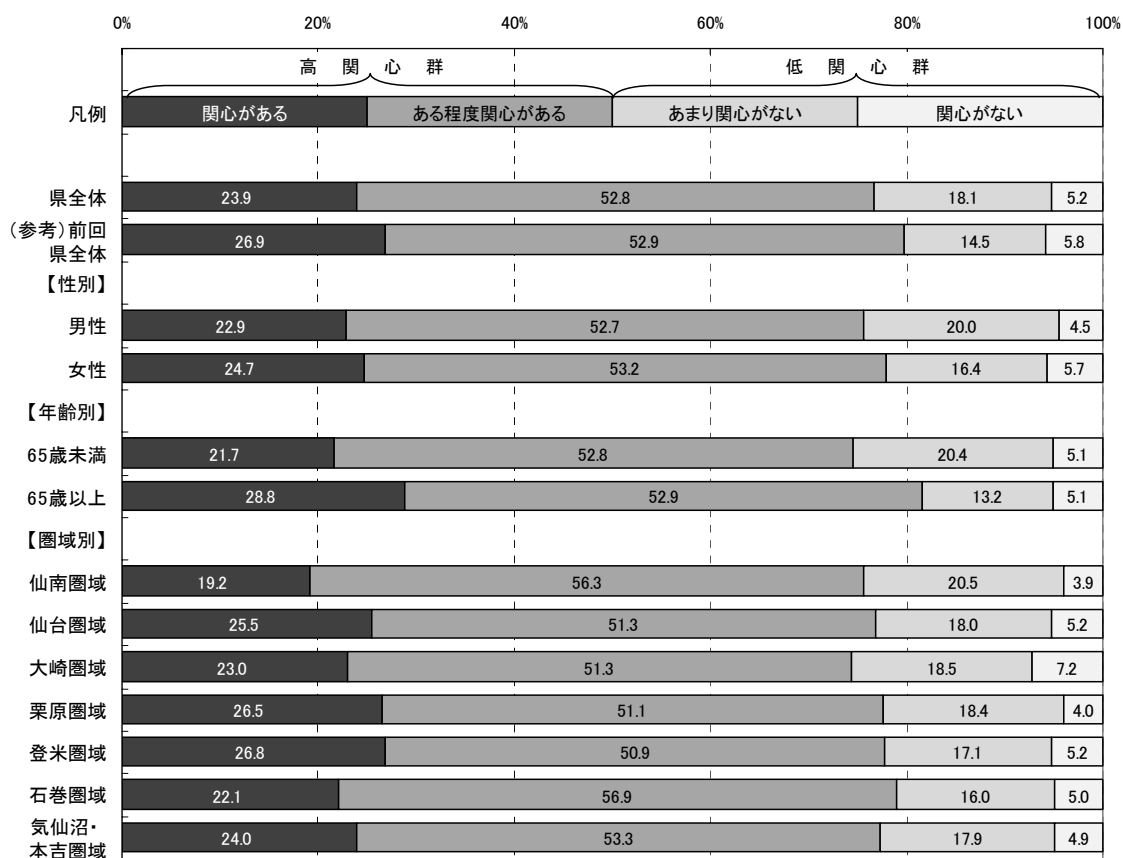


表2-2-22-2 取組22 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	459	1,012	347	100	1,918	135	2,053
	パーセント	23.9	52.8	18.1	5.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	491	965	264	105	1,825	119	1,944
	パーセント	26.9	52.9	14.5	5.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	205	472	179	40	896	53	949
	パーセント	22.9	52.7	20.0	4.5	100.0		
女性	度数	238	513	158	55	964	67	1,031
	パーセント	24.7	53.2	16.4	5.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	270	659	255	63	1,247	50	1,297
	パーセント	21.7	52.8	20.4	5.1	100.0		
65歳以上	度数	174	320	80	31	605	68	673
	パーセント	28.8	52.9	13.2	5.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	44	129	47	9	229	21	250
	パーセント	19.2	56.3	20.5	3.9	100.0		
仙台圏域	度数	68	137	48	14	267	9	276
	パーセント	25.5	51.3	18.0	5.2	100.0		
大崎圏域	度数	61	136	49	19	265	22	287
	パーセント	23.0	51.3	18.5	7.2	100.0		
栗原圏域	度数	72	139	50	11	272	15	287
	パーセント	26.5	51.1	18.4	4.0	100.0		
登米圏域	度数	72	137	46	14	269	15	284
	パーセント	26.8	50.9	17.1	5.2	100.0		
石巻圏域	度数	58	149	42	13	262	17	279
	パーセント	22.1	56.9	16.0	5.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	59	131	44	12	246	10	256
	パーセント	24.0	53.3	17.9	4.9	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は76.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は8.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が89.7%、『低重視群』は10.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は77.3%で、県全体より0.5ポイント高い。

女性の『高重視群』は76.6%で、県全体より0.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は74.9%で、県全体より1.9ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は81.2%で、県全体より4.4ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-3 取組22 重視度割合(属性別)

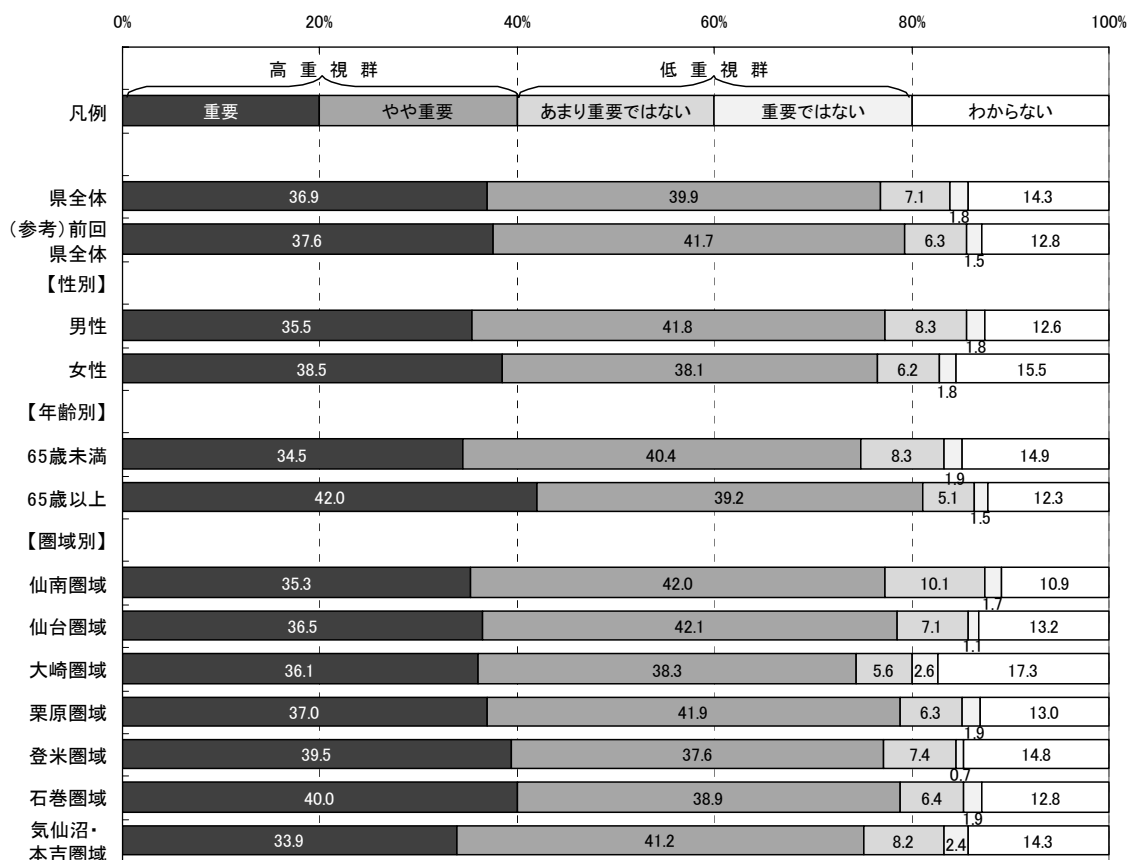


表2-2-22-3 取組22 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	712	770	136	34	276	1,928	125	2,053
	パーセント	36.9	39.9	7.1	1.8	14.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	43.1	46.6	8.2	2.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	683	758	114	28	233	1,816	128	1,944
	パーセント	37.6	41.7	6.3	1.5	12.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	320	377	75	16	114	902	47	949
	パーセント	35.5	41.8	8.3	1.8	12.6	100.0		
女性	度数	373	370	60	17	150	970	61	1,031
	パーセント	38.5	38.1	6.2	1.8	15.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	432	505	104	24	186	1,251	46	1,297
	パーセント	34.5	40.4	8.3	1.9	14.9	100.0		
65歳以上	度数	257	240	31	9	75	612	61	673
	パーセント	42.0	39.2	5.1	1.5	12.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	84	100	24	4	26	238	12	250
	パーセント	35.3	42.0	10.1	1.7	10.9	100.0		
仙台圏域	度数	97	112	19	3	35	266	10	276
	パーセント	36.5	42.1	7.1	1.1	13.2	100.0		
大崎圏域	度数	96	102	15	7	46	266	21	287
	パーセント	36.1	38.3	5.6	2.6	17.3	100.0		
栗原圏域	度数	100	113	17	5	35	270	17	287
	パーセント	37.0	41.9	6.3	1.9	13.0	100.0		
登米圏域	度数	107	102	20	2	40	271	13	284
	パーセント	39.5	37.6	7.4	0.7	14.8	100.0		
石巻圏域	度数	106	103	17	5	34	265	14	279
	パーセント	40.0	38.9	6.4	1.9	12.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	83	101	20	6	35	245	11	256
	パーセント	33.9	41.2	8.2	2.4	14.3	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は38.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は24.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.6%、『不満群』は39.5%となる。

■性別

男性の『満足群』は39.6%で、県全体より1.6ポイント高い。

女性の『満足群』は36.8%で、県全体より1.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は32.9%で、県全体より5.1ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は49.3%で、県全体より11.3ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は48.3%で、県全体より10.3ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『満足群』32.0%で、県全体より6.0ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-4 取組22 満足度割合(属性別)

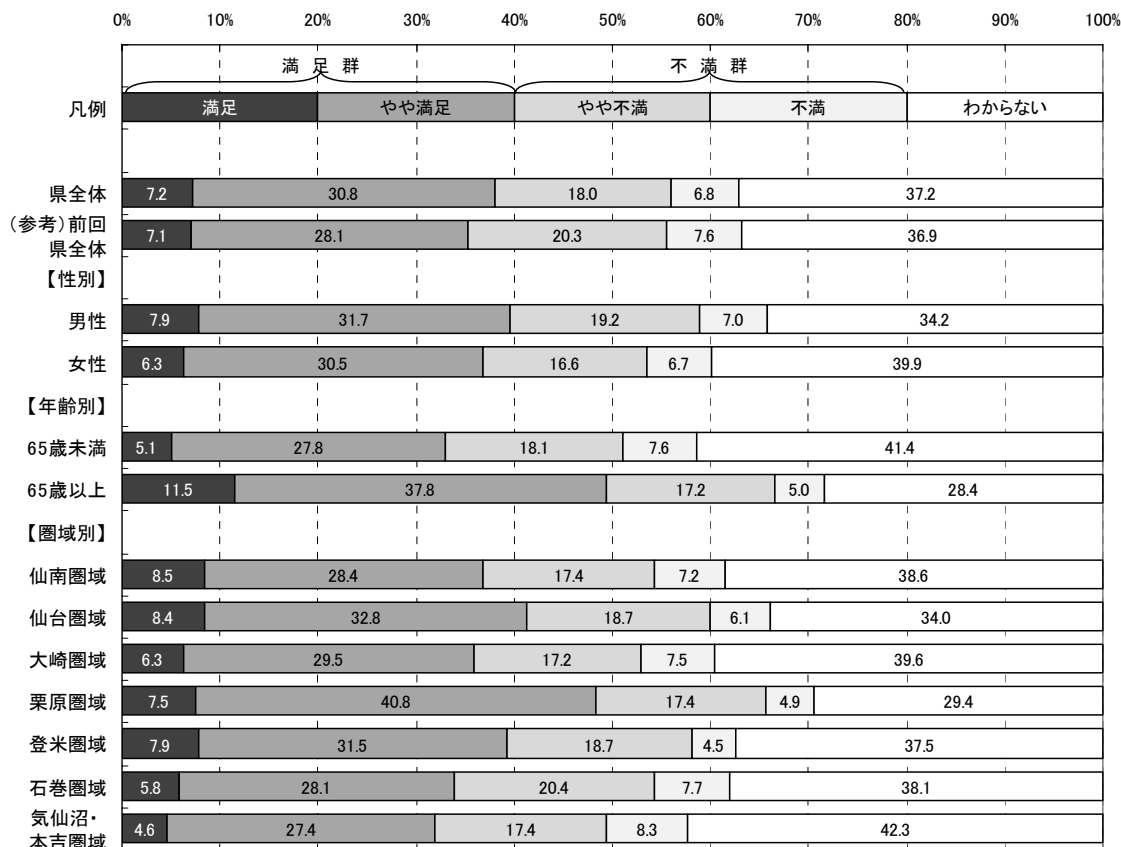


表2-2-22-4 取組22 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	137	587	342	130	708	1,904	149	2,053
	パーセント	7.2	30.8	18.0	6.8	37.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	11.5	49.1	28.6	10.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	127	503	363	135	659	1,787	157	1,944
	パーセント	7.1	28.1	20.3	7.6	36.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	70	282	171	62	304	889	60	949
	パーセント	7.9	31.7	19.2	7.0	34.2	100.0		
女性	度数	61	293	160	64	383	961	70	1,031
	パーセント	6.3	30.5	16.6	6.7	39.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	63	346	225	94	515	1,243	54	1,297
	パーセント	5.1	27.8	18.1	7.6	41.4	100.0		
65歳以上	度数	69	226	103	30	170	598	75	673
	パーセント	11.5	37.8	17.2	5.0	28.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	20	67	41	17	91	236	14	250
	パーセント	8.5	28.4	17.4	7.2	38.6	100.0		
仙台圏域	度数	22	86	49	16	89	262	14	276
	パーセント	8.4	32.8	18.7	6.1	34.0	100.0		
大崎圏域	度数	17	79	46	20	106	268	19	287
	パーセント	6.3	29.5	17.2	7.5	39.6	100.0		
栗原圏域	度数	20	108	46	13	78	265	22	287
	パーセント	7.5	40.8	17.4	4.9	29.4	100.0		
登米圏域	度数	21	84	50	12	100	267	17	284
	パーセント	7.9	31.5	18.7	4.5	37.5	100.0		
石巻圏域	度数	15	73	53	20	99	260	19	279
	パーセント	5.8	28.1	20.4	7.7	38.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	11	66	42	20	102	241	15	256
	パーセント	4.6	27.4	17.4	8.3	42.3	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 2 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談支援体制の充実
- イ 障害者の地域生活を支える相談支援体制づくり
- ウ グループホームなど、身近な地域での住まいや日中活動の場などの生活・活動の基盤づくり
- エ 障害の有無や年齢にとらわれない、利用者の要望に応じた福祉サービスの提供や地域での支え合いへの支援
- オ 難病患者やその家族に対する日常生活における相談支援体制の整備など、難病患者が在宅で安心して療養生活を送ることができる環境の整備
- カ 公益的施設のバリアフリー化の促進や県民への普及啓発

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 障害のあるなしに関係なく、だれもが自由に移動し社会活動に参加できるまちづくりが進められています。
- 企業などで、障害者の安定的な雇用が進むなど、働く意欲と能力のある障害者の働き場所が増えています。
- 重い障害があっても、障害者本人の意思が尊重されています。また、自分が住みたい地域で自立して生活しています。
- 保健・医療・福祉それぞれの関係機関の連携によるさまざまな支援を通じ、難病患者が在宅で安心した療養生活を送っています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	オ	オ	オ	オ	オ
第3位:	エ	エ	エ	エ	エ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	オ	オ	エ	オ	オ	オ	エ
第3位:	エ	ウ	オ	ウ	エ	エ	オ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-22-5 取組22 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

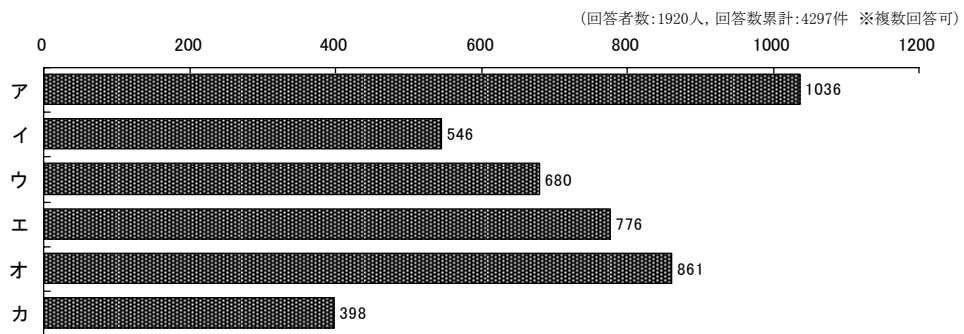
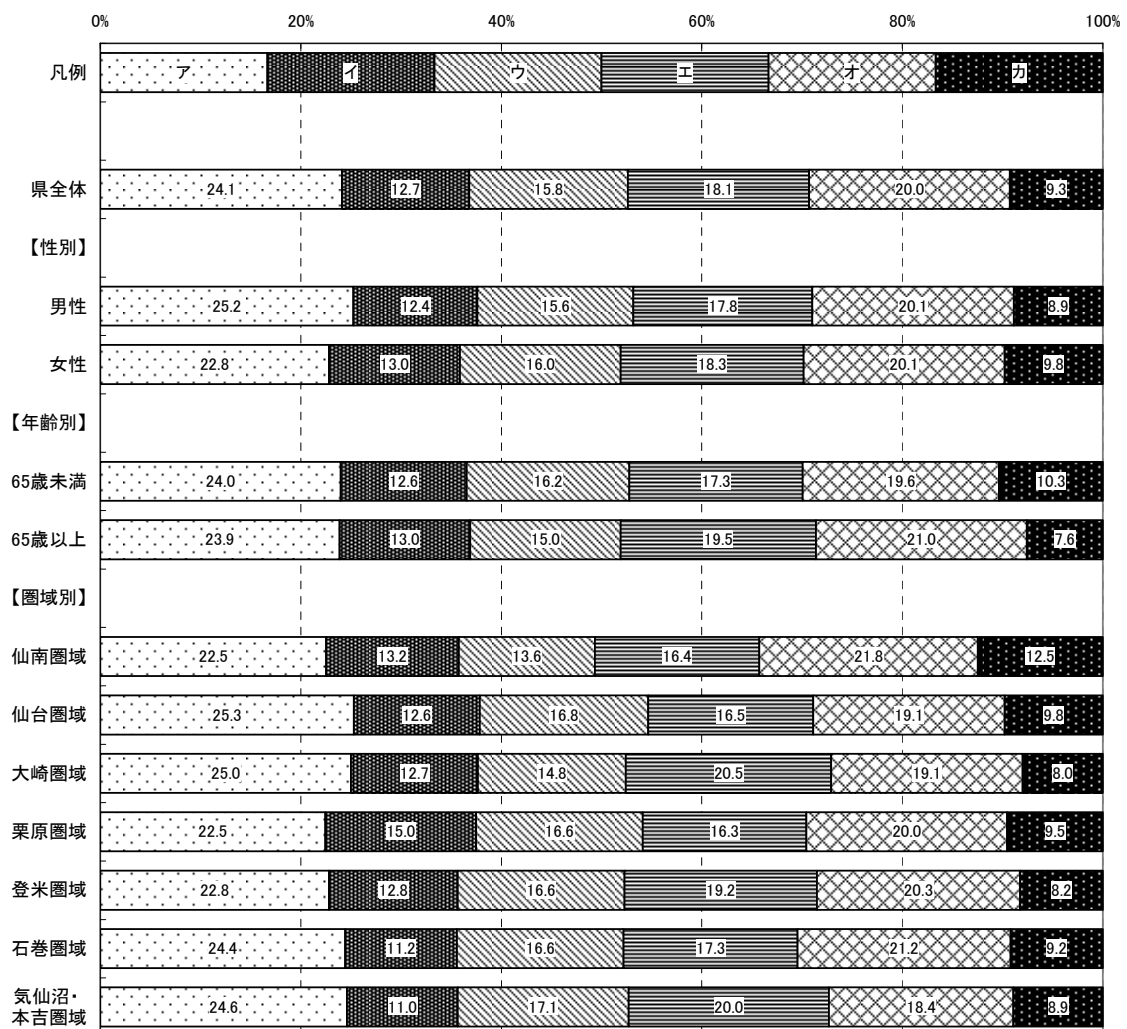


図2-2-22-6 取組22 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 2 「障害があっても安心して生活できる
地域社会の実現」

取組 2 3 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興



取組概要

県民の学習活動への支援など、生涯学習社会の確立に向けて取り組むほか、生涯スポーツ社会の実現や競技スポーツの競技力向上に向けた環境の充実を目指します。また、文化芸術活動の振興のため、文化財の保存・活用、文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の活性化を目指します。

平成22年度の主な取組

- 県民の多様な学習ニーズに応えるため、学校や社会教育施設等と連携して行う各種開放講座と、生涯学習を推進する人材を育成するための支援者養成講座を行っています。
[成果等] 開放講座合計 52 講座 参加人数 約 2,000 人(見込み)
- 県民が十分な図書館サービスを受けることができるよう、市町村図書館職員の研修を行ったり、図書相互貸借や蔵書検索を可能にする図書館情報ネットワークを運用しています。
- 芸術文化の鑑賞機会の少ない地域や児童、生徒への文化・芸術鑑賞の機会を作るとともに、県民の積極的な文化・芸術の活動を支援しています。
- 学校など身近な場所で実施する少人数・体験型のプログラム(美術・舞台ワークショップ、音楽アウトリーチ)の開催に力を入れているほか、宮城県芸術選奨受賞者の作品展や県民ロビーコンサートなどを実施しています。
- スポーツ振興と競技力向上を図るため、競技団体・高体連・中体連・ジュニア選手の育成強化に努めています。
- 県民総スポーツ社会の実現に向け、宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭の開催や、総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は33.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は66.2%である。

■性別

男性の『高認知群』は34.5%で、県全体より0.7ポイント高い。

女性の『高認知群』は33.1%で、県全体より0.7ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は30.5%で、県全体より3.3ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は40.9%で、県全体より7.1ポイント高い。

■圏域別

仙台圏域の『高認知群』は39.7%で、県全体より5.9ポイント高い。

石巻圏域の『高認知群』は27.4%で、県全体より6.4ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-23-1 取組23 認知度割合(属性別)

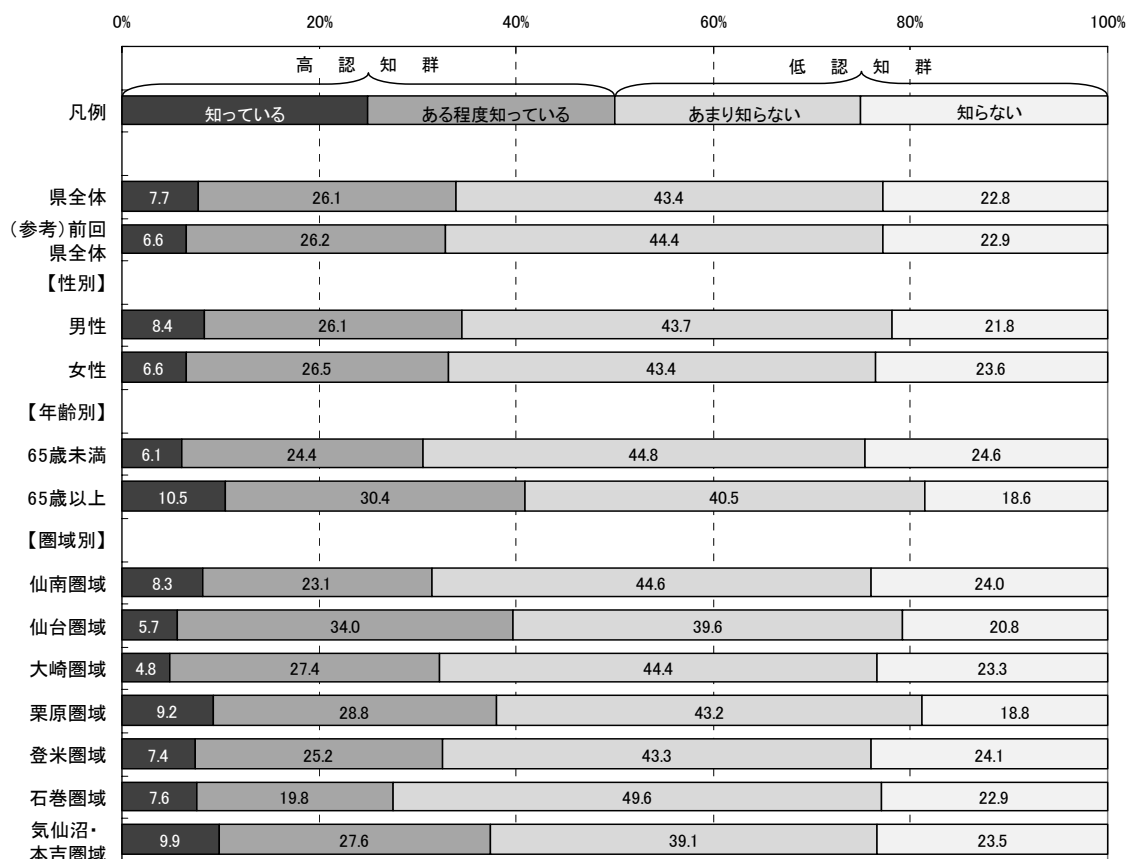


表2-2-23-1 取組23 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	149	505	838	440	1,932	121	2,053
	パーセント	7.7	26.1	43.4	22.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	122	487	825	425	1,859	85	1,944
	パーセント	6.6	26.2	44.4	22.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	76	235	394	197	902	47	949
	パーセント	8.4	26.1	43.7	21.8	100.0		
女性	度数	64	257	421	229	971	60	1,031
	パーセント	6.6	26.5	43.4	23.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	77	307	563	309	1,256	41	1,297
	パーセント	6.1	24.4	44.8	24.6	100.0		
65歳以上	度数	64	185	246	113	608	65	673
	パーセント	10.5	30.4	40.5	18.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	20	56	108	58	242	8	250
	パーセント	8.3	23.1	44.6	24.0	100.0		
仙台圏域	度数	15	90	105	55	265	11	276
	パーセント	5.7	34.0	39.6	20.8	100.0		
大崎圏域	度数	13	74	120	63	270	17	287
	パーセント	4.8	27.4	44.4	23.3	100.0		
栗原圏域	度数	25	78	117	51	271	16	287
	パーセント	9.2	28.8	43.2	18.8	100.0		
登米圏域	度数	20	68	117	65	270	14	284
	パーセント	7.4	25.2	43.3	24.1	100.0		
石巻圏域	度数	20	52	130	60	262	17	279
	パーセント	7.6	19.8	49.6	22.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	24	67	95	57	243	13	256
	パーセント	9.9	27.6	39.1	23.5	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は54.4%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は45.6%である。

■性別

男性の『高関心群』は55.6%で、県全体より1.2ポイント高い。
女性の『高関心群』は53.1%で、県全体より1.3ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は51.7%で、県全体より2.7ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は59.4%で、県全体より5.0ポイント高い。

■圏域別

仙台圏域の『高関心群』は60.8%で、県全体より6.4ポイント高い。
その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-23-2 取組23 関心度割合(属性別)

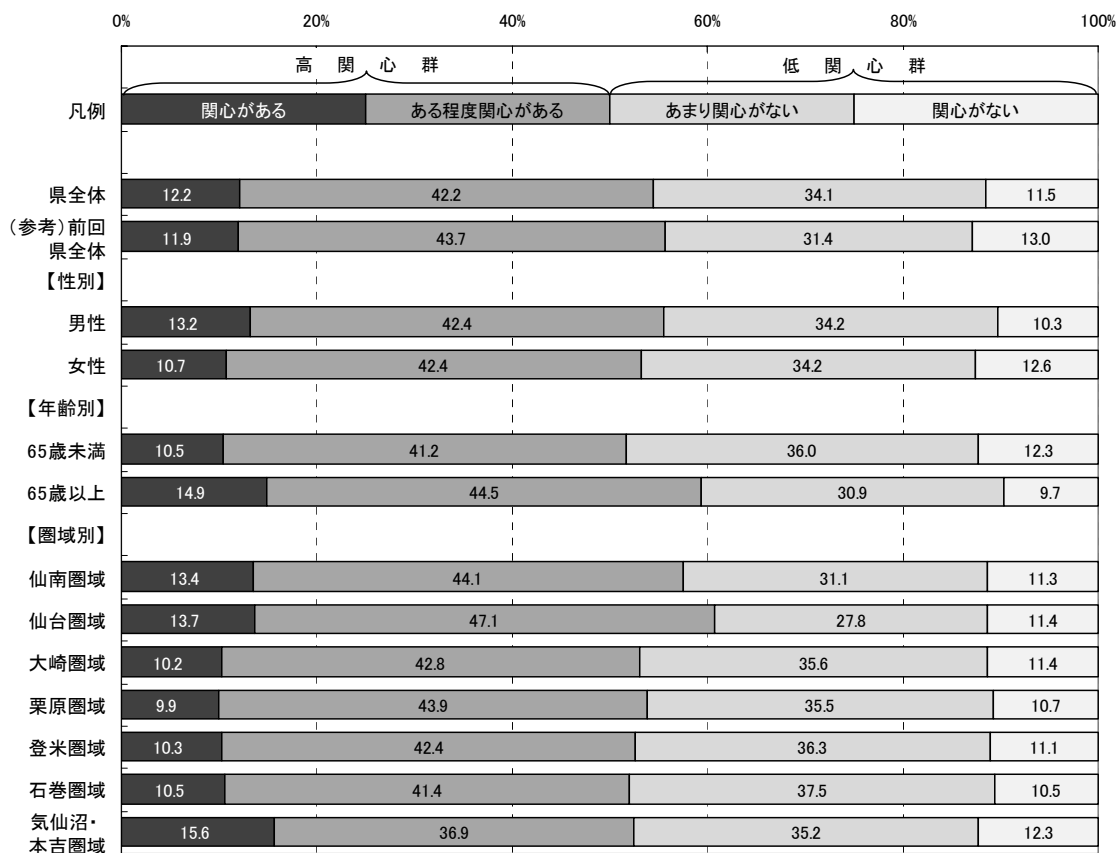


表2-2-23-2 取組23 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	230	796	644	217	1,887	166	2,053
	パーセント	12.2	42.2	34.1	11.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	217	796	572	236	1,821	123	1,944
	パーセント	11.9	43.7	31.4	13.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	116	372	300	90	878	71	949
	パーセント	13.2	42.4	34.2	10.3	100.0		
女性	度数	102	404	326	120	952	79	1,031
	パーセント	10.7	42.4	34.2	12.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	129	508	444	152	1,233	64	1,297
	パーセント	10.5	41.2	36.0	12.3	100.0		
65歳以上	度数	88	262	182	57	589	84	673
	パーセント	14.9	44.5	30.9	9.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	32	105	74	27	238	12	250
	パーセント	13.4	44.1	31.1	11.3	100.0		
仙台圏域	度数	35	120	71	29	255	21	276
	パーセント	13.7	47.1	27.8	11.4	100.0		
大崎圏域	度数	27	113	94	30	264	23	287
	パーセント	10.2	42.8	35.6	11.4	100.0		
栗原圏域	度数	26	115	93	28	262	25	287
	パーセント	9.9	43.9	35.5	10.7	100.0		
登米圏域	度数	27	111	95	29	262	22	284
	パーセント	10.3	42.4	36.3	11.1	100.0		
石巻圏域	度数	27	106	96	27	256	23	279
	パーセント	10.5	41.4	37.5	10.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	38	90	86	30	244	12	256
	パーセント	15.6	36.9	35.2	12.3	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は52.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は24.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が67.7%、『低重視群』は32.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は52.5%で、県全体より0.3ポイント高い。

女性の『高重視群』は52.1%で、県全体より0.1ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は49.7%で、県全体より2.5ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は58.0%で、県全体より5.8ポイント高い。

■圏域別

仙台圏域の『高重視群』は59.3%で、県全体より7.1ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-23-3 取組23 重視度割合(属性別)

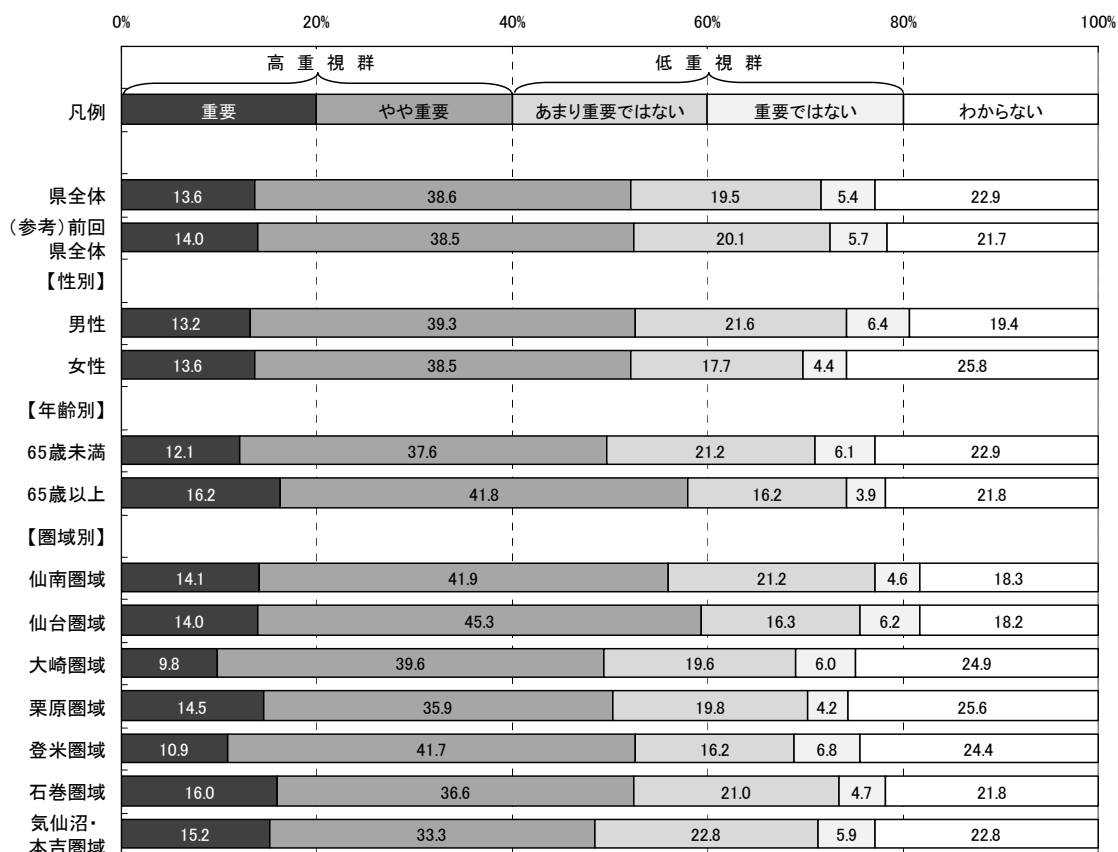


表2-2-23-3 取組23 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	257	731	368	103	433	1,892	161	2,053
	パーセント	13.6	38.6	19.5	5.4	22.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	17.6	50.1	25.2	7.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	253	698	365	104	393	1,813	131	1,944
	パーセント	14.0	38.5	20.1	5.7	21.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	117	349	192	57	172	887	62	949
	パーセント	13.2	39.3	21.6	6.4	19.4	100.0		
女性	度数	129	364	167	42	244	946	85	1,031
	パーセント	13.6	38.5	17.7	4.4	25.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	150	466	263	76	283	1,238	59	1,297
	パーセント	12.1	37.6	21.2	6.1	22.9	100.0		
65歳以上	度数	95	245	95	23	128	586	87	673
	パーセント	16.2	41.8	16.2	3.9	21.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	34	101	51	11	44	241	9	250
	パーセント	14.1	41.9	21.2	4.6	18.3	100.0		
仙台圏域	度数	36	117	42	16	47	258	18	276
	パーセント	14.0	45.3	16.3	6.2	18.2	100.0		
大崎圏域	度数	26	105	52	16	66	265	22	287
	パーセント	9.8	39.6	19.6	6.0	24.9	100.0		
栗原圏域	度数	38	94	52	11	67	262	25	287
	パーセント	14.5	35.9	19.8	4.2	25.6	100.0		
登米圏域	度数	29	111	43	18	65	266	18	284
	パーセント	10.9	41.7	16.2	6.8	24.4	100.0		
石巻圏域	度数	41	94	54	12	56	257	22	279
	パーセント	16.0	36.6	21.0	4.7	21.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	36	79	54	14	54	237	19	256
	パーセント	15.2	33.3	22.8	5.9	22.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は35.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は21.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が62.4%、『不満群』は37.5%となる。

■性別

男性の『満足群』は36.7%で、県全体より1.7ポイント高い。

女性の『満足群』は33.8%で、県全体より1.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は31.2%で、県全体より3.8ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は44.1%で、県全体より9.1ポイント高い。

■圏域別

仙台圏域の『満足群』は40.1%で、県全体より5.1ポイント高い。

栗原圏域の『満足群』は42.2%で、県全体より7.2ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-23-4 取組23 満足度割合(属性別)

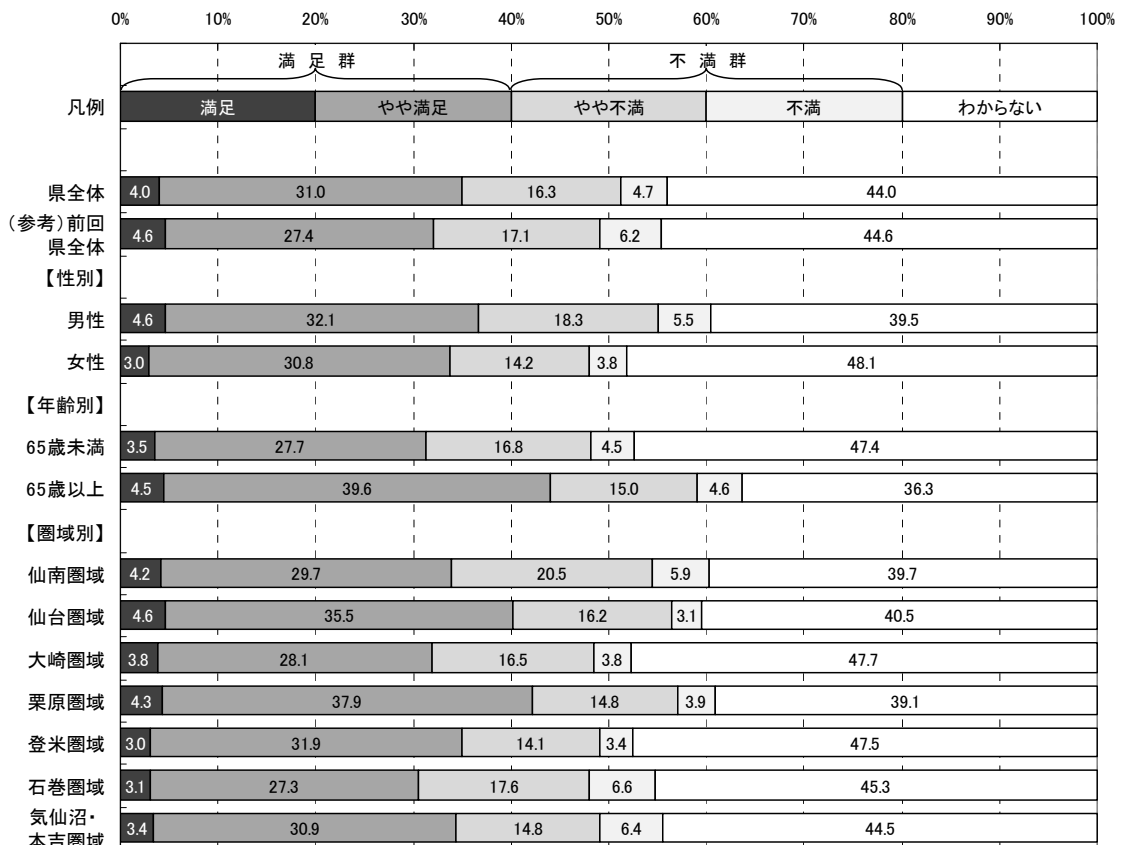


表2-2-23-4 取組23 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	75	581	306	88	826	1,876	177	2,053
	パーセント	4.0	31.0	16.3	4.7	44.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	7.1	55.3	29.1	8.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	83	492	307	112	801	1,795	149	1,944
	パーセント	4.6	27.4	17.1	6.2	44.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	40	282	161	48	347	878	71	949
	パーセント	4.6	32.1	18.3	5.5	39.5	100.0		
女性	度数	28	290	134	36	453	941	90	1,031
	パーセント	3.0	30.8	14.2	3.8	48.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	43	341	207	55	583	1,229	68	1,297
	パーセント	3.5	27.7	16.8	4.5	47.4	100.0		
65歳以上	度数	26	230	87	27	211	581	92	673
	パーセント	4.5	39.6	15.0	4.6	36.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	10	71	49	14	95	239	11	250
	パーセント	4.2	29.7	20.5	5.9	39.7	100.0		
仙台圏域	度数	12	92	42	8	105	259	17	276
	パーセント	4.6	35.5	16.2	3.1	40.5	100.0		
大崎圏域	度数	10	73	43	10	124	260	27	287
	パーセント	3.8	28.1	16.5	3.8	47.7	100.0		
栗原圏域	度数	11	97	38	10	100	256	31	287
	パーセント	4.3	37.9	14.8	3.9	39.1	100.0		
登米圏域	度数	8	84	37	9	125	263	21	284
	パーセント	3.0	31.9	14.1	3.4	47.5	100.0		
石巻圏域	度数	8	70	45	17	116	256	23	279
	パーセント	3.1	27.3	17.6	6.6	45.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	73	35	15	105	236	20	256
	パーセント	3.4	30.9	14.8	6.4	44.5	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組23に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア より充実した生涯学習の環境づくりと、学習機関同士の結び付きなどによる県民の自主的な学習活動の支援
- イ みやぎ県民大学の実施など、社会的に求められている学習機会の確保や、地域のさまざまな生涯学習活動を支援する指導者の育成
- ウ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援など、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり
- エ 競技スポーツにおいて、指導者育成対策、競技力向上などの環境の充実
- オ 県民が文化芸術に触れる機会の充実など、文化芸術活動の振興
- カ 地域文化の継承・振興のための取組支援と文化財の保存・活用
- キ 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の推進
- ク 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と、関係機関との組織づくり

(参考: 目標とする宮城の姿)

- だれもが意欲や興味に応じて学び交流する環境ができ、学ぶことが個人の生きがいや地域づくりに結びついています。
- 県民のだれもが、年齢や興味に応じてスポーツに親しんでいます。競技スポーツでは、全国や世界で活躍する選手が生まれています。
- 郷土の伝統的な文化芸術が保存され受け継がれています。
- 子どものころから創造性をはぐくむような環境ができ、積極的な文化活動への参加や文化芸術を通じた地域づくりを行う県民が増えています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	カ	カ	カ	カ	イ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	ク	イ	カ	カ	カ	カ	イ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-23-5 取組23 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

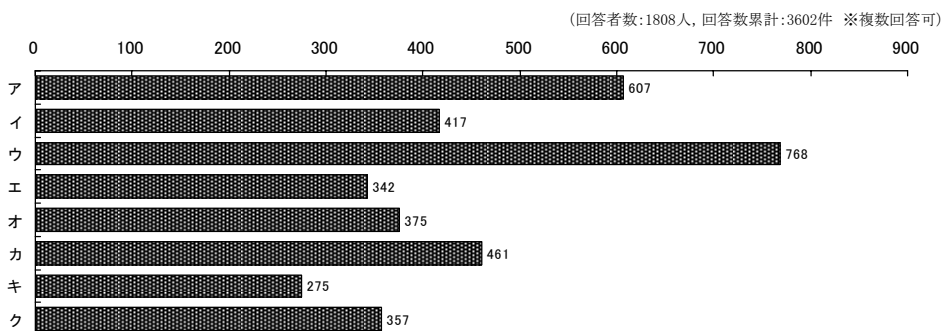
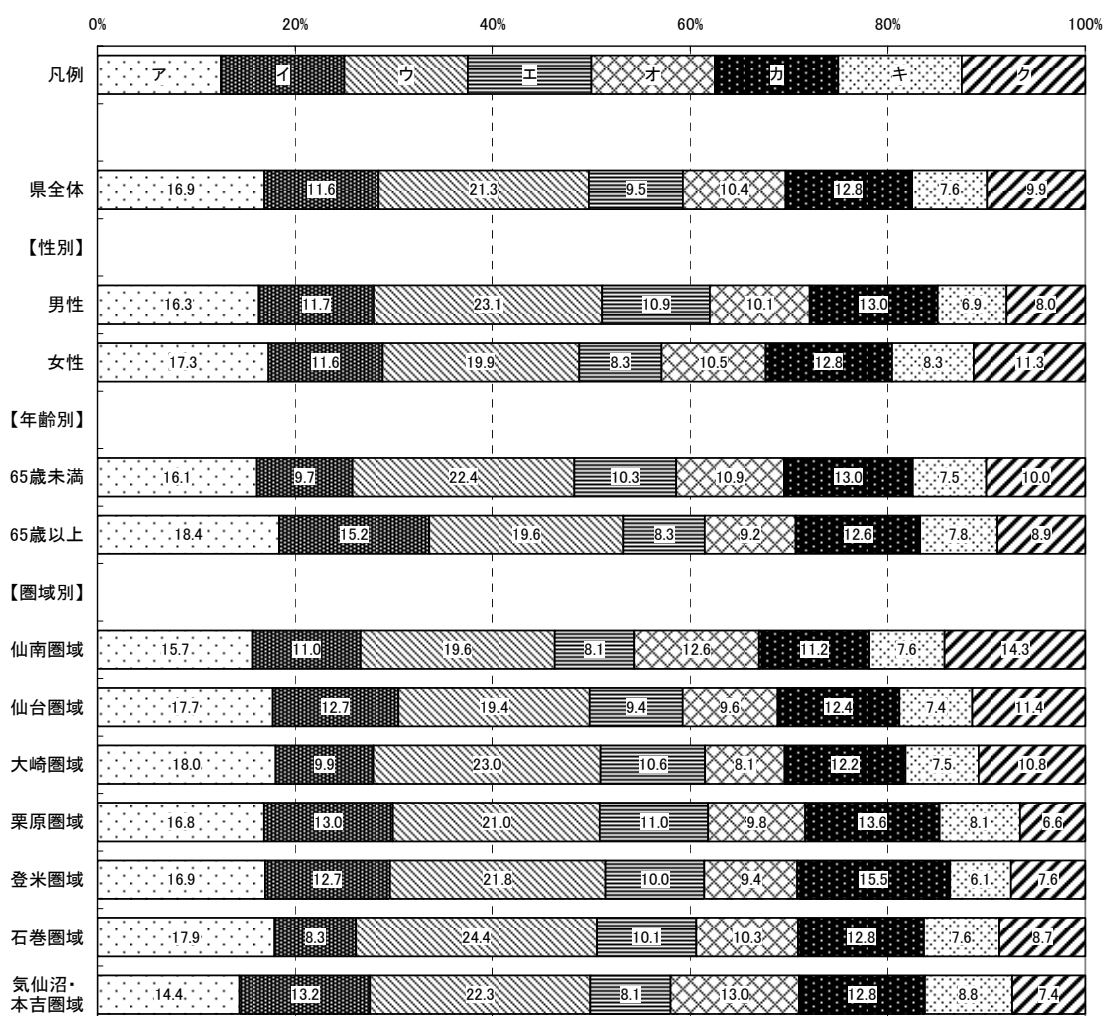


図2-2-23-6 取組23 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組23 「生涯学習社会の確立とスポーツ・
文化芸術の振興」

取組 2 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実



取組概要

都市計画により、市街地における適切な土地利用の誘導、公共公益施設の適切な配置を図ります。また、生活に必要なサービスの確保に取り組むとともに、各地域の特性を生かした産業振興を行うなど、活力に満ちた地域社会の実現を目指します。

平成 2 2 年度の主な取組

- 仙塩、県東部、県北部において都市計画区域の再編と都市計画の方針を明らかにする都市計画区域マスタープランの見直しを行いました。引き続き、県南部等の都市計画区域マスタープランの見直しを行うため、都市計画基礎調査を実施しています。
- 多賀城市中心市街地の、多賀城駅近辺踏切による交通渋滞や線路による市街地の分断を解消するため、JR仙石線の線路の高架化工事を行っています。
[成果等]高架橋下り線の工事 延長=1.78km
- 小さな建物が密集している地区、空き地になっている地区などを有効利用、再生するため、敷地を統合し、耐火性のある共同建て建築物への整備を行う事業者に、市町村と連携して補助金を交付しています。
- 地域活性化を図るため、大都市と農山漁村の交流や大都市から農山漁村への移住を中心に、本県への移住や交流を推進するための情報発信などを行っています。
- 県民の日常生活を支える公共交通を維持するため、第三セクター鉄道、バス会社や市町村などが運行する地方生活路線バス、離島航路の運営などを支援しています。
- 集客施設と地域が調和した「コンパクトで活力あるまちづくり」に向け、集客施設による地域貢献活動を促進するため、セミナーの開催や先進的取組の紹介などにより拡大・浸透を図っています。

[成果等] セミナー開催回数 1 回予定

【認知度】

(県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は22.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は77.2%である。

■性別

男性の『高認知群』は26.7%で、県全体より3.9ポイント高い。

女性の『高認知群』は19.2%で、県全体より3.6ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は19.7%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は29.5%で、県全体より6.7ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高認知群』は29.8%で、県全体より7.0ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は17.7%で、県全体より5.1ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-24-1 取組24 認知度割合(属性別)

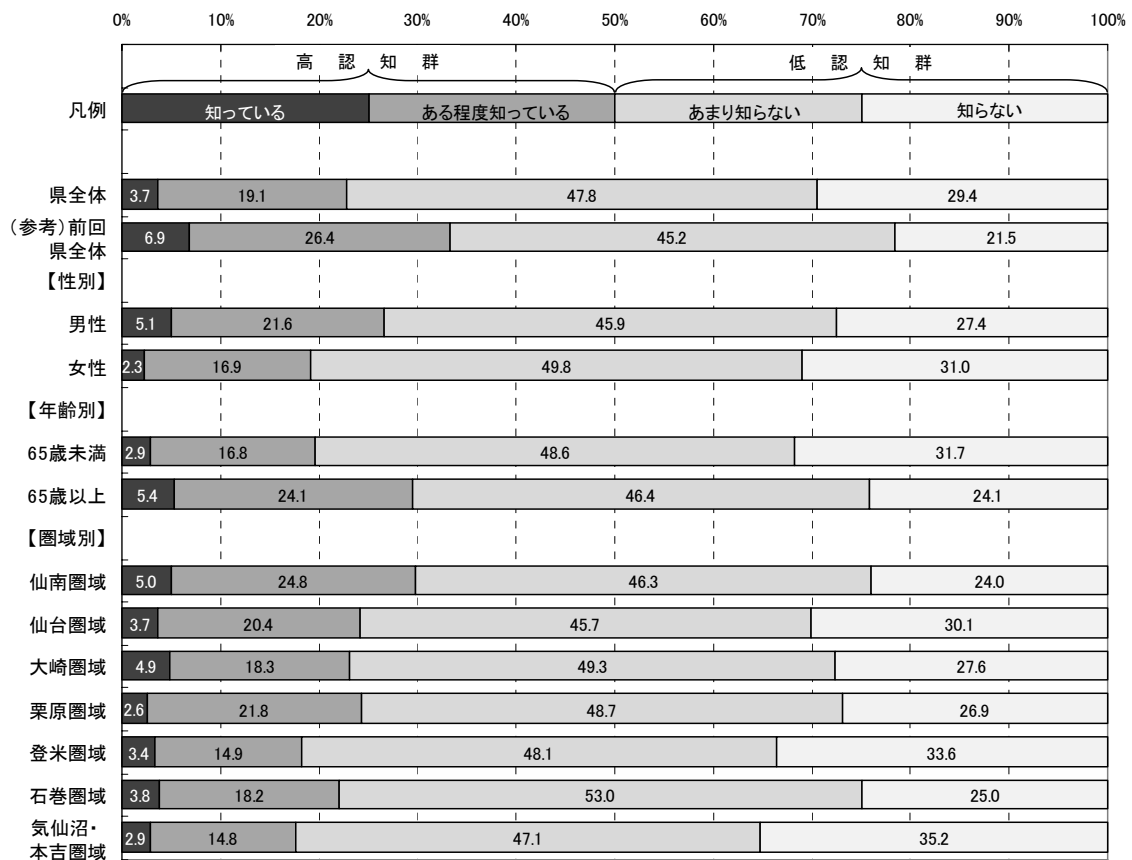


表2-2-24-1 取組24 認知度集計(属性別)

		有 効				合 計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	72	370	926	571	1,939	114	2,053
	パーセント	3.7	19.1	47.8	29.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	128	490	838	399	1,855	89	1,944
	パーセント	6.9	26.4	45.2	21.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	46	195	415	248	904	45	949
	パーセント	5.1	21.6	45.9	27.4	100.0		
女性	度数	22	165	486	302	975	56	1,031
	パーセント	2.3	16.9	49.8	31.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	36	211	611	398	1,256	41	1,297
	パーセント	2.9	16.8	48.6	31.7	100.0		
65歳以上	度数	33	148	285	148	614	59	673
	パーセント	5.4	24.1	46.4	24.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	12	60	112	58	242	8	250
	パーセント	5.0	24.8	46.3	24.0	100.0		
仙台圏域	度数	10	55	123	81	269	7	276
	パーセント	3.7	20.4	45.7	30.1	100.0		
大崎圏域	度数	13	49	132	74	268	19	287
	パーセント	4.9	18.3	49.3	27.6	100.0		
栗原圏域	度数	7	59	132	73	271	16	287
	パーセント	2.6	21.8	48.7	26.9	100.0		
登米圏域	度数	9	40	129	90	268	16	284
	パーセント	3.4	14.9	48.1	33.6	100.0		
石巻圏域	度数	10	48	140	66	264	15	279
	パーセント	3.8	18.2	53.0	25.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	7	36	115	86	244	12	256
	パーセント	2.9	14.8	47.1	35.2	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は49.8%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は50.3%である。

■性別

男性の『高関心群』は55.3%で、県全体より5.5ポイント高い。
女性の『高関心群』は44.6%で、県全体より5.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は46.5%で、県全体より3.3ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は56.5%で、県全体より6.7ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-24-2 取組24 関心度割合(属性別)

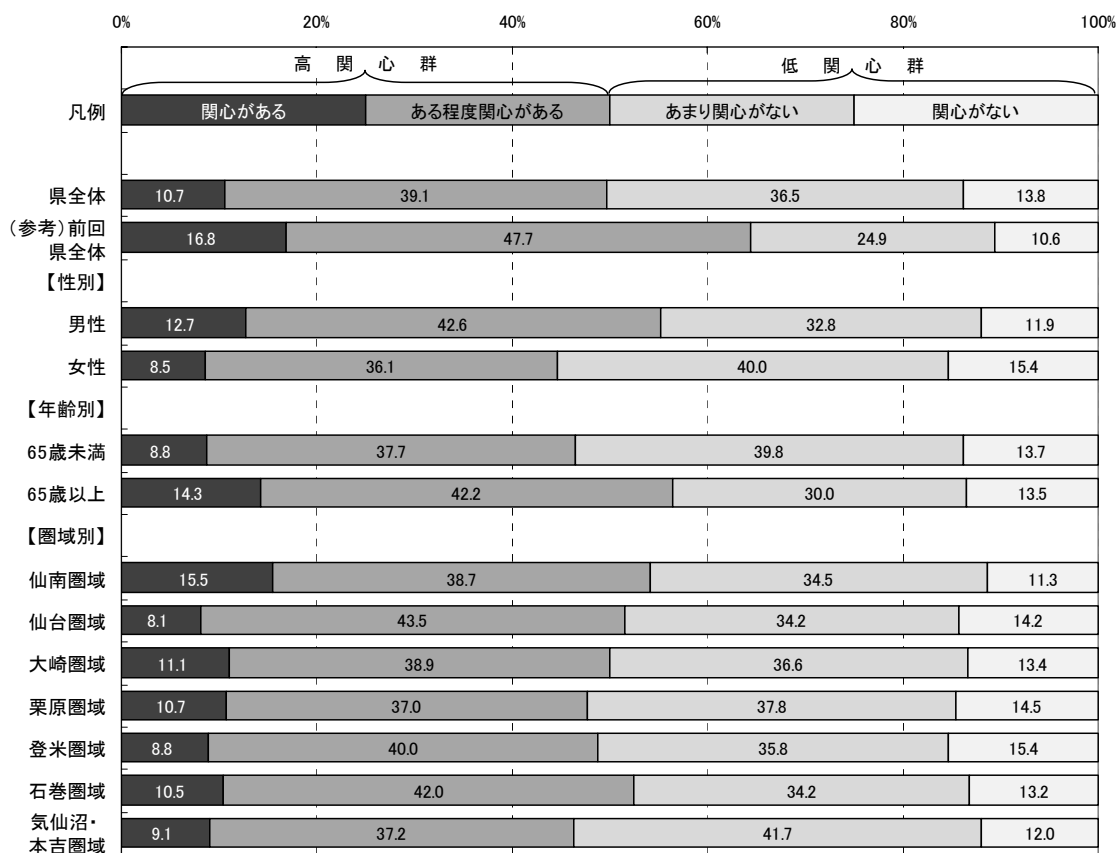


表2-2-24-2 取組24 関心度集計(属性別)

		有 効				合 計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	201	737	688	260	1,886	167	2,053
	パーセント	10.7	39.1	36.5	13.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	303	860	449	192	1,804	140	1,944
	パーセント	16.8	47.7	24.9	10.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	112	376	290	105	883	66	949
	パーセント	12.7	42.6	32.8	11.9	100.0		
女性	度数	81	342	379	146	948	83	1,031
	パーセント	8.5	36.1	40.0	15.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	108	464	489	169	1,230	67	1,297
	パーセント	8.8	37.7	39.8	13.7	100.0		
65歳以上	度数	85	250	178	80	593	80	673
	パーセント	14.3	42.2	30.0	13.5	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	37	92	82	27	238	12	250
	パーセント	15.5	38.7	34.5	11.3	100.0		
仙台圏域	度数	21	113	89	37	260	16	276
	パーセント	8.1	43.5	34.2	14.2	100.0		
大崎圏域	度数	29	102	96	35	262	25	287
	パーセント	11.1	38.9	36.6	13.4	100.0		
栗原圏域	度数	28	97	99	38	262	25	287
	パーセント	10.7	37.0	37.8	14.5	100.0		
登米圏域	度数	23	104	93	40	260	24	284
	パーセント	8.8	40.0	35.8	15.4	100.0		
石巻圏域	度数	27	108	88	34	257	22	279
	パーセント	10.5	42.0	34.2	13.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	22	90	101	29	242	14	256
	パーセント	9.1	37.2	41.7	12.0	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は50.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は22.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が69.2%、『低重視群』は30.8%となる。

■性別

男性の『高重視群』は54.2%で、県全体より4.0ポイント高い。

女性の『高重視群』は46.9%で、県全体より3.3ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は47.2%で、県全体より3.0ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は56.8%で、県全体より6.6ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高重視群』は、56.4%で、県全体より6.2ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-24-3 取組24 重視度割合(属性別)

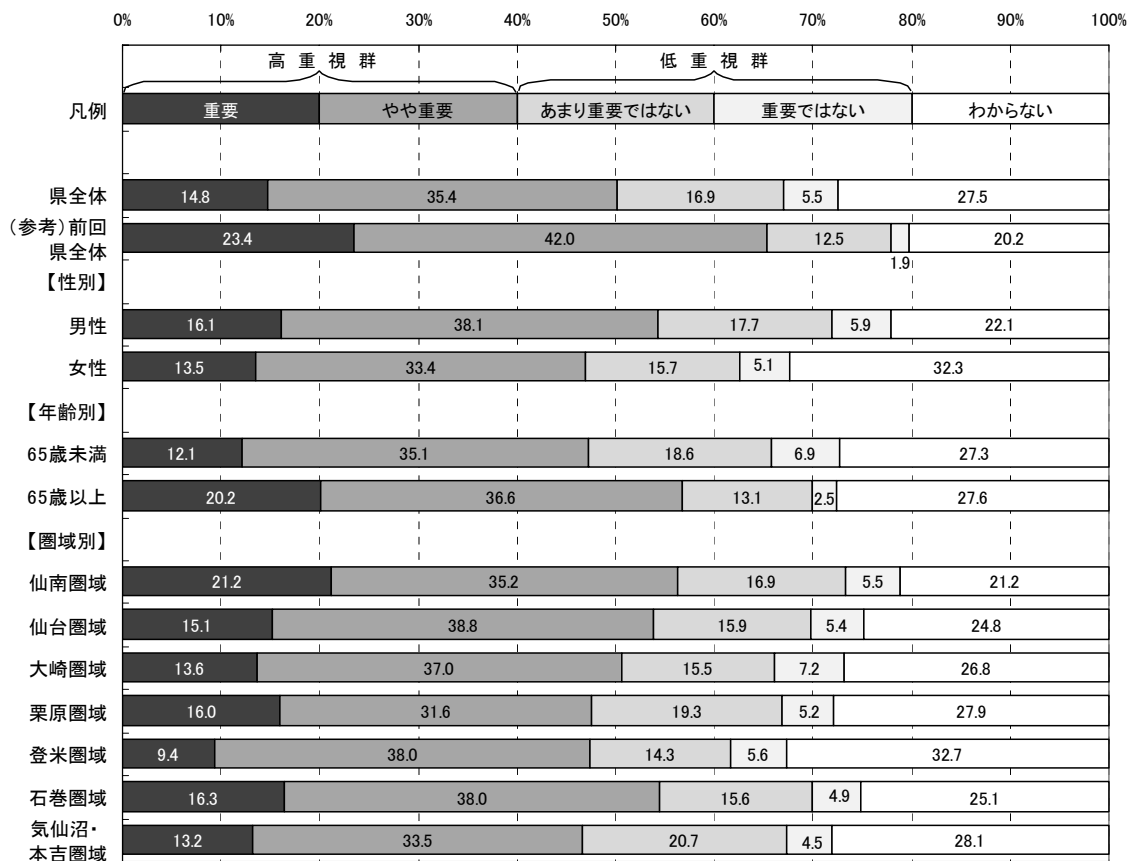


表2-2-24-3 取組24 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	281	674	321	104	523	1,903	150	2,053
	パーセント	14.8	35.4	16.9	5.5	27.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	20.4	48.8	23.3	7.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	424	760	226	35	366	1,811	133	1,944
	パーセント	23.4	42.0	12.5	1.9	20.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	144	340	158	53	197	892	57	949
	パーセント	16.1	38.1	17.7	5.9	22.1	100.0		
女性	度数	129	319	150	49	309	956	75	1,031
	パーセント	13.5	33.4	15.7	5.1	32.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	151	437	231	86	339	1,244	53	1,297
	パーセント	12.1	35.1	18.6	6.9	27.3	100.0		
65歳以上	度数	120	218	78	15	164	595	78	673
	パーセント	20.2	36.6	13.1	2.5	27.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	50	83	40	13	50	236	14	250
	パーセント	21.2	35.2	16.9	5.5	21.2	100.0		
仙台圏域	度数	39	100	41	14	64	258	18	276
	パーセント	15.1	38.8	15.9	5.4	24.8	100.0		
大崎圏域	度数	36	98	41	19	71	265	22	287
	パーセント	13.6	37.0	15.5	7.2	26.8	100.0		
栗原圏域	度数	43	85	52	14	75	269	18	287
	パーセント	16.0	31.6	19.3	5.2	27.9	100.0		
登米圏域	度数	25	101	38	15	87	266	18	284
	パーセント	9.4	38.0	14.3	5.6	32.7	100.0		
石巻圏域	度数	43	100	41	13	66	263	16	279
	パーセント	16.3	38.0	15.6	4.9	25.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	32	81	50	11	68	242	14	256
	パーセント	13.2	33.5	20.7	4.5	28.1	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は28.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は24.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が53.1%、『不満群』は46.9%となる。

■性別

男性の『満足群』は31.2%で、県全体より3.2ポイント高い。

女性の『満足群』は25.7%で、県全体より2.3ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は24.1%で、県全体より3.9ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は37.6%で、県全体より9.6ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『満足群』は、34.2%で、県全体より6.2ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-24-4 取組24 満足度割合(属性別)

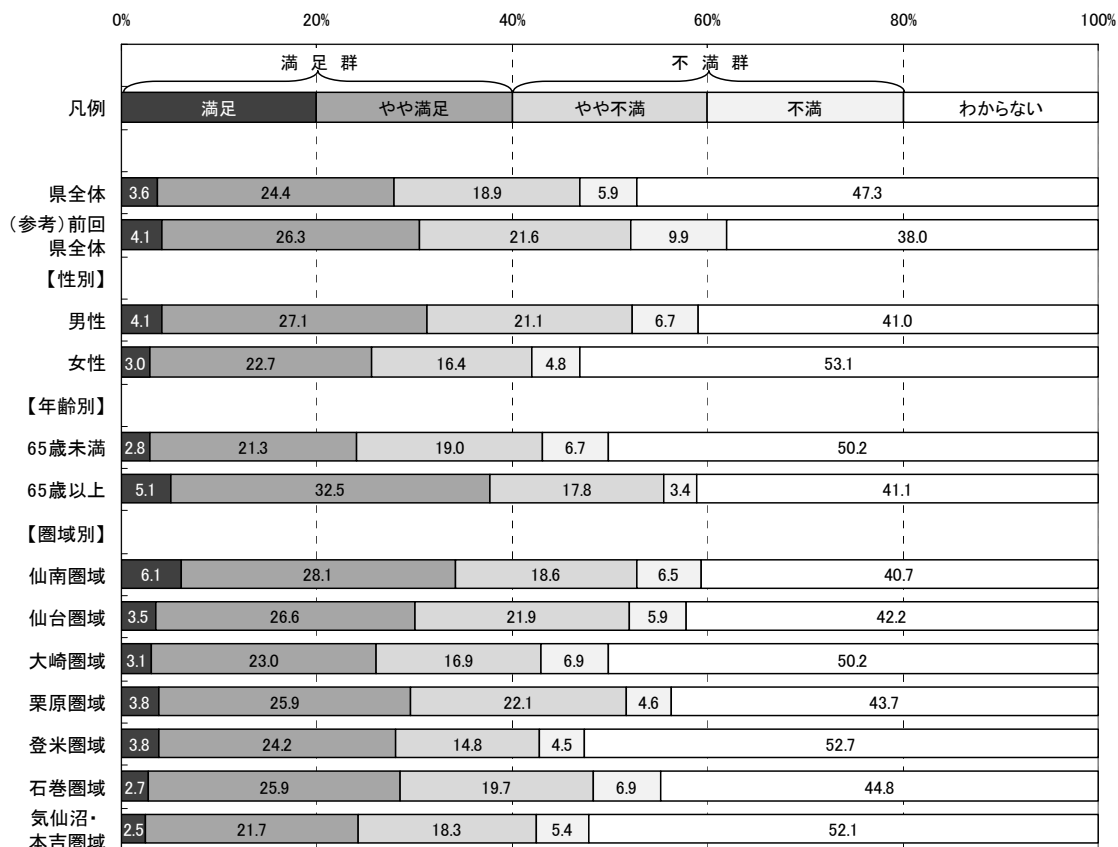


表2-2-24-4 取組24 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	68	458	355	110	889	1,880	173	2,053
	パーセント	3.6	24.4	18.9	5.9	47.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	6.9	46.2	35.8	11.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	74	474	389	179	683	1,799	145	1,944
	パーセント	4.1	26.3	21.6	9.9	38.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	36	239	186	59	361	881	68	949
	パーセント	4.1	27.1	21.1	6.7	41.0	100.0		
女性	度数	28	214	155	45	501	943	88	1,031
	パーセント	3.0	22.7	16.4	4.8	53.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	35	262	234	82	618	1,231	66	1,297
	パーセント	2.8	21.3	19.0	6.7	50.2	100.0		
65歳以上	度数	30	190	104	20	240	584	89	673
	パーセント	5.1	32.5	17.8	3.4	41.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	14	65	43	15	94	231	19	250
	パーセント	6.1	28.1	18.6	6.5	40.7	100.0		
仙台圏域	度数	9	68	56	15	108	256	20	276
	パーセント	3.5	26.6	21.9	5.9	42.2	100.0		
大崎圏域	度数	8	60	44	18	131	261	26	287
	パーセント	3.1	23.0	16.9	6.9	50.2	100.0		
栗原圏域	度数	10	68	58	12	115	263	24	287
	パーセント	3.8	25.9	22.1	4.6	43.7	100.0		
登米圏域	度数	10	64	39	12	139	264	20	284
	パーセント	3.8	24.2	14.8	4.5	52.7	100.0		
石巻圏域	度数	7	67	51	18	116	259	20	279
	パーセント	2.7	25.9	19.7	6.9	44.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	6	52	44	13	125	240	16	256
	パーセント	2.5	21.7	18.3	5.4	52.1	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組24に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 施設の配置場所、市街地開発など、都市計画の方針を明らかにする都市計画区域マスタープランに基づく良好な市街地づくり
- イ 都市計画による適切な土地利用の誘導や公共公益施設の適切な配置
- ウ 鉄道沿線などの市街地整備や既存市街地の再開発
- エ 地域の実情に応じた、まちづくりと連携した商店街活性化への支援
- オ 豊かな自然環境や独自の伝統文化などを生かした集客交流や移住・交流者による地域づくりなど、多様な主体と連携し、地域の実情に応じた集落維持・活性化対策の促進
- カ 地域の日常生活を支えるバス路線など、公共交通の維持支援

(参考:目標とする宮城の姿)

- 地域の中心部にさまざまな公共施設をまとめて配置するなど、機能的なまちづくりが進められています。
- 消費者にとって魅力ある商店街づくりや、地域資源を生かした独自性のあるまちづくりが進められています。
- 県内の各圏域に、圏域内のそれぞれの地域が医療、教育、交通などの機能を集中・分担するなどして、生活に欠かせない基礎的なサービスがきちんと受けられる環境が整っています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	カ	カ	カ	カ	カ
第2位:	エ	エ	エ	エ	エ
第3位:	オ	オ	オ	オ	オ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
第2位:	エ	エ	エ	エ	オ	エ	エ
第3位:	イ	オ	オ	オ	エ	イオ	オ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-24-5 取組24 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

(回答者数:1844人, 回答数累計:3426件 ※複数回答可)

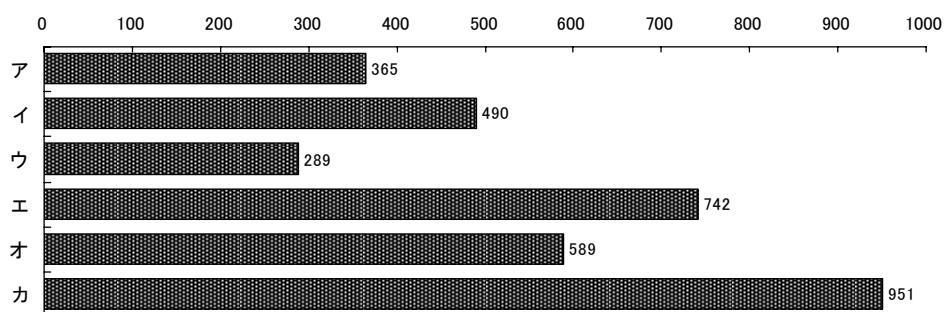
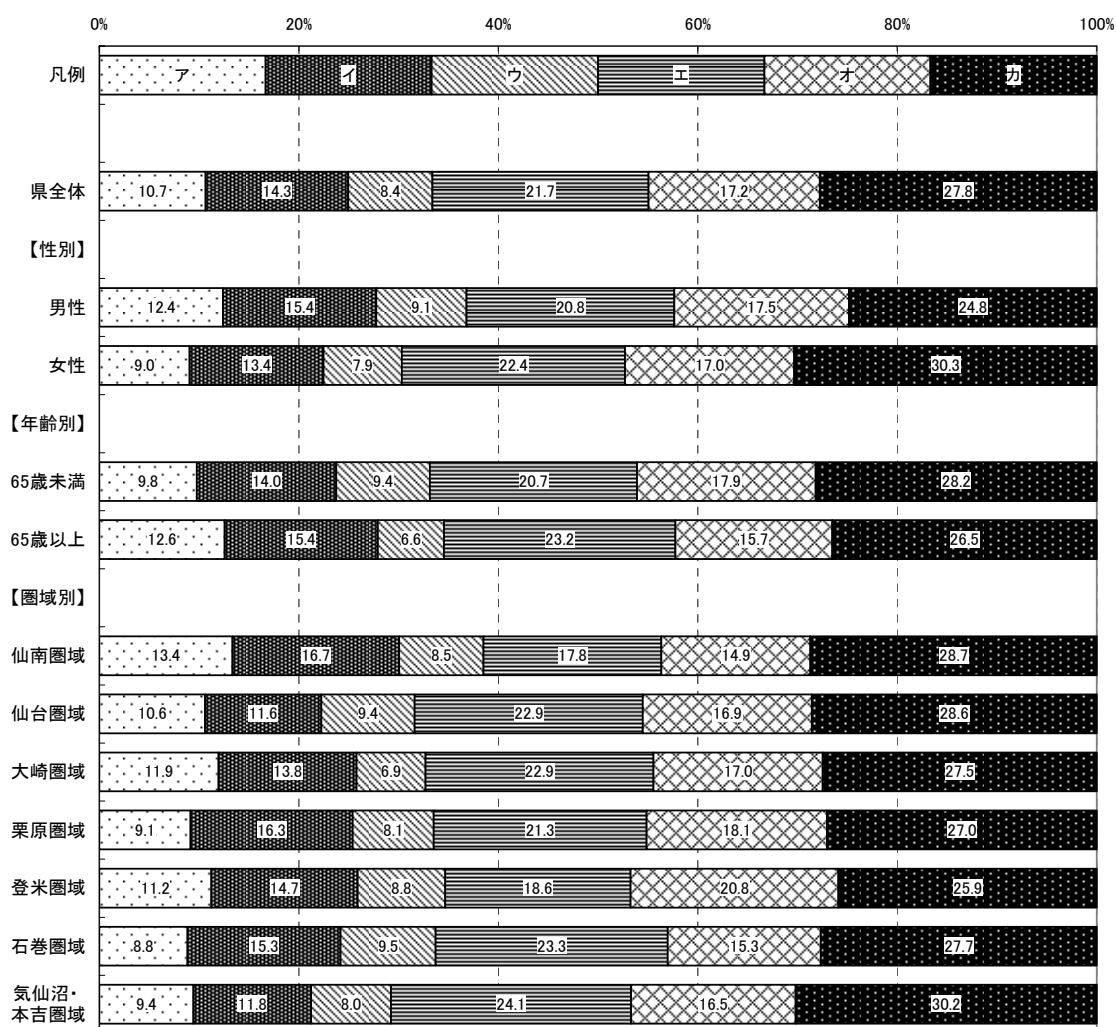


図2-2-24-6 取組24 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組24 「コンパクトで機能的なまちづくりと
地域生活の充実」

取組 25 安全で安心なまちづくり



取組概要

豊かで潤いのある生活を営むことができる社会の実現は県民共通の願いであることから、だれもが安心して安全に暮らせる社会の実現を目指します。

平成 22 年度の主な取組

- 安全・安心まちづくりを県民運動として推進するための県民大会やリーダー養成のための講座を開催しています。また、地域ネットワークづくりを推進しています。
[成果等] 県民大会の参加人数 約 600 人
- 消費生活講座やパネル展示を実施したほか、ホームページやリーフレットによる情報提供や啓発に努めています。また、多重債務問題にも取り組み、県・市町村等の相談窓口の機能充実を図っています。
[成果等] 市町村相談員の新規配置 1 町(2 人)・増員配置 3 市 1 町(4 人)
- サッカーJリーグ公式戦の仙台開催に合わせ、ヤングボランティアによる観客約 1 万 7 千人への薬物乱用防止アピールを行うなど、麻薬や覚せい剤、シンナー等の乱用防止を呼びかけています。
[成果等] Jリーグ会場の啓発活動参加人数 80 人
- 「スクールサポーター」を県内の小・中学校及び高等学校に派遣し、少年の非行防止や立ち直り支援、児童・生徒の犯罪被害防止や安全を確保するための活動を行っています。
[成果等] 派遣回数 13 校(中学校 12 校, 高等学校 1 校)に 17 回派遣(平成 22 年 10 月末現在)
- 「交番相談員」を増員(1 人)し、事件等で交番の警察官が不在となっても来庁者に対応できる体制に強化しています。また、「警察安全相談員」を配置し、県民からの相談に対応できる体制に強化しています。
[成果等] 交番相談員数 26 人, 警察安全相談員数 10 人

【認知度】

(県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は29.1%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は71.0%である。

■性別

男性の『高認知群』は31.0%で、県全体より1.9ポイント高い。

女性の『高認知群』は27.6%で、県全体より1.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は26.6%で、県全体より2.5ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は34.8%で、県全体より5.7ポイント高い。

■圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は23.8%で、県全体より5.3ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-25-1 取組25 認知度割合(属性別)

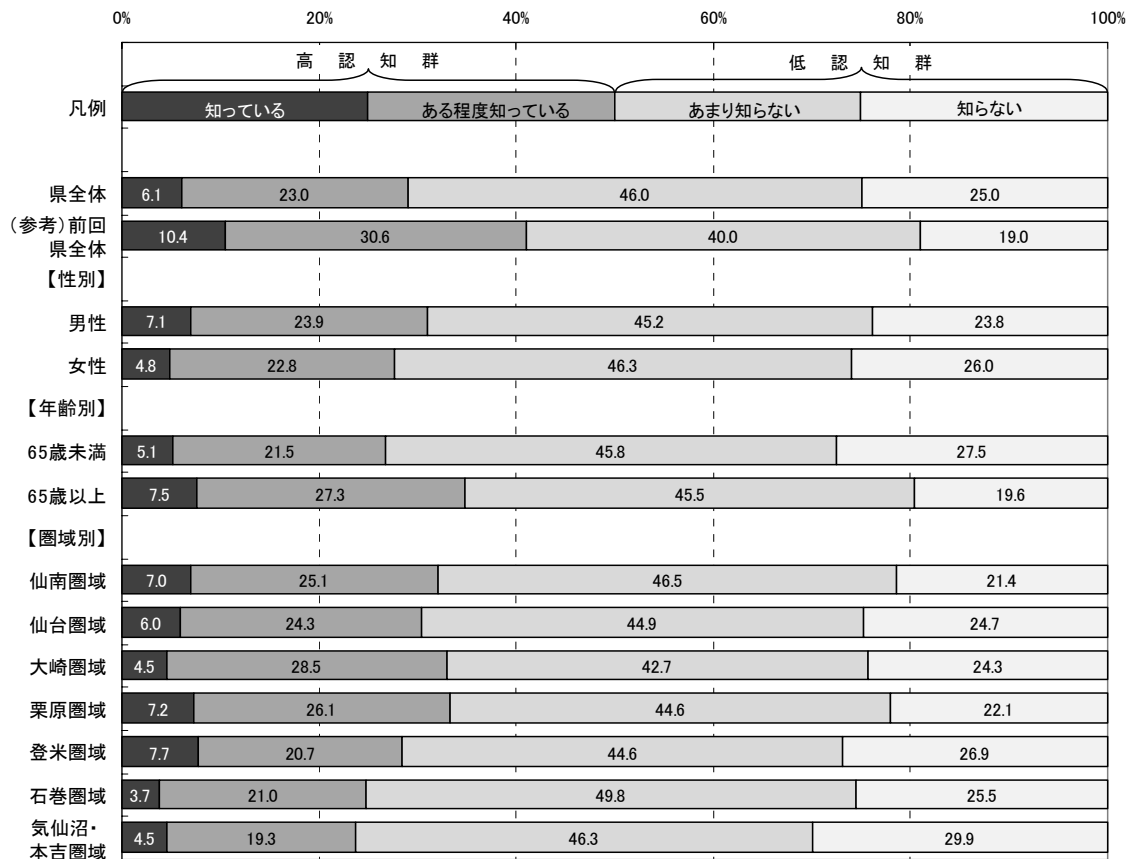


表2-2-25-1 取組25 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	118	446	892	485	1,941	112	2,053
	パーセント	6.1	23.0	46.0	25.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	194	569	745	354	1,862	82	1,944
	パーセント	10.4	30.6	40.0	19.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	64	217	410	216	907	42	949
	パーセント	7.1	23.9	45.2	23.8	100.0		
女性	度数	47	223	452	254	976	55	1,031
	パーセント	4.8	22.8	46.3	26.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	65	272	579	347	1,263	34	1,297
	パーセント	5.1	21.5	45.8	27.5	100.0		
65歳以上	度数	46	167	278	120	611	62	673
	パーセント	7.5	27.3	45.5	19.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	17	61	113	52	243	7	250
	パーセント	7.0	25.1	46.5	21.4	100.0		
仙台圏域	度数	16	65	120	66	267	9	276
	パーセント	6.0	24.3	44.9	24.7	100.0		
大崎圏域	度数	12	76	114	65	267	20	287
	パーセント	4.5	28.5	42.7	24.3	100.0		
栗原圏域	度数	20	72	123	61	276	11	287
	パーセント	7.2	26.1	44.6	22.1	100.0		
登米圏域	度数	21	56	121	73	271	13	284
	パーセント	7.7	20.7	44.6	26.9	100.0		
石巻圏域	度数	10	56	133	68	267	12	279
	パーセント	3.7	21.0	49.8	25.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	11	47	113	73	244	12	256
	パーセント	4.5	19.3	46.3	29.9	100.0		

【関心度】

(県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は63.4%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は36.6%である。

■性別

男性の『高関心群』は66.3%で、県全体より2.9ポイント高い。
女性の『高関心群』は60.7%で、県全体より2.7ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は61.7%で、県全体より1.7ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は66.6%で、県全体より3.2ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-25-2 取組25 関心度割合(属性別)

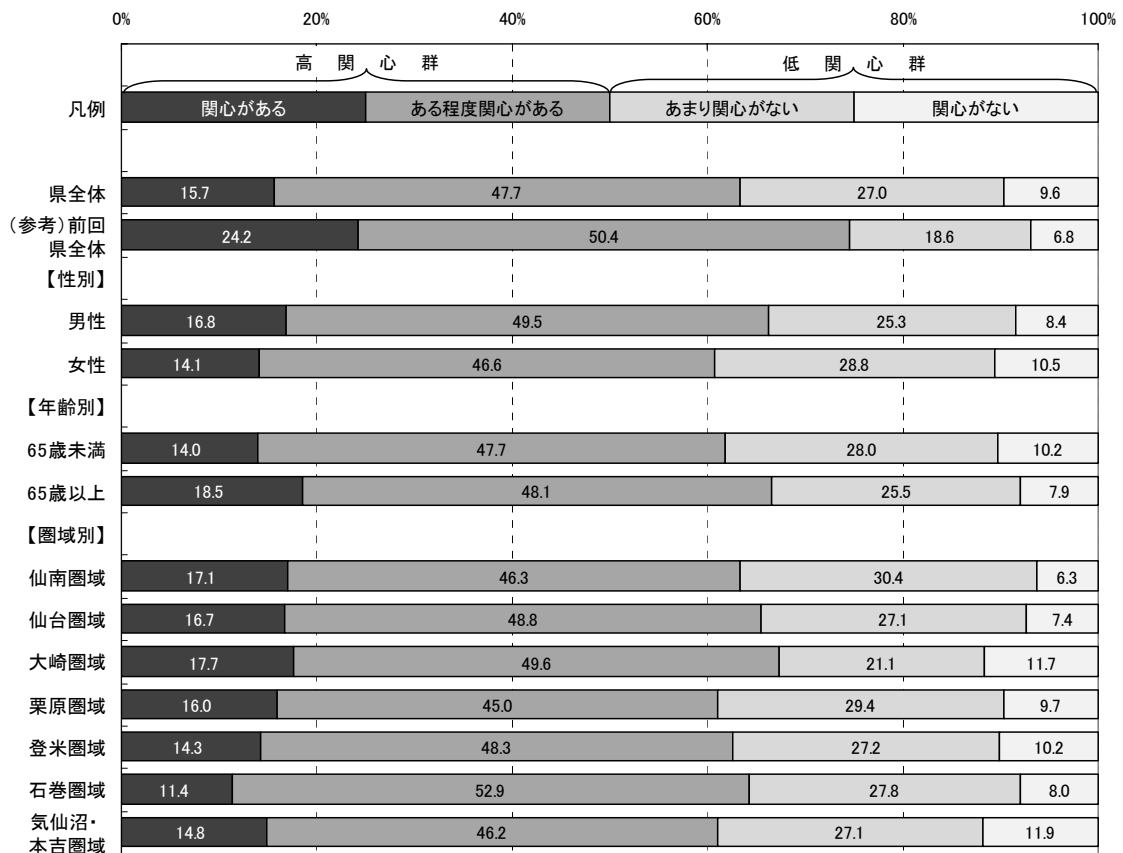


表2-2-25-2 取組25 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	298	906	514	183	1,901	152	2,053
	パーセント	15.7	47.7	27.0	9.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	442	921	339	125	1,827	117	1,944
	パーセント	24.2	50.4	18.6	6.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	149	438	224	74	885	64	949
	パーセント	16.8	49.5	25.3	8.4	100.0		
女性	度数	135	447	276	101	959	72	1,031
	パーセント	14.1	46.6	28.8	10.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	174	593	348	127	1,242	55	1,297
	パーセント	14.0	47.7	28.0	10.2	100.0		
65歳以上	度数	110	285	151	47	593	80	673
	パーセント	18.5	48.1	25.5	7.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	41	111	73	15	240	10	250
	パーセント	17.1	46.3	30.4	6.3	100.0		
仙台圏域	度数	43	126	70	19	258	18	276
	パーセント	16.7	48.8	27.1	7.4	100.0		
大崎圏域	度数	47	132	56	31	266	21	287
	パーセント	17.7	49.6	21.1	11.7	100.0		
栗原圏域	度数	43	121	79	26	269	18	287
	パーセント	16.0	45.0	29.4	9.7	100.0		
登米圏域	度数	38	128	72	27	265	19	284
	パーセント	14.3	48.3	27.2	10.2	100.0		
石巻圏域	度数	30	139	73	21	263	16	279
	パーセント	11.4	52.9	27.8	8.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	35	109	64	28	236	20	256
	パーセント	14.8	46.2	27.1	11.9	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は64.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は15.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が80.3%、『低重視群』は19.8%となる。

■性別

男性の『高重視群』は67.6%で、県全体より3.4ポイント高い。

女性の『高重視群』は61.7%で、県全体より2.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は63.8%で、県全体より0.4ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は66.3%で、県全体より2.1ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-25-3 取組25 重視度割合(属性別)

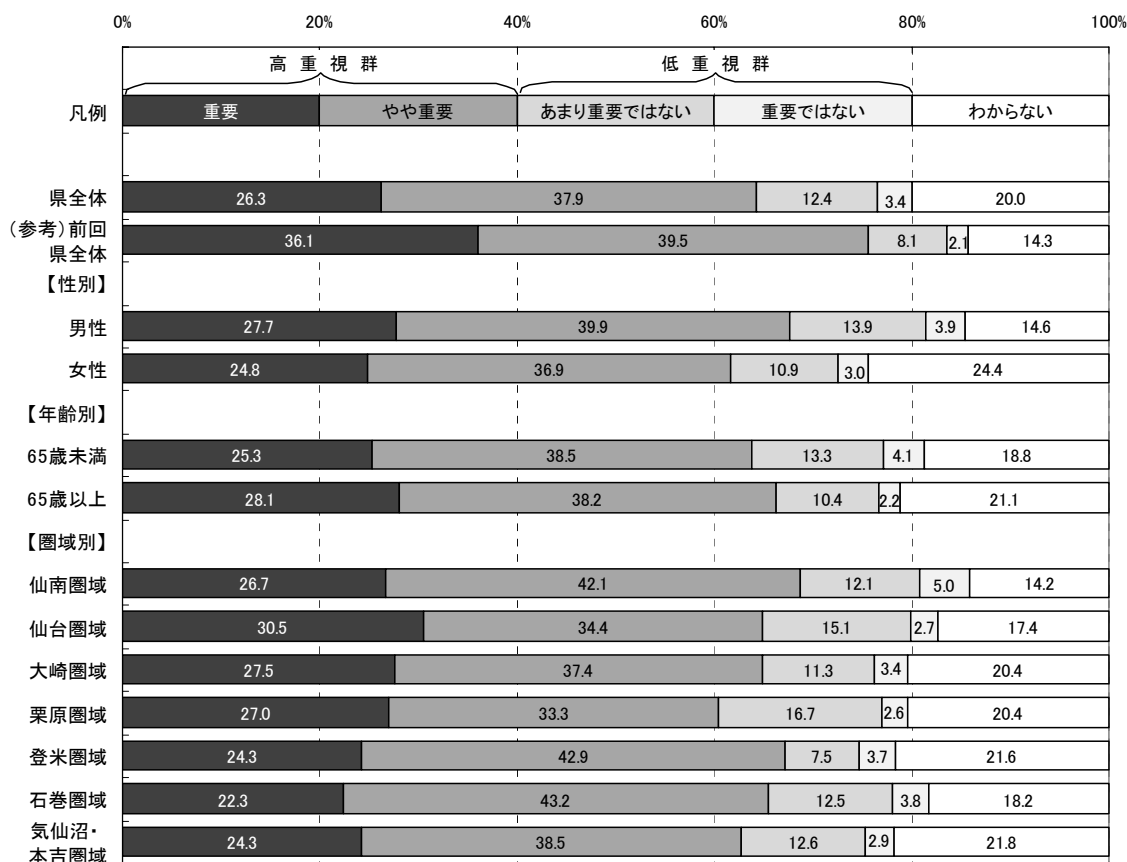


表2-2-25-3 取組25 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	501	723	236	65	381	1,906	147	2,053
	パーセント	26.3	37.9	12.4	3.4	20.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	32.9	47.4	15.5	4.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	658	720	147	38	261	1,824	120	1,944
	パーセント	36.1	39.5	8.1	2.1	14.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	247	356	124	35	130	892	57	949
	パーセント	27.7	39.9	13.9	3.9	14.6	100.0		
女性	度数	238	354	105	29	234	960	71	1,031
	パーセント	24.8	36.9	10.9	3.0	24.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	315	480	166	51	234	1,246	51	1,297
	パーセント	25.3	38.5	13.3	4.1	18.8	100.0		
65歳以上	度数	168	228	62	13	126	597	76	673
	パーセント	28.1	38.2	10.4	2.2	21.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	64	101	29	12	34	240	10	250
	パーセント	26.7	42.1	12.1	5.0	14.2	100.0		
仙台圏域	度数	79	89	39	7	45	259	17	276
	パーセント	30.5	34.4	15.1	2.7	17.4	100.0		
大崎圏域	度数	73	99	30	9	54	265	22	287
	パーセント	27.5	37.4	11.3	3.4	20.4	100.0		
栗原圏域	度数	73	90	45	7	55	270	17	287
	パーセント	27.0	33.3	16.7	2.6	20.4	100.0		
登米圏域	度数	65	115	20	10	58	268	16	284
	パーセント	24.3	42.9	7.5	3.7	21.6	100.0		
石巻圏域	度数	59	114	33	10	48	264	15	279
	パーセント	22.3	43.2	12.5	3.8	18.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	58	92	30	7	52	239	17	256
	パーセント	24.3	38.5	12.6	2.9	21.8	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は37.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は22.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が62.8%、『不満群』は37.2%となる。

■性別

男性の『満足群』は40.6%で、県全体より3.2ポイント高い。

女性の『満足群』は35.3%で、県全体より2.1ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は34.4%で、県全体より3.0ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は45.4%で、県全体より8.0ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は43.5%で、県全体より6.1ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-25-4 取組25 満足度割合(属性別)

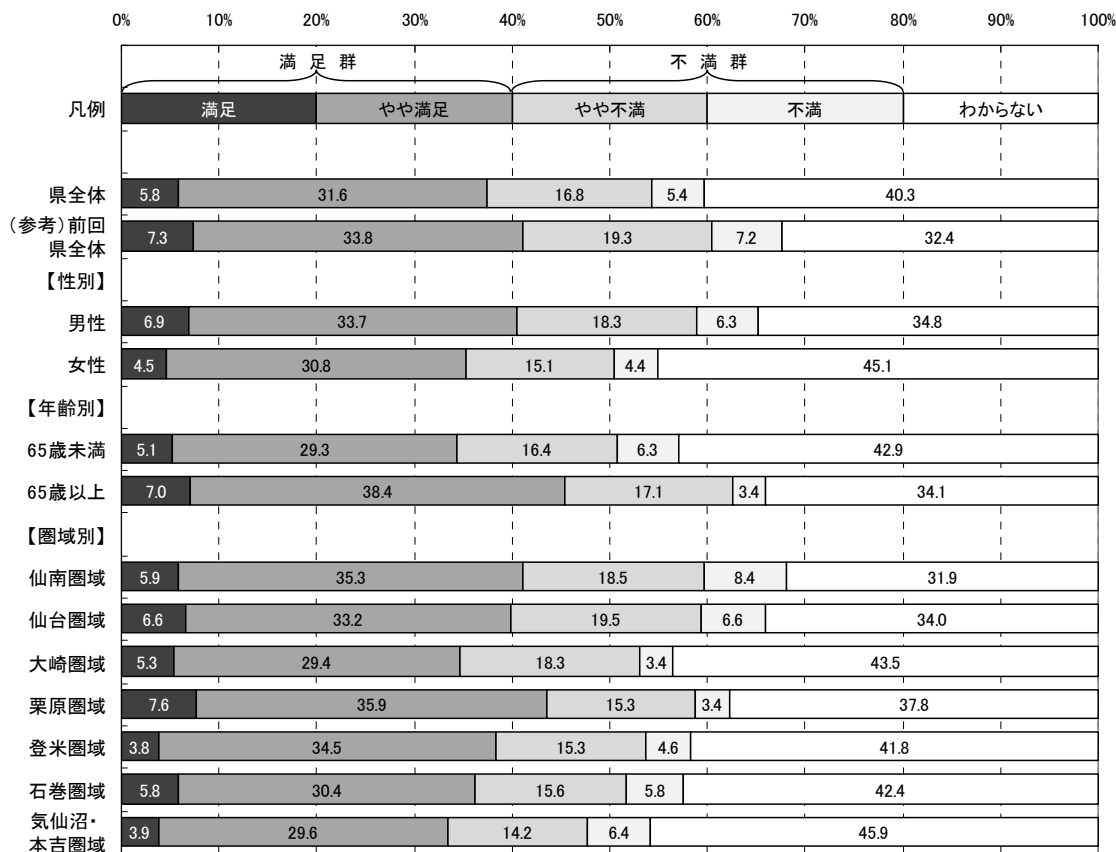


表2-2-25-4 取組25 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	109	592	315	101	754	1,871	182	2,053
	パーセント	5.8	31.6	16.8	5.4	40.3	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	9.8	53.0	28.2	9.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	131	603	344	128	579	1,785	159	1,944
	パーセント	7.3	33.8	19.3	7.2	32.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	60	294	160	55	304	873	76	949
	パーセント	6.9	33.7	18.3	6.3	34.8	100.0		
女性	度数	43	291	143	42	427	946	85	1,031
	パーセント	4.5	30.8	15.1	4.4	45.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	63	359	201	77	526	1,226	71	1,297
	パーセント	5.1	29.3	16.4	6.3	42.9	100.0		
65歳以上	度数	41	224	100	20	199	584	89	673
	パーセント	7.0	38.4	17.1	3.4	34.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	14	84	44	20	76	238	12	250
	パーセント	5.9	35.3	18.5	8.4	31.9	100.0		
仙台圏域	度数	17	85	50	17	87	256	20	276
	パーセント	6.6	33.2	19.5	6.6	34.0	100.0		
大崎圏域	度数	14	77	48	9	114	262	25	287
	パーセント	5.3	29.4	18.3	3.4	43.5	100.0		
栗原圏域	度数	20	94	40	9	99	262	25	287
	パーセント	7.6	35.9	15.3	3.4	37.8	100.0		
登米圏域	度数	10	90	40	12	109	261	23	284
	パーセント	3.8	34.5	15.3	4.6	41.8	100.0		
石巻圏域	度数	15	78	40	15	109	257	22	279
	パーセント	5.8	30.4	15.6	5.8	42.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	9	69	33	15	107	233	23	256
	パーセント	3.9	29.6	14.2	6.4	45.9	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組25に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 「犯罪のない安全・安心まちづくり」のために行政、地域、事業者等が連携して行う県民運動の展開と県民の体感治安向上に向けた取組の促進
- イ 子どもや女性、高齢者、障害者、外国人など、防犯の面で特に配慮が必要な人々に対する安全対策の充実
- ウ 消費者被害を未然に防ぐための情報提供や啓発活動の充実など、消費生活の安全性の確保

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 「自らの安全は自らが守る、地域の安全は地域が守る。」という県民の意識が高まり、地域での犯罪が起きにくくなっています。
- 地域の連帯感や助け合いの意識が高まり、子どもや女性、高齢者、障害者などが安心して暮らしています。
- 犯罪が減り、飲酒運転や交通事故も減少しています。これにより、暮らしの安全、地域の治安が守られていると感じる県民が増えています。
- 悪質商法などによる被害が減っています。また、県民も被害に遭わないよう積極的に情報を収集するなど心掛けています。

<概要>

■ 県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆ 県全体	■ 性別		■ 年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ	ア	イ	イ	ア
第2位:	ア	イ	ア	ア	イ
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

	■ 圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	ア	ア	イ	ア
第2位:	ア	ア	ア	イ	イ	ア	イ
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-25-5 取組25 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

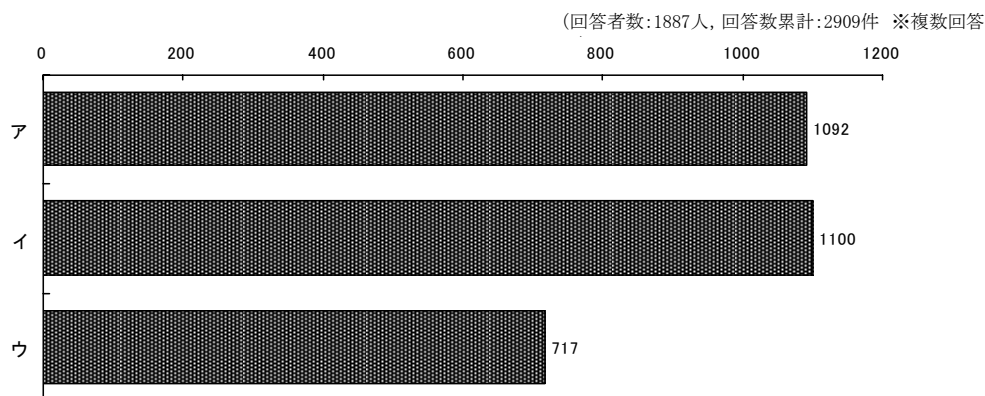
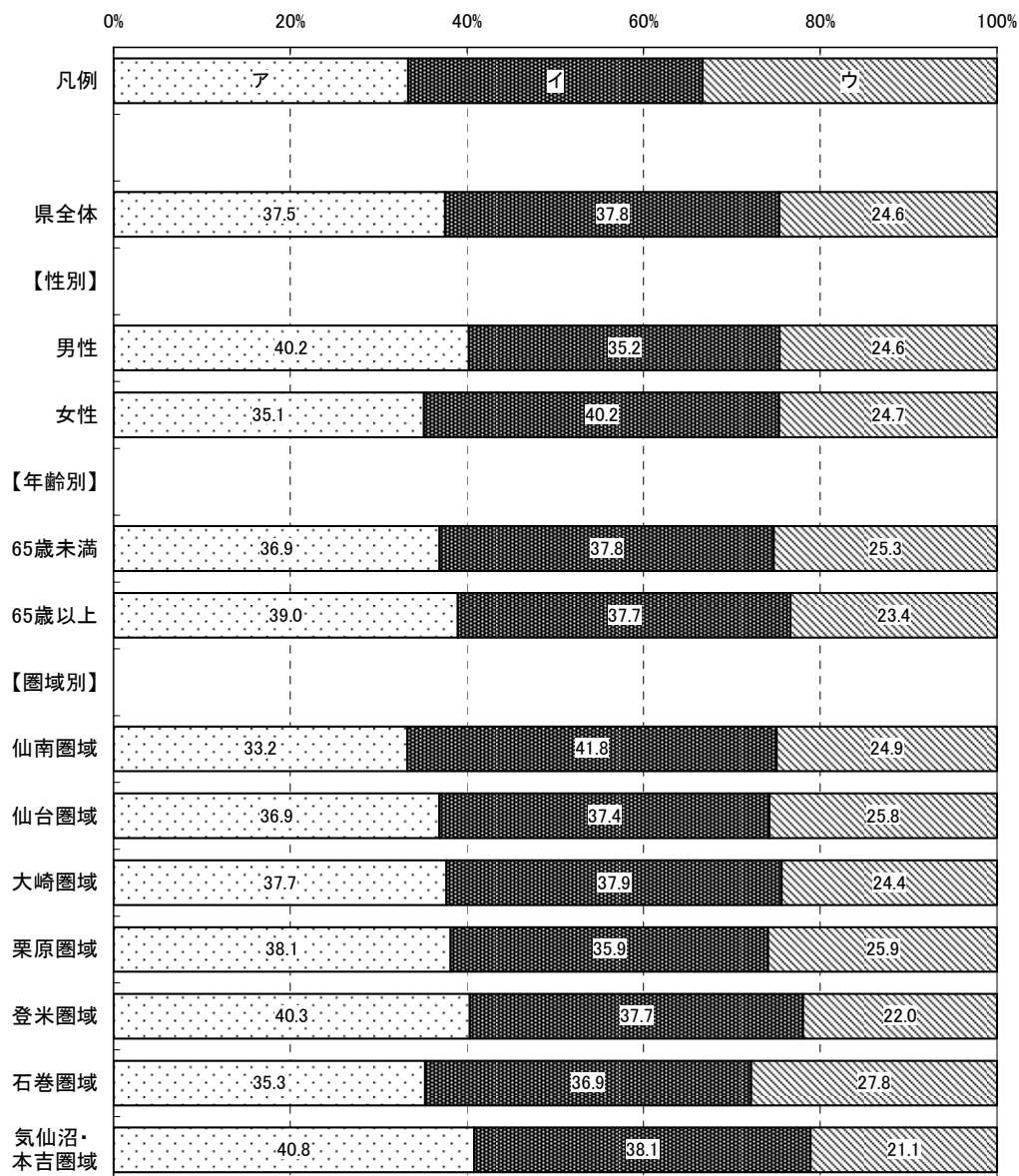


図2-2-25-6 取組25 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 6 外国人も活躍できる地域づくり



取組概要

日本人と外国人等の間に立ちはだかる「意識の壁」、「言葉の壁」、「生活の壁」の解消を図るため、啓発、多言語化支援、学習支援、家族サポート、活躍の支援を行い、国籍や民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる「多文化共生社会」の形成を目指します。

平成 2 2 年度の主な取組

- 外国人県民等を受け入れる地域住民等に多文化共生に関する理解を深めてもらい、多文化共生社会の形成に必要な適切な役割分担と協働を推進するため、シンポジウムを開催しています。
[成果等] シンポジウム開催回数 2 回予定(参加見込人数 100 人)
- 情報面から外国人県民等の生活の安全と安心を確保するため、災害発生時に外国人被災者の手助けをする通訳ボランティアの確保・養成を行うほか、気象や地震等の情報を 5 言語(日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語)で提供する「災害時外国人サポート・ウェブ・システム」の運用を行っています。
- 日本語に不自由な外国人県民等のための日本語講座の開設を促し、外国人県民等の地域社会への適応力向上を図るため、市町村や国際交流協会職員等を対象にした研修会を開催しています。
[成果等] 研修会開催回数 3 回予定
- 外国人県民等の家庭生活の質の向上を図るため、外国人県民やその家族等から寄せられる相談に 6 言語(日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語)で対応する「みやぎ外国人相談センター」の設置・運営を行っています。
- 外国人県民等の就労を支援し、外国人県民等の能力発揮を促進するため、「外国人のための就職手引書」の作成を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は16.3%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は83.7%である。

■性別

男性の『高認知群』は18.7%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『高認知群』は14.2%で、県全体より2.1ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は13.2%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は22.5%で、県全体より6.2ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-1 取組26 認知度割合(属性別)

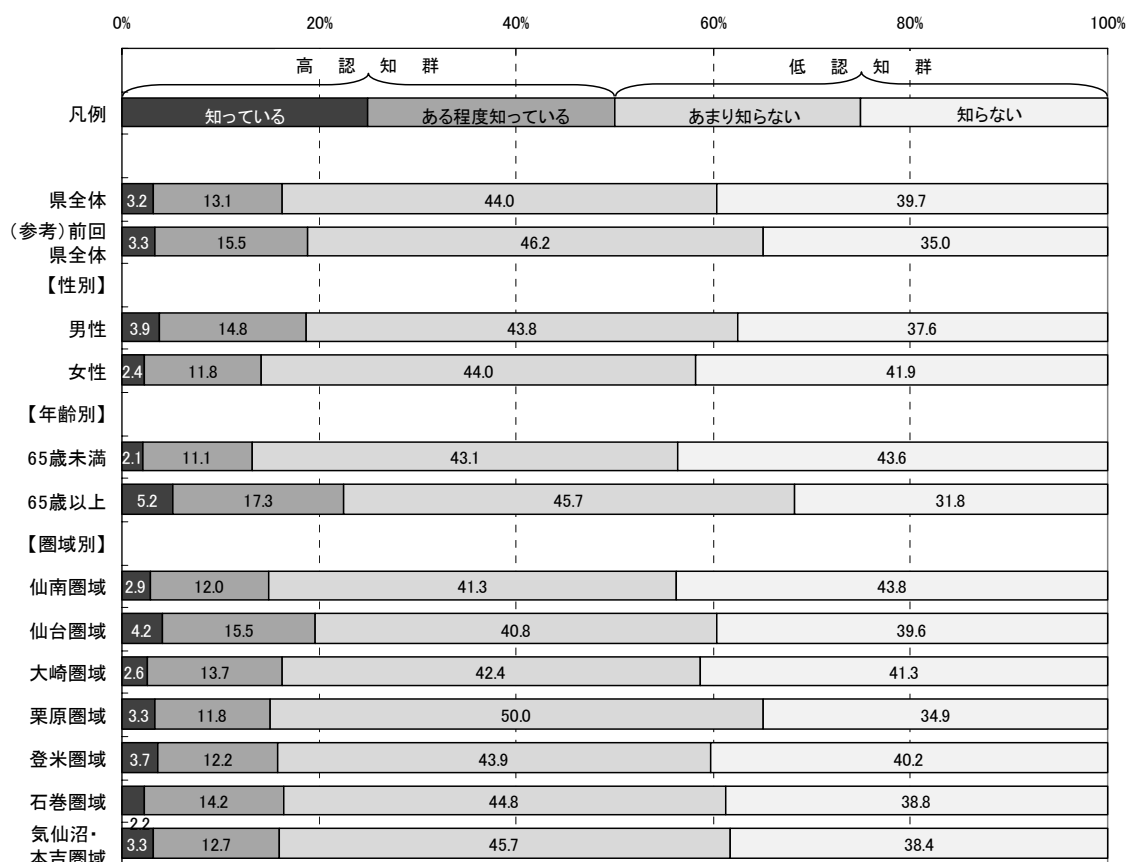


表2-2-26-1 取組26 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	62	254	855	771	1,942	111	2,053
	パーセント	3.2	13.1	44.0	39.7	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	61	289	860	652	1,862	82	1,944
	パーセント	3.3	15.5	46.2	35.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	35	134	397	341	907	42	949
	パーセント	3.9	14.8	43.8	37.6	100.0		
女性	度数	23	115	430	409	977	54	1,031
	パーセント	2.4	11.8	44.0	41.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	27	140	541	548	1,256	41	1,297
	パーセント	2.1	11.1	43.1	43.6	100.0		
65歳以上	度数	32	107	283	197	619	54	673
	パーセント	5.2	17.3	45.7	31.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	7	29	100	106	242	8	250
	パーセント	2.9	12.0	41.3	43.8	100.0		
仙台圏域	度数	11	41	108	105	265	11	276
	パーセント	4.2	15.5	40.8	39.6	100.0		
大崎圏域	度数	7	37	115	112	271	16	287
	パーセント	2.6	13.7	42.4	41.3	100.0		
栗原圏域	度数	9	32	136	95	272	15	287
	パーセント	3.3	11.8	50.0	34.9	100.0		
登米圏域	度数	10	33	119	109	271	13	284
	パーセント	3.7	12.2	43.9	40.2	100.0		
石巻圏域	度数	6	38	120	104	268	11	279
	パーセント	2.2	14.2	44.8	38.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	31	112	94	245	11	256
	パーセント	3.3	12.7	45.7	38.4	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は35.8%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は64.3%である。

■性別

男性の『高関心群』は41.0%で、県全体より5.2ポイント高い。

女性の『高関心群』は30.4%で、県全体より5.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は33.0%で、県全体より2.8ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は40.8%で、県全体より5.0ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-2 取組26 関心度割合(属性別)

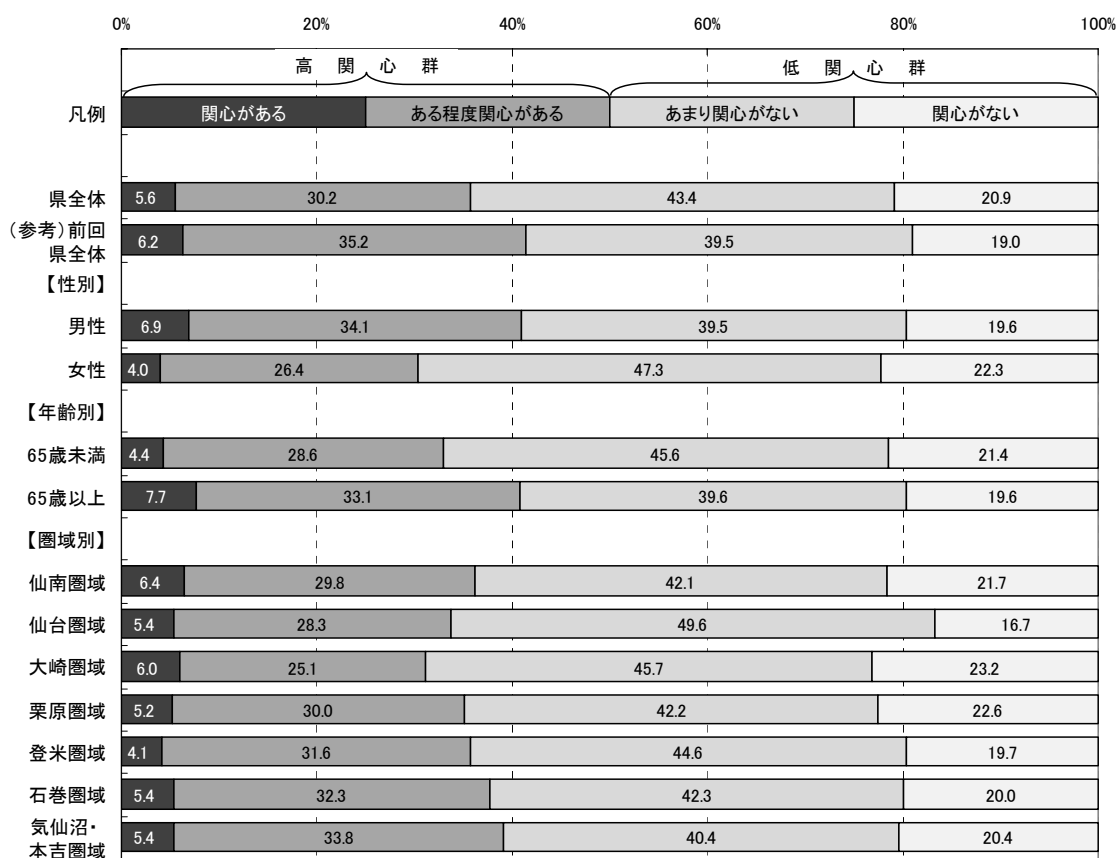


表2-2-26-2 取組26 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	106	576	827	398	1,907	146	2,053
	パーセント	5.6	30.2	43.4	20.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	114	645	724	348	1,831	113	1,944
	パーセント	6.2	35.2	39.5	19.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	61	303	351	174	889	60	949
	パーセント	6.9	34.1	39.5	19.6	100.0		
女性	度数	38	254	455	214	961	70	1,031
	パーセント	4.0	26.4	47.3	22.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	54	355	566	266	1,241	56	1,297
	パーセント	4.4	28.6	45.6	21.4	100.0		
65歳以上	度数	46	199	238	118	601	72	673
	パーセント	7.7	33.1	39.6	19.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	15	70	99	51	235	15	250
	パーセント	6.4	29.8	42.1	21.7	100.0		
仙台圏域	度数	14	73	128	43	258	18	276
	パーセント	5.4	28.3	49.6	16.7	100.0		
大崎圏域	度数	16	67	122	62	267	20	287
	パーセント	6.0	25.1	45.7	23.2	100.0		
栗原圏域	度数	14	81	114	61	270	17	287
	パーセント	5.2	30.0	42.2	22.6	100.0		
登米圏域	度数	11	85	120	53	269	15	284
	パーセント	4.1	31.6	44.6	19.7	100.0		
石巻圏域	度数	14	84	110	52	260	19	279
	パーセント	5.4	32.3	42.3	20.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	81	97	49	240	16	256
	パーセント	5.4	33.8	40.4	20.4	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は40.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は28.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が58.7%、『低重視群』は41.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は45.5%で、県全体より5.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は35.9%で、県全体より4.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は38.9%で、県全体より1.4ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は43.9%で、県全体より3.6ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高重視群』は45.8%で、県全体より5.5ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-3 取組26 重視度割合(属性別)

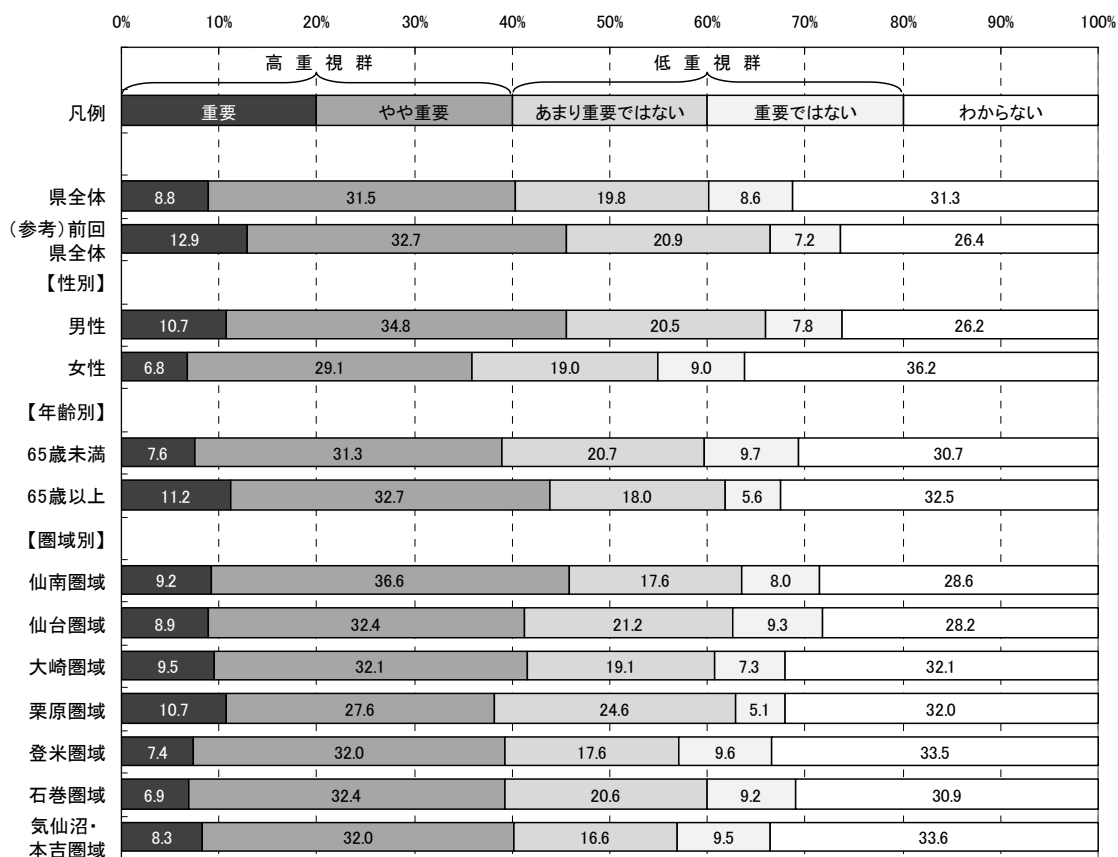


表2-2-26-3 取組26 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	169	602	379	164	599	1,913	140	2,053
	パーセント	8.8	31.5	19.8	8.6	31.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	12.9	45.8	28.8	12.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	234	595	381	131	480	1,821	123	1,944
	パーセント	12.9	32.7	20.9	7.2	26.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	96	312	184	70	235	897	52	949
	パーセント	10.7	34.8	20.5	7.8	26.2	100.0		
女性	度数	65	279	182	86	347	959	72	1,031
	パーセント	6.8	29.1	19.0	9.0	36.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	94	389	257	120	381	1,241	56	1,297
	パーセント	7.6	31.3	20.7	9.7	30.7	100.0		
65歳以上	度数	68	198	109	34	197	606	67	673
	パーセント	11.2	32.7	18.0	5.6	32.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	22	87	42	19	68	238	12	250
	パーセント	9.2	36.6	17.6	8.0	28.6	100.0		
仙台圏域	度数	23	84	55	24	73	259	17	276
	パーセント	8.9	32.4	21.2	9.3	28.2	100.0		
大崎圏域	度数	25	84	50	19	84	262	25	287
	パーセント	9.5	32.1	19.1	7.3	32.1	100.0		
栗原圏域	度数	29	75	67	14	87	272	15	287
	パーセント	10.7	27.6	24.6	5.1	32.0	100.0		
登米圏域	度数	20	87	48	26	91	272	12	284
	パーセント	7.4	32.0	17.6	9.6	33.5	100.0		
石巻圏域	度数	18	85	54	24	81	262	17	279
	パーセント	6.9	32.4	20.6	9.2	30.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	77	40	23	81	241	15	256
	パーセント	8.3	32.0	16.6	9.5	33.6	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は26.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は17.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.4%、『不満群』は39.6%となる。

■性別

男性の『満足群』は30.0%で、県全体より3.8ポイント高い。

女性の『満足群』は23.2%で、県全体より3.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は23.6%で、県全体より2.6ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は32.5%で、県全体より6.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-4 取組26 満足度割合(属性別)

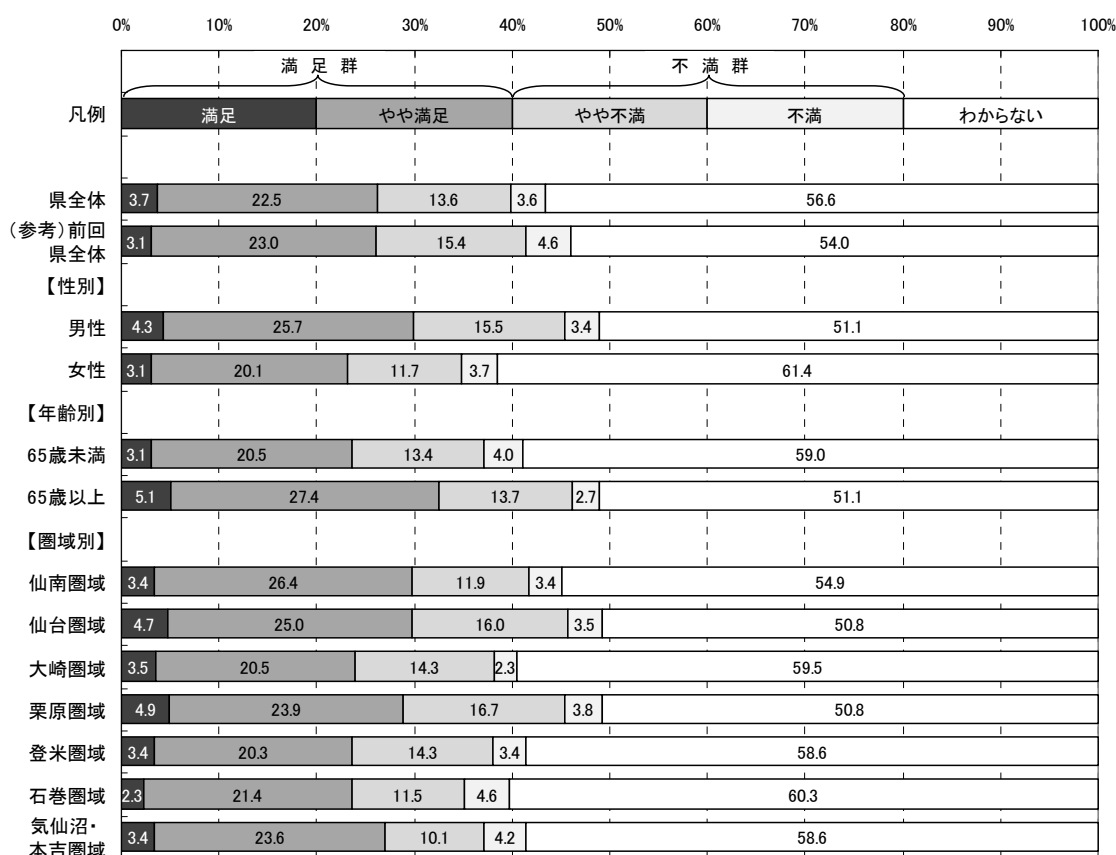


表2-2-26-4 取組26 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	70	425	256	68	1,067	1,886	167	2,053
	パーセント	3.7	22.5	13.6	3.6	56.6	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	8.5	51.9	31.3	8.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	55	414	278	82	973	1,802	142	1,944
	パーセント	3.1	23.0	15.4	4.6	54.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	38	227	137	30	452	884	65	949
	パーセント	4.3	25.7	15.5	3.4	51.1	100.0		
女性	度数	29	190	110	35	580	944	87	1,031
	パーセント	3.1	20.1	11.7	3.7	61.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	38	252	165	49	724	1,228	69	1,297
	パーセント	3.1	20.5	13.4	4.0	59.0	100.0		
65歳以上	度数	30	162	81	16	302	591	82	673
	パーセント	5.1	27.4	13.7	2.7	51.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	8	62	28	8	129	235	15	250
	パーセント	3.4	26.4	11.9	3.4	54.9	100.0		
仙台圏域	度数	12	64	41	9	130	256	20	276
	パーセント	4.7	25.0	16.0	3.5	50.8	100.0		
大崎圏域	度数	9	53	37	6	154	259	28	287
	パーセント	3.5	20.5	14.3	2.3	59.5	100.0		
栗原圏域	度数	13	63	44	10	134	264	23	287
	パーセント	4.9	23.9	16.7	3.8	50.8	100.0		
登米圏域	度数	9	54	38	9	156	266	18	284
	パーセント	3.4	20.3	14.3	3.4	58.6	100.0		
石巻圏域	度数	6	56	30	12	158	262	17	279
	パーセント	2.3	21.4	11.5	4.6	60.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	56	24	10	139	237	19	256
	パーセント	3.4	23.6	10.1	4.2	58.6	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組26に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 多文化共生の基本理念の啓発等を通じた市町村や関係団体、県民との間での適切な役割分担と協働の推進
- イ 情報を多言語で発信したり、その家族を支援するなど、外国人の生活の安全・安心の確保や家庭生活の質の向上、県民としての自立と社会活動参加の促進
- ウ 友好地域をはじめとした海外との交流や県民・民間団体が主体的に国際交流活動や国際協力活動を行うことができる環境づくりの促進・支援
- エ 県内大学への留学生をはじめとする、高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進

(参考:目標とする宮城の姿)

- 日本人と外国人が民族や文化の違いを認め合いながら、共に安心して暮らせる地域づくり、いわゆる「多文化共生社会」の形成が進んでいます。
- 県内で暮らす外国人への多言語による情報提供や日本語教室の拡充などの支援や、保健・医療・福祉、教育、労働など生活に欠かせない基礎的なサービスを提供する仕組みが整っています。
- 県内で暮らす外国人が地域との交流や地域づくりに積極的に参加しています。
- 芸術や教育、文化、経済など、さまざまな分野での国際交流活動が、県民や民間団体により行われています。
- 高度な知識・技術を持つ海外の人材が県内の企業や研究機関で活躍しています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	イ
第2位:	イ	イ	イ	イ	ア
第3位:	ア	ア	ア	ア	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	イ
第2位:	イ	イ	ア	イ	イ	イ	ウ
第3位:	エ	エ	イ	エ	ア	ア	ア

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-26-5 取組26 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

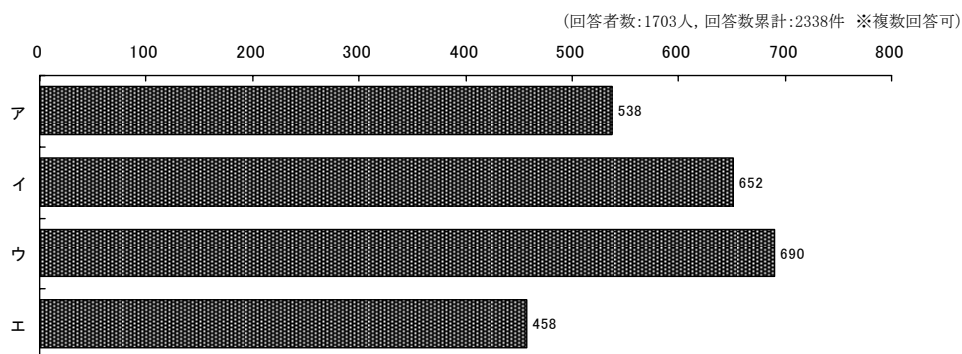
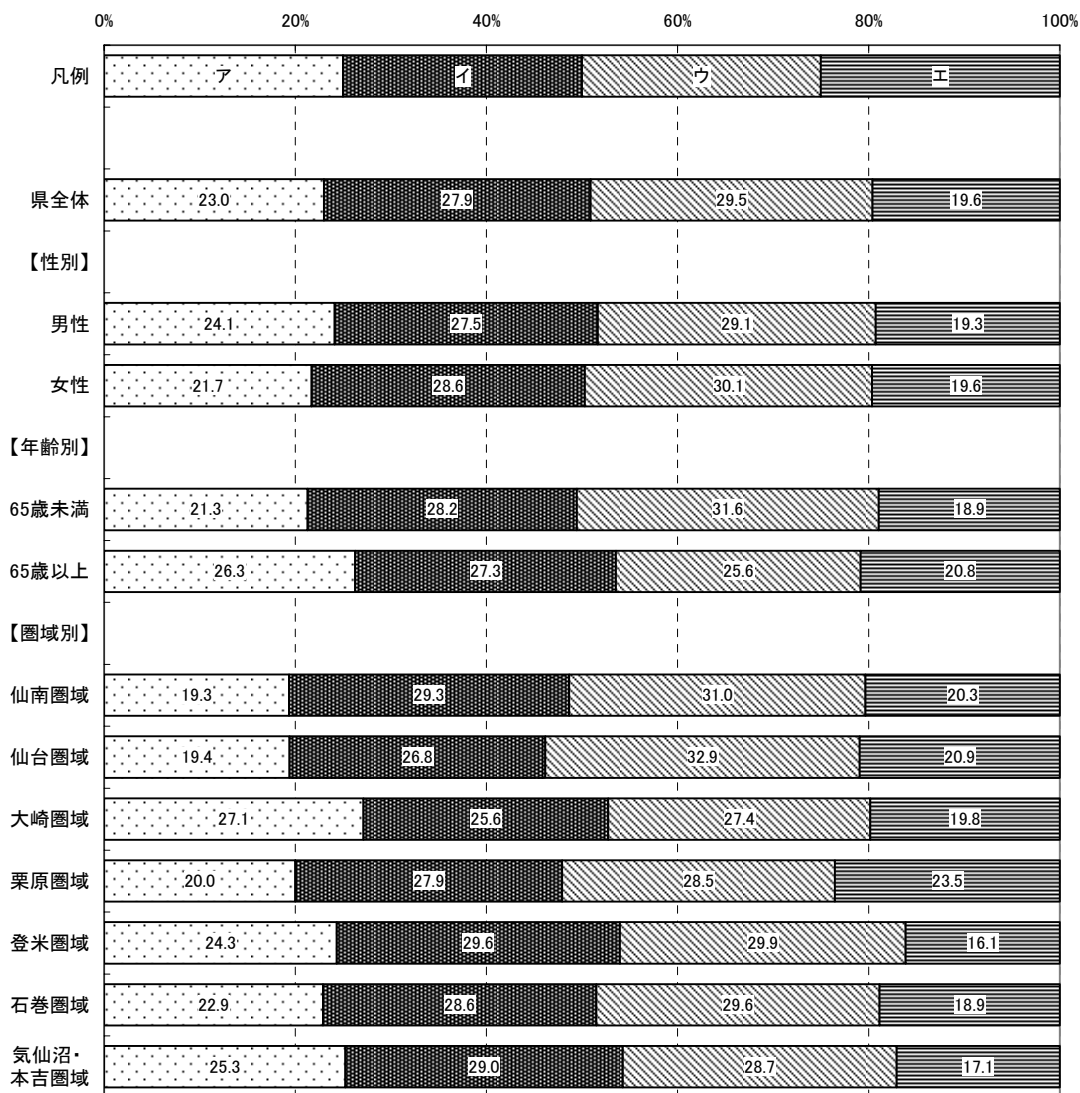


図2-2-26-6 取組26 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

